

一般社団法人全国高等学校PTA連合会・株式会社リクルート合同調査

第12回
「高校生と保護者の進路に関する意識調査」
2025年
報告書

グローバル化や技術革新・AIの活用、環境問題など、急激で予測しづらい社会の変化がさらに促進している今、教育においても、学習指導要領の改訂や入学者選抜改革など、戦後最大ともいわれる大きな変化の時を迎えています。このような状況の中で、高校生の進路観の育成、進路先の決定における保護者の関わりはますます重要になっています。行政、学校教育はむろんですが、高校生にとって最も身近な大人である「保護者」ができることは何でしょうか。

高校生と保護者の進路をめぐる意識と行動の実態を調べ、両者のよりよい意思疎通のあり方を研究するとともにその成果を広く社会に提言することを目的に、一般社団法人全国高等学校PTA連合会と株式会社リクルートは、全国の高校生をもつ保護者とその子どもに対して、コミュニケーションの実態と様々な進路観に関するアンケート調査を2003年より隔年で実施してまいりました。その12回目となる調査の分析結果をまとめましたので、ここにご報告申し上げます。

一般社団法人全国高等学校PTA連合会
会長 田名部智之
進路対策委員長 村井為敦

株式会社リクルート
販促領域プロダクトマネジメント室（マリッジ&ファミリー・自動車・まなび）
VP 池田 脩太郎

▼本調査や「キャリアガイダンス」に関するお問い合わせ▼

(株)リクルート リクルート進学総研「キャリアガイダンス」編集部
<http://souken.shingakunet.com/>

※ この調査結果については、キャリア教育専門誌『キャリアガイダンス』Vol.458(リクルート)にも掲載しています。

※ 出版・印刷物等へデータ転載する際には、“一般社団法人全国高等学校PTA連合会・(株)リクルート調べ”と付記していただきますようお願い申し上げます。

第12回「高校生と保護者の進路に関する意識調査」2025 結果サマリー

I. 進路選択における親子コミュニケーションの実態

▶ 高校生・保護者共に9割前後が進路について会話し、希望進路について共有。保護者が進路選択に関わる理由は「子どもと一緒に考えたいから」「具体的な情報を知らないため進路についての会話ができないから」。

- 高校生と保護者の間で進路についての話をする高校生・保護者は共に90%前後を占める。また、希望進路について保護者が「知っている」とする高校生・保護者が合計で90%以上を占め、進路についての考えの共有がなされている様子が見られる。一方、悩みや不安について「知っている」割合は、高校生・保護者共に合計70%程度とやや低い。
- 主な相談相手としては「母親」の割合が突出して高いが、時系列では「父親」「兄弟」などが増加傾向にあり、家族への相談が全体的に増えている。
- 保護者による進路選択の関わり方としては、「子どもに合う分野をアドバイスする」「どんな学部、学科、コースがあるかを調べる」などを行っている保護者が多い。また、行ったことはないが今後行いたい行動としては、子どもが興味をもった進路先に関する情報収集が上位となっている。
- 保護者が子どもの進路選択に関わる理由としては、「子どもと一緒に考えたいから」「具体的な情報を知らないため進路についての会話ができないから」が突出して高い。

II. 進路選択行動

▶ 高校生の7割が「大学」への進学を希望。保護者では「大学」「子どもが希望する進路」が合計で8割超。

▶ 子どもの進学を希望する保護者において、「授業料・入学金の減免制度」の認知が7割を超え、6割が利用意向あり。

- 高校生の7割、保護者の5割が「大学」への進学を希望。保護者ではこのほか「子どもが希望する進路なら何でもいい」が3割にのぼる。
- 家庭の経済状況が進路決定に影響すると考えている保護者は約7割を占める。子どもの進学を希望する保護者のうち、9割近くが「奨学金には『給付型』『貸与型』があること」を認知。また「2020年から高等教育の修学支援新制度が始まり、授業料・入学金の減免制度が設置されたこと」についても7割以上が認知している。特に「高等教育の修学支援制度」については、子どもの進学を希望する保護者の6割以上が「利用したい」と回答した。
- 高校生自身が学習に取り組むうえでモチベーションリソースのトップは、「自分の将来の夢や目標(行きたい大学や就きたい職業)を実現したいから」。
- 保護者においては、「自分が『知りたい』『できるようになりたい』という気持ちをもつこと」が最も高く、次いで「将来の夢や目標を実現したいと思うこと」が高い。子どものモチベーションを高めるために、「会話する・子どもの話をよく聞く」「褒めて自己肯定感を高める」「否定しない」など、子どもと日常的に会話し、肯定的に受容することを心がけているという意見が多くみられる。

III. 進路・将来に対する期待と不安

▶ 高校生、保護者の6割が将来に対して気がかりなことが「ある」。具体的に気がかりな点としては「就きたい職業に就けるかどうか」がトップ。

- 高校生の8割が進路選択について「考えている」が、7割近くがその際に「不安」を感じている。また、6割が将来について気がかりなことがあると回答している。具体的には「就きたい職業に就くことができるだろうか」「十分な収入が得られるだろうか」といった気がかりを感じている高校生が多い。
- 保護者でも、6割が子どもの将来について気がかりなことが「ある」と回答しており、子どもと同様に「就きたい職業に就くことができるだろうか」をあげる保護者が最も多い。

IV. 将来展望

▶ 今後の社会を「好ましい」と感じる高校生が過半数を占めるが、保護者では「好ましくない」が過半数。

- これからの社会が自分にとって「好ましい社会だ」と感じる高校生が全体の6割近くを占めた。保護者では5割弱にとどまり、「好ましくない」と考える割合の方が高い。
- 好ましいと感じる層では、AIや技術の進展や、多様性の受容、将来の選択肢の拡大などやりたいことができるチャンスがあることをあげる意見が多くみられる。
- そのような社会において今後必要とされると思う社会人基礎力は、高校生・保護者で共通して「主体性」「実行力」が高い。
- 高校生が現在持っていると思う能力としては、「主体性」の順位が徐々に上昇しており、今回は「傾聴力」に次いで第2位となった。

第12回「高校生と保護者の進路に関する意識調査」2025 結果サマリー

V. 高校生の学習や将来に対するAIの影響

- ▶最新のテクノロジーについて、学校で学ぶ機会は十分とはいえないが、高校生の4人中3人程度がAIやAI技術を活用したサービスを利用。
- ▶高校生の14%が、AIの急速な普及が自分自身の進路選択に影響が「あった」と回答。
 - 現状、高校生の76%がAIやAI技術を利用したサービスを利用している。具体的な利用方法としては、「調査(わからないことを調べる、情報収集など)」「学習・宿題の補助(レポート作成、英作文や小論文の添削、数学の問題解説など)」に利用している人が多い。
 - 高校において、最新のテクノロジーの活用方法について学ぶ機会が「ある」と回答した高校生は4人中1人程度で、学校教育で十分に組み込まれているとはいえない状況。
 - AIの急速な普及によって学びへの意欲や学びたいことが「変わった」と感じている高校生が2割を占めた。また、進路や将来なりたい姿に対する影響が「あった」と感じている高校生は1割以上を占めた。
 - 意欲や学びたいことが「変わった」と回答した理由としては、学習効率やモチベーションのアップ、学びの幅・深さが変化したとする意見が多く見られた。
 - 保護者では、AIの急速な普及によって子どもに期待する将来像や身につけてほしいスキル・スタンスが変わったとする保護者が15%を占めた。

VI. 教育改革の評価と高校での対応状況

- ▶教育改革のうち、【大学の教育】に関する内容に「期待できる」との回答が4～5割を占める。
- ▶入試の早期化については、「好ましい」が4割前後を占め、「好ましくない」を上回る。
 - 高校生・保護者共に、「大学や専門学校における入学後の学びが、社会や企業との連携を深めていく」「高校と大学、専門学校が連携を深め、生徒の学びがよりつながっていく」など、【大学の教育】に関する改革に対して、「期待できる」とする割合が4～5割を占める。「不安はあるが期待が大きい」まで含めると7割台に達しており、期待度が高い。一方で、【入学者選抜】に関する項目については「不安」の割合が高い。
 - 通っている高校が教育改革に対応していると感じている割合は、高校生で3割未満、保護者で2割強。いずれもコロナ禍後の2023年に調査した際の結果と比較してやや割合が低い。
 - 入試の早期化については、高校生・保護者共に「わからない・どちらともいえない」が4割程度を占めたものの、合計では4割前後が「好ましい」と回答し、「好ましくない」を大きく上回っている。好ましい理由としては、早期に進路が決まることで受験に伴うプレッシャーが軽減されるという意見が多いが、目指す進路目標が明確になりやすいことや、学力試験以外の得意分野での挑戦が可能であることなども、高校生・保護者のいずれからあがった。

VII. 家庭と高校の役割

- ▶家庭における日常のコミュニケーションでは、高校生自身の意思を尊重する態度をとる保護者が多い。
- ▶「働く意義について教える」ことは主に家庭の役割と認識する保護者が多いが、それ以外は「家庭と学校」の両方で担うものとする保護者が多い。
 - 高校生と保護者との日常のコミュニケーションについて尋ねたところ、進路については「高校生本人の意見を尊重している」「自分で選択し、責任を持つことが大切」と言っているなど、高校生自身の意見を尊重するコミュニケーションをとっているという回答が多い。
 - 家庭と学校の役割分担を保護者に尋ねたところ、「働く意義について教える」については「家庭のみ」の役割とする意見が半数弱を占めるが、「将来の目標を持たせる」「長所や個性を見つけて伸ばす」「学ぶ習慣をつける」などは、家庭と学校、あるいは学校で教えるべきという意見も多い。

VIII. 学校に対する要望

- ▶高校の進路指導に対しては、高校生・保護者に共通して「進路に関する情報提供」を要望する割合が高い。
 - 高校生に対して高校の進路指導について要望することを尋ねたところ、「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」が4割以上で最も高く、以下「もっと職業に関する知識をもって指導してほしい」、「もっと適性や可能性を気づかせてくれる指導をしてほしい」などが2割以上で続く。
 - 保護者でも、高校の進路指導に対しては「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」要望が最も多く、半数弱にのぼる。また、大学・短大・専門学校などの高等教育機関に対する要望を自由回答で尋ねたところ、「学費・奨学金などの経済的支援」を要望する意見が多かったほか、教育の質や内容の維持、子どもの興味を喚起するような学び・専門性の高い学びなど、学びの質についての要望、就職支援や社会で役立つスキルの養成など将来に向けた支援を要望する意見が見られた。

目次

・ 調査概要	5	▶ V. 高校生の学習や将来に対するAIの影響	52
▶ I. 進路選択における親子コミュニケーションの実態	6	・ AIやAI技術を利用したサービスの利用状況と利用場面	52
・ 進路について話す頻度	6	・ AIなど最新のテクノロジー活用に対する「高校」の役割	53
・ 進路について話す内容	7	・ 学びへの意欲や進路に対するAIの急速な普及の影響有無	55
・ 進路について話さない理由	8	・ 1) 高校生の学びの意欲や進路に対する影響	55
・ 保護者がよく使う言葉	9	・ 2) 子どもに期待する将来像や身につけてほしいスキル・スタンスに対するAIの急速な普及の影響	58
・ 希望進路の共有	11	・ 子どもの将来のキャリアへのAIの発展・社会のグローバル化による影響	60
・ 進路選択の悩みや不安の共有	12	・ 急速なAIの進化や社会の変化の中で、自分に必要になると思う力	61
・ 保護者から高校生に対するアドバイスについて	13	▶ VI. 教育改革の評価と高校での対応状況	62
・ 保護者から高校生にアドバイスすることの困難さ	14	・ 高校教育改革に対する期待と不安	62
・ 進路選択についての相談相手	16	・ 1) 高校生の期待と不安	62
・ 目指している・あこがれている人の存在	17	・ 2) 保護者の期待と不安	65
・ 将来像に向けての行動開始状況と具体的な内容	18	・ 高校での教育改革への対応状況	68
・ 進路選択について保護者が取る態度	19	・ 1) 高校での教育改革への対応	68
・ 進路選択についての保護者の行動・態度	20	・ 2) 通っている高校での教育改革への取り組み内容	69
・ 1) 保護者にあてはまること	20	・ 「探究学習」への取り組み状況	70
・ 2) 保護者にしてほしいこと	21	・ 1) 保護者からみた高校における「探究学習」への取り組みと期待	70
・ 保護者にやめてほしい行動・態度	22	・ 2) 「探究学習」による変化・効果についての期待と実際	71
・ 進路選択行動への保護者の関与	23	・ 高校における個別最適な学び・個性や特性を尊重した学びの機会の有無	73
・ 1) 子どもの進路選択行動への関与状況	23	・ 高校における個別最適化された教育の提供に対する評価	74
・ 2) 子どもの進路選択行動にかかわる理由	25	・ 不登校など要配慮事項に対する高校からのサポート体制	75
▶ II. 進路選択行動	26	・ 入試早期化の好ましさ	76
・ 高校卒業後の希望進路	26	▶ VII. 家庭と高校の役割	78
・ 進学先検討で重要な情報	28	・ 日頃のコミュニケーションや行動	78
・ 進学先検討の重視点	29	・ 教育改革を踏まえて特に心がけたいこと	80
・ 進学先を選ぶ際に最も重視していること	31	・ 家庭と高校の役割に関する認識	81
・ 家庭の経済事情の進路決定への影響	32	▶ VIII. 学校に対する要望	82
・ 進学に関する経済支援の認知と利用意向	33	・ 進路指導への要望	82
・ 学習に取り組むうえでモチベーションリソース	34	・ 大学・短大・専門学校に対する期待	84
・ 子どもが学習に取り組むうえで最も大切なモチベーションリソース	35		
▶ III. 進路・将来に対する期待と不安	37		
・ 進路意識	37		
・ 進路を考えるとときの気持ち	38		
・ 将来についての気がかり	39		
・ 1) 将来について気がかりはあるか	39		
・ 2) 将来について気がかりなこと	40		
・ 将来就きたい・就いてほしい職業／その理由	42		
・ 1) 高校生が将来就きたい職業	42		
・ 2) 保護者が子どもに将来就いてほしい職業	43		
・ 就業エリアに関する希望	44		
▶ IV. 将来展望	45		
・ これからの社会の好ましさ	45		
・ 社会人基礎力: 将来必要とされる能力と現在持っていると思う能力	47		
・ 社会人基礎力: 必要な能力を身につけるために有効な活動	51		

調査概要

▶ 調査目的

- 全国の高校生をもつ保護者とその子どもにおけるコミュニケーションの実態と進路観の現状を把握し、進路に関する親子のコミュニケーションと進路選択サポートのあり方を探る資料とする。

▶ 調査主管

- 一般社団法人全国高等学校PTA連合会／株式会社リクルート

▶ 調査対象

- 全国の高校2年生とその保護者
- 全国高等学校PTA連合会より依頼した9都道府県の公立高校27校(各2年生3クラスの生徒とその保護者)に発送し、協力を得た。

▶ 調査期間

- 2025年9月11日(木)～2025年10月20日(月)回収終了

▶ 調査方法

- ①高校生:ホームルーム時にWebアンケート案内を配布し、Web画面から回答
- ②保護者:高校生から保護者へWebアンケート案内を手渡しで依頼、Web画面から回答

▶ 有効回収数

- 高校生 1584名／保護者 1291名

▶ 回答者プロフィール

回答者のプロフィール		【高校生】 n=1584		【保護者】 n=1291	
続柄	父親	*	14.3		
	母親	*	85.1		
	その他	*	0.6		
	無回答	*	3.0		
性別 (子どもの性別)	男子	46.4	49.8		
	女子	51.6	49.3		
	その他	2.0	0.9		
	無回答	-	-		
所属学科	普通科	75.9	75.4		
	専門学科	19.2	21.5		
	総合科	-	-		
	その他	4.9	3.2		

		【高校生】 n=1584		【保護者】 n=1291	
地域分布	北海道	3.0	8.0		
	岩手	13.4	10.6		
	神奈川	7.8	6.7		
	東京	13.6	11.8		
	静岡	15.5	14.9		
	富山	13.3	13.6		
	滋賀	11.4	12.9		
	香川	8.3	8.8		
	長崎	13.8	12.5		
	大学	69.8	52.6		
	短大	1.8	0.5		
高校卒業後の 希望進路 (子どもの 高校卒業後の 希望進路)	専門学校	12.6	5.8		
	専門職大学	0.6	0.8		
	専門職短大	0.3	0.5		
	海外の大学等	0.2	0.2		
	就職	14.0	7.3		
	その他	0.8	0.2		
	子どもが希望する進路なら何でもよい	*	32.1		
	無回答	-	-		

▶ 本報告書に記載のデータに関する注意点

- 過去調査の概要は以下のとおりです。
- 各年で調査方法が異なるため、時系列データとの比較は参考にとどめてください。

「高校生・保護者調査」各回調査の調査概要

	調査期間	調査対象・回収数		調査手法	備考
		高校生	保護者		
第10回	2021年9～10月	2年生 (n=1815)	(n=1529)	郵送調査	
第11回	2023年9～10月	2年生 (n=1752)	(n=1457)	郵送調査＋Web調査	
第12回	2025年9～10月	2年生 (n=1584)	(n=1291)	Web調査	今回調査

●報告書内の表記について

- ・グラフの数値は、小数点以下第2位を四捨五入して表示
- ・<フリーコメント>末尾のカッコ内は、以下の属性を表す
 - 高校生:[都道府県/性別/希望進路]
 - 保護者:[都道府県/続柄/子どもの性別/子どもの希望進路]

I. 進路選択における親子コミュニケーションの実態

進路について話す頻度

▶ 高校生では、23.7%が保護者と進路について「よく話をする」と回答。合計では86.6%が会話あり。

▶ 保護者では、28.0%が高校生と進路について「よく話をする」と回答。合計では90.8%が会話あり。

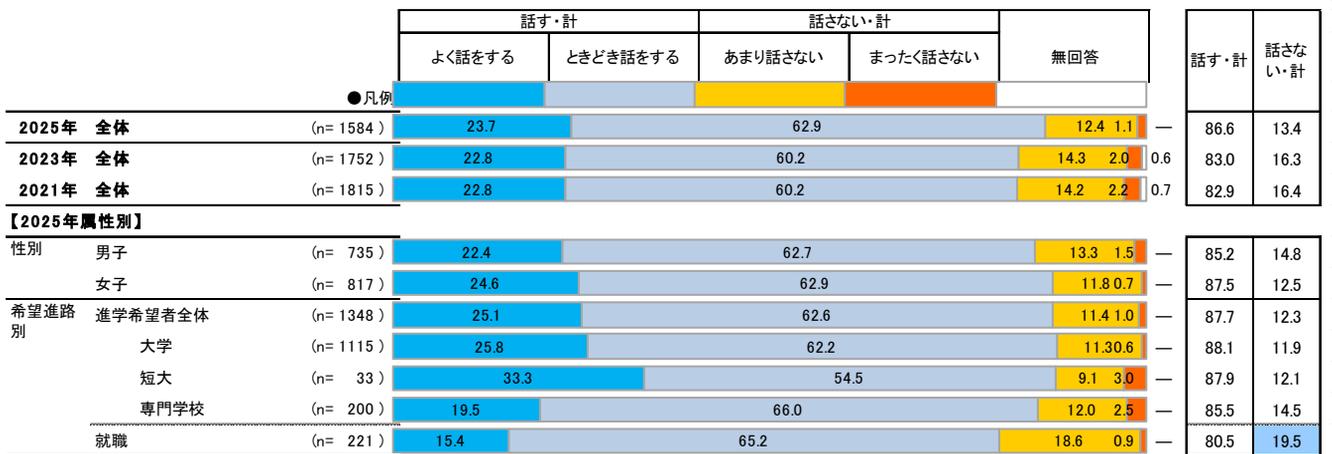
▶ 高校生: Q1 進路についての話を保護者としていますか。ひとつだけお選びください。

▶ 保護者: Q1 進路についての話をお子さんとしていますか。ひとつだけお選びください。

- 進路についての会話の頻度を、高校生・保護者それぞれに尋ねた。高校生では、「よく話をする」が23.7%を占め、「ときどき話をする」まで含めると「話す・計」が86.6%を占めた。同様に保護者では、「よく話をする」が28.0%、「話す・計」が90.8%を占め、高校生・保護者共会話があると回答した者が9割前後を占めた。
- 時系列でみると、高校生・保護者共「よく話をする」割合が過去最も高いスコアとなった。
- 高校生について性別にみると、男子より女子でわずかに「よく話をする」割合が高い。保護者についてみると、子どもの性別が女子の場合に「よく話をする」が31.4%と、男子(25.0%)より高く、女子のほうが「よく話をする」割合がやや高い傾向がみられる。

【高校生】 進路についての話を保護者としているか (全体/単一回答)

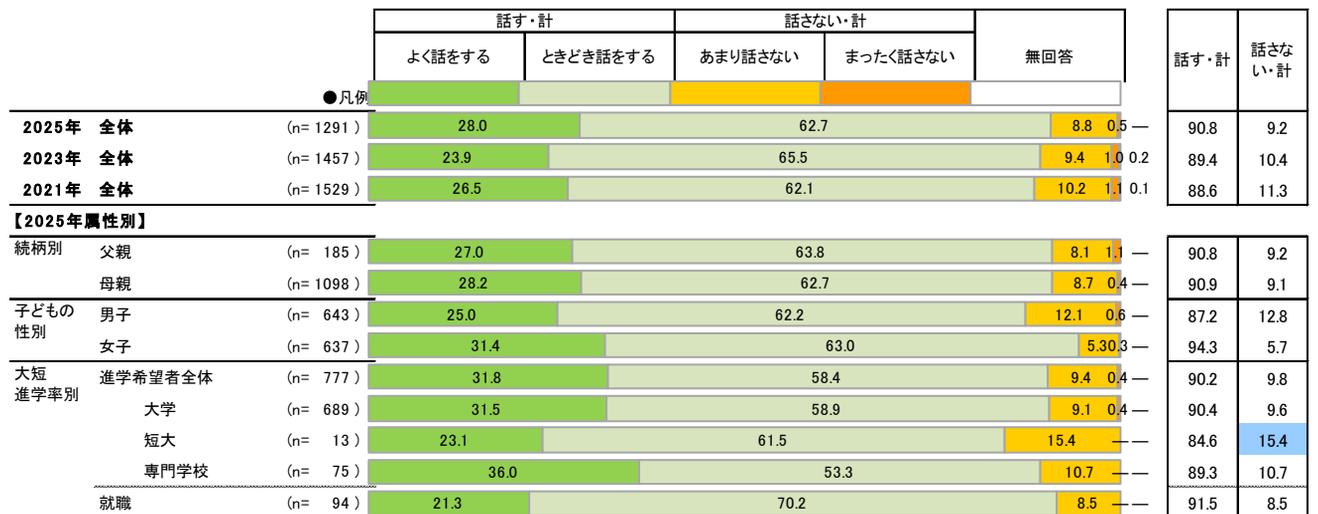
(%)



※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い K,Q1

【保護者】 進路についての話を子どもとしているか (全体/単一回答)

(%)



※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い H,Q1

I.進路選択における親子コミュニケーションの実態

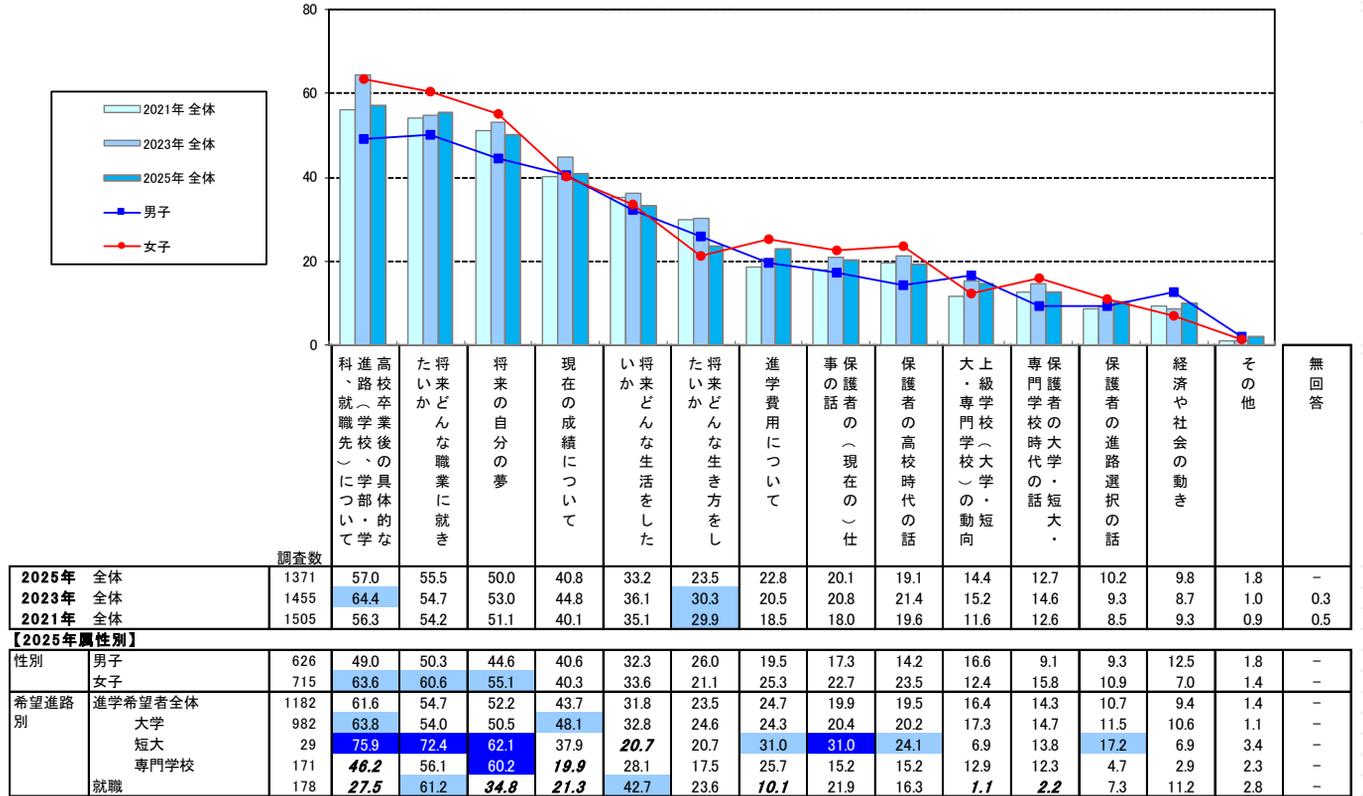
進路について話す内容

- ▶ 進路について話す内容は、「高校卒業後の具体的な進路について」がトップ。
- ▶ 時系列で見ると、「将来どんな職業に就きたいか」「進学費用について」などが増加傾向。
 ※ 高校生：Q1s1「どんな話をしますか。あてはまるものをすべてお選びください。」

- 保護者と進路について「よく話をする」「ときどき話をする」と回答した高校生に、どのような話をしているかを尋ねたところ、「高校卒業後の具体的な進路(学校、学部・学科、就職先)について」「将来どんな職業に就きたいか」「将来の自分の夢」などが50%を超える。
- 時系列で見ると、「将来どんな職業に就きたいか」「進学費用について」がそれぞれ漸増傾向。
- 性別にみると、女子のスコアが高い項目が多いが、「将来どんな生き方をしたいか」「上級学校(大学・短大・専門学校)の動向」などは男子で高い。

【高校生】 進路について保護者とどんな話をしているか（よく話をする〜ときどき話をする／複数回答）

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート
 ※今回調査の「全体」と比較して ■ 10pt以上高い ■ 5pt以上高い ■ 10pt以上低い

K-Q1-1

I.進路選択における親子コミュニケーションの実態

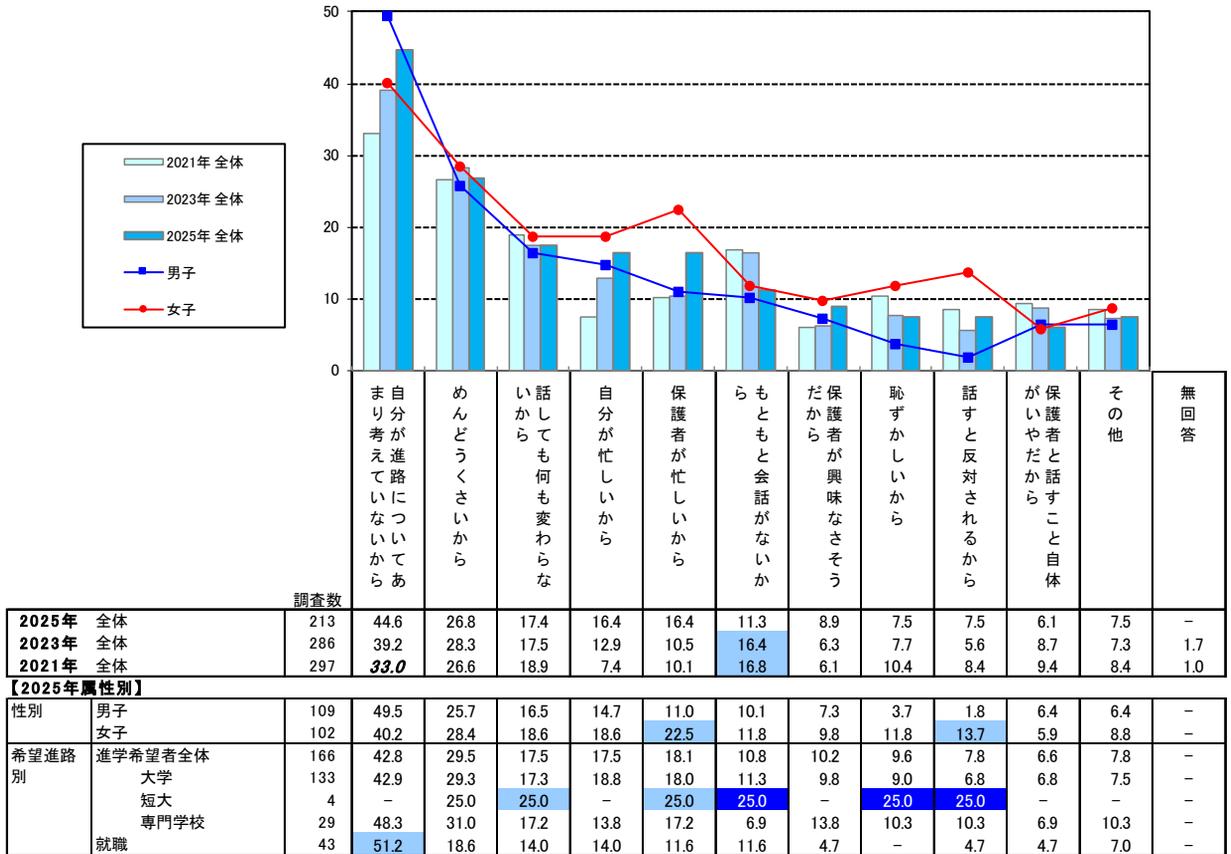
進路について話さない理由

- ▶進路について話さない理由のトップは「自分が進路についてあまり考えていないから」。
- ▶時系列では、「自分が進路についてあまり考えていない」ほか、自分も保護者も「忙しいから」とする高校生が16.4%。

» 高校生：Q1s2 進路について「あまり話さない」「まったく話さない」のはなぜですか。あてはまるものをすべてお選びください。

- 保護者と進路について「あまり話さない」「まったく話さない」と回答した高校生に対してその理由を尋ねたところ、「自分が進路についてあまり考えていないから」が突出して高い。
- 時系列でみると、「自分が進路についてあまり考えていないから」「自分が忙しいから」「保護者が忙しいから」などが増加。進路について保護者と会話しないうちの高校生のうち、44.6%が「自分が進路についてあまり考えていないから」と回答している。また、本人も保護者も「忙しいから」とする人が増加傾向となっている。

【高校生】 進路について保護者と話さない理由（あまり話さない～まったく話さない／複数回答） (％)



※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■ 10pt以上高い ■ 5pt以上高い ■ 10pt以上低い

K.Q1-2

I.進路選択における親子コミュニケーションの実態

保護者がよく使う言葉

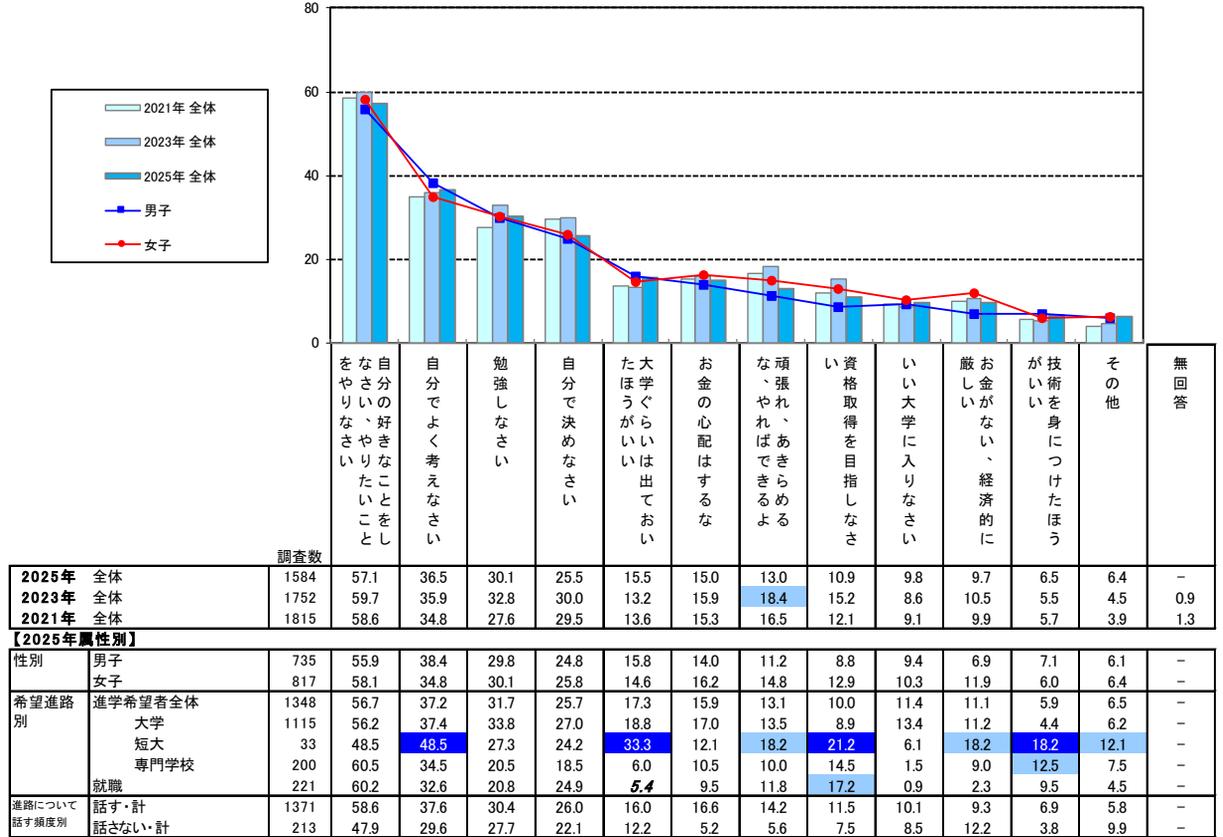
▶ 高校生からみて、進路の話をするとき保護者がよく使う言葉は「自分の好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい」が突出して多い。

» 高校生：Q2 進路の話をするときに保護者がよく使うのはどんな言葉ですか。あてはまるものをすべてお選びください。

- 高校生に対して、進路の話をするときに保護者がよく使う言葉について尋ねたところ、「自分の好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい」(57.1%)が突出して多い。次いで「自分でよく考えなさい」「勉強しなさい」「自分で決めなさい」などが上位。
- 時系列でみると、上位項目のなかでは「自分でよく考えなさい」が漸増傾向。

【高校生】 進路の話をするときに保護者がよく使う言葉（全体／複数回答）

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

K.Q2

▶ <フリーコメント：高校生> 最も使われる言葉と、それを言われたときにどう感じるか

- 自分の好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい
 - ・自分のやりたいことを概ね応援してくれているので、その気持ちに応えられるよう頑張ろうと思っている[岩手/男/大学]
 - ・自分に選択権を完全にくれていてとてもうれしく感じる。また、自分の決めたことだからとやる気も出る[富山/男/大学]
 - ・自分の可能性を信じてくれているという嬉しい気持ちと、なにを選択しても応援してくれる安心感[神奈川/女/専門学校]
 - ・親のして欲しいこととかでなく自分で考えさせてくれて感謝してる[滋賀/男/大学]
- 自分でよく考えなさい
 - ・自分で考えないといけないことはわかっているけど、実際に将来のことについて考えるのは難しいと感じる[静岡/男/専門学校]
 - ・進路をしっかり考えないとと思うし、自分の自立のためにも自分で調べたりしつつ決めたいと思う[富山/女/大学]
 - ・自分が将来何の職業に就きたいかや、その職業に就くためにはどんなことを中心に学んでいくのかなどよく考えるきっかけになる。もっと自分の進路について考える時間を増やさないといけないと思った[長崎/女/大学]
- 勉強しなさい
 - ・圧力をかけられているみたいで、正直言うと嫌[北海道/女/大学]
 - ・見えないところでしているのに自分が休んでいるところばかりの印象で決めつけられているからおかしいと思う[東京/男/大学]
 - ・現状、苦手教科と得意教科の差が大きいし、受験の日がだんだん近づいているのもっと頑張ろうと思う[富山/女/大学]
 - ・親から言われているから頑張らないと思う[長崎/男/就職]
- 自分で決めなさい
 - ・自分の進路に否定しないからうれしい[岩手/女/大学]
 - ・少し冷たさを感じるが、自分に決定権を委ねてくれたのは嬉しい[静岡/男/大学]
 - ・自由に決めていいんだと思う[香川/男/大学]

I.進路選択における親子コミュニケーションの実態

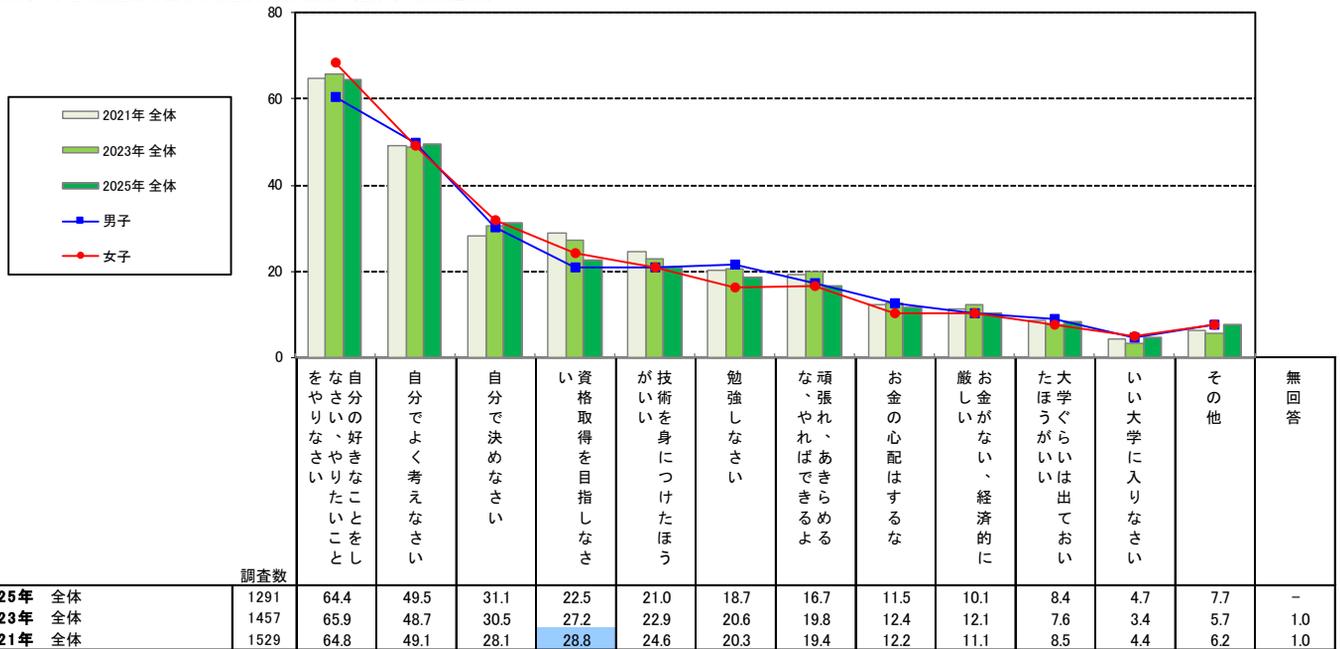
▶保護者の認識でも、進路について高校生と話す際によく使う言葉は「自分の好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい」がトップ。

» 保護者：Q7 お子さんに進路の話をする時によく使うのはどんな言葉ですか。あてはまるものをすべてお選びください。

- 保護者にも同様に尋ねたところ、高校生と同様、「自分の好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい」が突出して多い。
- 時系列で見ると、高校生ほど大きい変化は見られないが、「自分で決めなさい」が漸増傾向。
- 進路について話す頻度別にみると、話す・計層では、「自分の好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい」が突出して高い。一方、話さない・計層では、「自分でよく考えなさい」が最も高い。

【保護者】子どもと進路の話をするときに使う言葉（全体／複数回答）

(%)



【2025年属性別】		調査数	をなさい、やりたいことをしなさい	自分でよく考えなさい	自分で決めなさい	資格取得を目指しなさい	技術取得を身につけたほうがいい	勉強しなさい	頑張り、あきらめなさい	お金の心配はするな	厳しいお金の心配、経済的に	大学ぐらいは出ておい	いい大学に入りなさい	その他	無回答
続柄別	父親	185	58.4	49.2	31.9	18.4	20.0	19.5	16.2	9.2	10.3	7.0	9.7	6.5	-
	母親	1098	65.4	49.6	31.0	23.1	21.2	18.7	16.9	11.8	10.2	8.5	3.9	7.7	-
子どもの性別	男子	643	60.3	49.9	30.3	20.8	21.0	21.6	17.3	12.6	10.1	8.9	4.7	7.5	-
	女子	637	68.3	49.3	32.0	24.2	21.0	16.2	16.5	10.2	10.4	7.5	4.9	7.5	-
希望進路別	進学希望者全体	777	62.2	49.2	31.8	20.2	17.0	20.7	21.4	12.9	10.2	11.8	7.2	6.4	-
	大学	689	62.7	51.1	33.2	17.9	14.5	21.9	22.9	13.8	9.9	12.9	7.8	6.7	-
	短大	13	84.6	15.4	23.1	23.1	-	-	-	15.4	-	7.7	-	-	-
	専門学校	75	53.3	37.3	20.0	41.3	38.7	13.3	10.7	4.0	14.7	2.7	2.7	5.3	-
	就職	94	44.7	47.9	22.3	31.9	35.1	25.5	11.7	-	14.9	-	-	11.7	-
進路について話す頻度別	話す・計	1172	65.5	48.8	30.4	22.8	20.2	18.8	17.4	11.9	10.1	7.8	4.9	7.2	-
	話さない・計	119	52.9	56.3	38.7	20.2	28.6	18.5	10.1	8.4	10.9	14.3	3.4	13.4	-

※今回調査の「全体」の降順ソート
 ※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

H.Q7

I.進路選択における親子コミュニケーションの実態

希望進路の共有

▶ 高校生、保護者共、5割前後が希望進路や進路に対する考えを「よく知っている」と回答。

▶ 時系列でみると、「知っている・計」が増加傾向。両者の認知状況のギャップが小さくなっている。

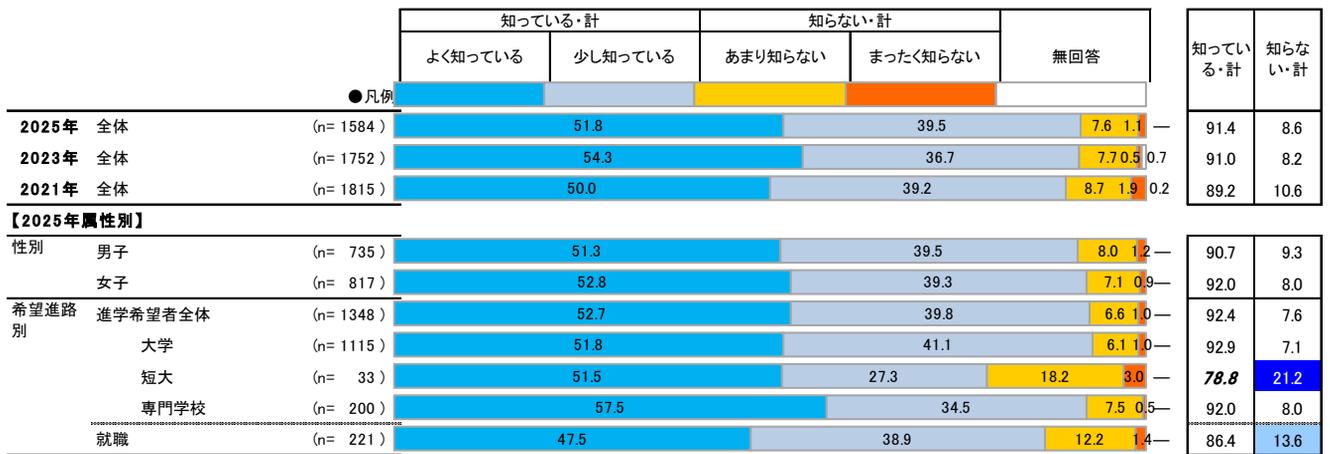
▶ 高校生：Q3 保護者はあなたの希望進路や進路に対するあなたの考えを知っていますか。ひとつだけお選びください。

▶ 保護者：Q2 お子さんの希望進路や、進路に対するお子さんの考えを知っていますか。ひとつだけお選びください。

- 高校生、保護者に対して、希望進路や進路に対する考えを保護者が知っているかどうかを尋ねたところ、高校生では51.8%、保護者では48.8%が「よく知っている」と回答した。
- 時系列でみると、高校生では2023年調査に比べて「よく知っている」割合が低下したものの、依然として50%以上を維持。保護者では2023年調査と比較して「よく知っている」が5ポイント以上増加した。
- 高校生について回答者の性別にみると、男女差がほとんどなく、希望進路や進路に対する考えを保護者が知っているとする割合は男女でほとんど差がない。

【高校生】 希望進路や、進路に対する考えを保護者は知っているか（全体／単一回答）

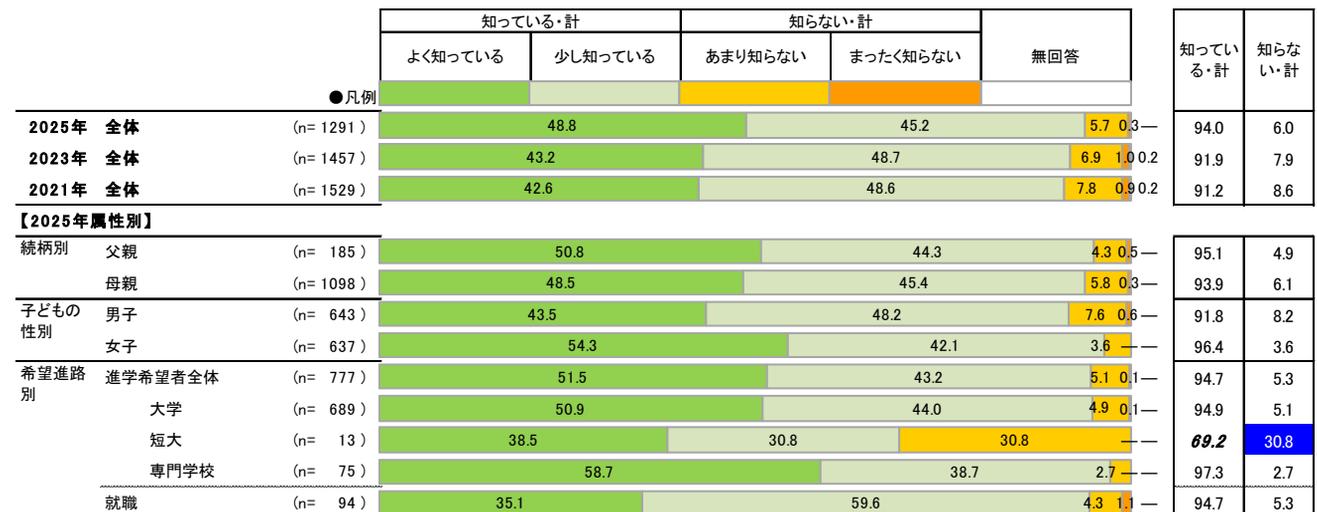
(%)



※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い K,Q3

【保護者】 子どもの希望進路や、進路に対する考えを知っているか（全体／単一回答）

(%)



※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い H,Q2

I.進路選択における親子コミュニケーションの実態

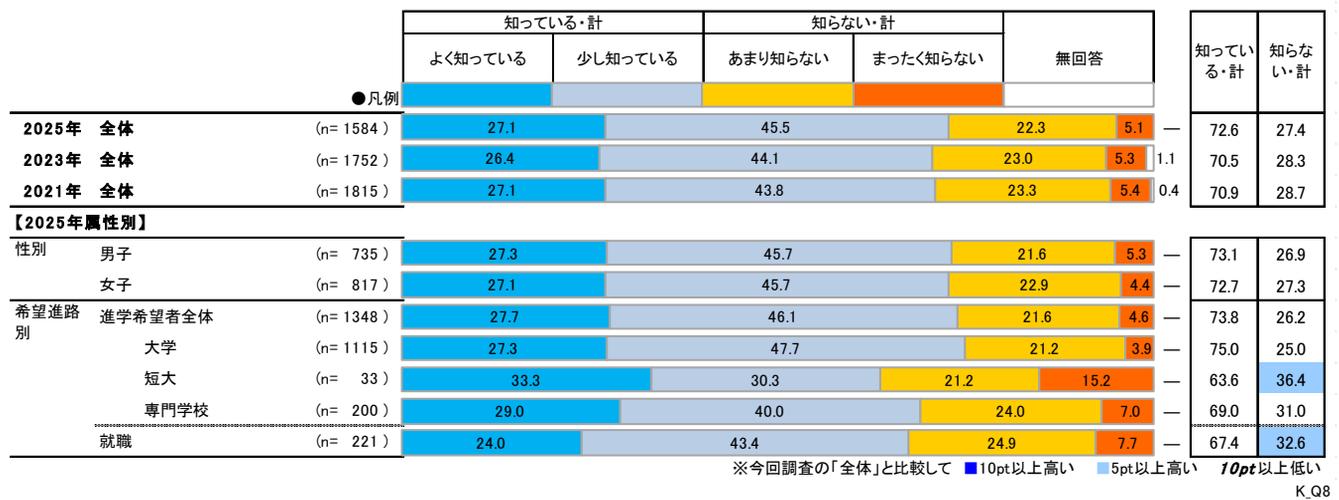
進路選択の悩みや不安の共有

▶ 高校生の27.1%、保護者の24.4%が、進路選択の悩みや不安を、保護者が「よく知っている」と回答。

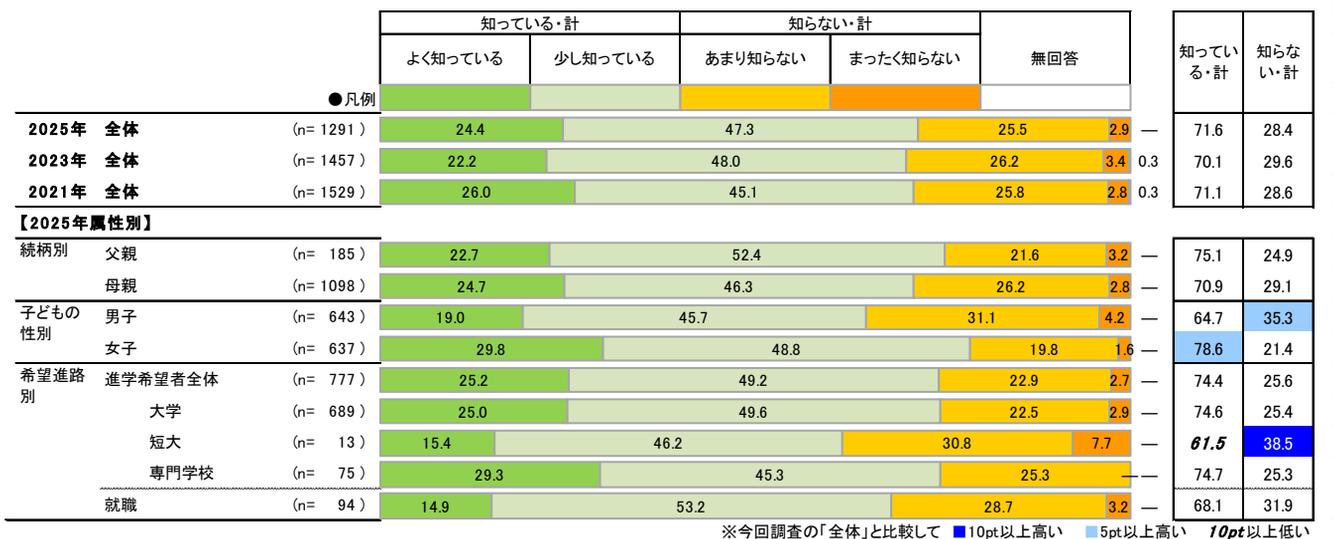
- » 高校生：Q8 あなたの進路選択の悩みや不安を、保護者は知っていると思いますか。ひとつだけお選びください。
- » 保護者：Q3 進路に関するお子さんの悩みや不安を知っていますか。ひとつだけお選びください。

- 高校生と保護者に対して、進路選択の悩みや不安について保護者が知っているかどうかを尋ねた。高校生では27.1%、保護者では24.4%が「よく知っている」と回答した。
- 時系列でみると、高校生・保護者共に大幅な変化は見られない。

【高校生】 進路選択の悩みや不安を保護者は知っているか（全体／単一回答）



【保護者】 子どもの進路に関する悩みや不安を知っているか（全体／単一回答）



I.進路選択における親子コミュニケーションの実態

保護者から高校生に対するアドバイスについて

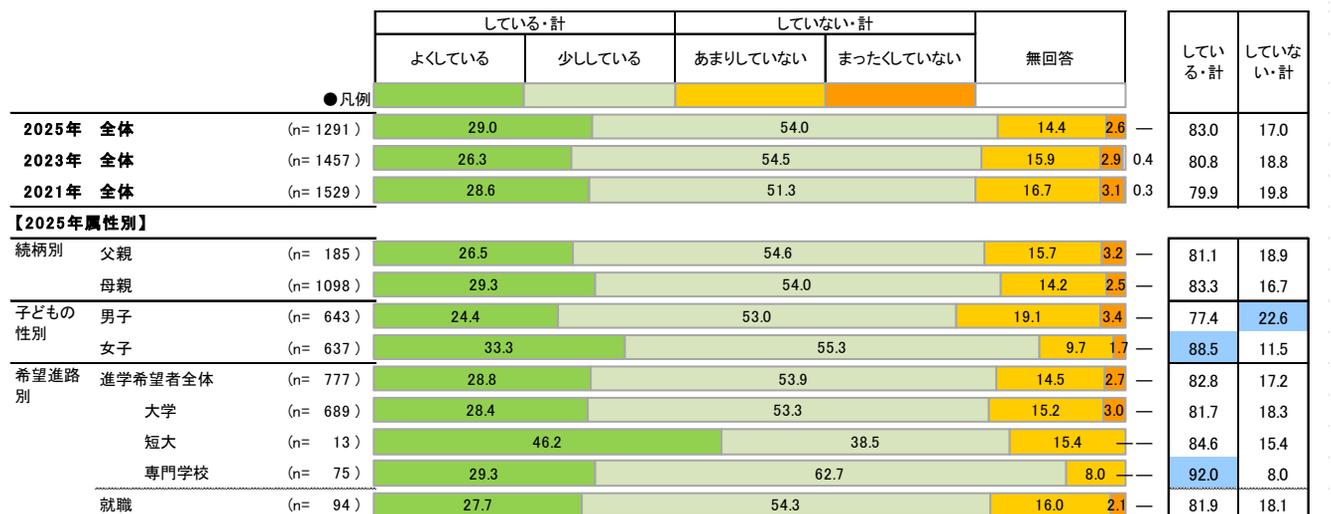
- ▶ 高校生のうち、13.1%が保護者からのアドバイスを「たくさんしてほしい」と回答。合計では73.4%。
- ▶ 保護者のうち、29.0%が高校生の進路に関する悩みや不安についてのアドバイスを「よくしている」。
- ▶ 高校生：Q9 進路選択に際して、あなたは保護者にアドバイスしてほしいと思いますか。ひとつだけお選びください。
- ▶ 保護者：Q4 進路に関するお子さんの悩みや不安について相談に乗ったり、アドバイスしたりしていますか。ひとつだけお選びください。
- 高校生に対して、進路選択について保護者にアドバイスしてほしいかを尋ねたところ、13.1%が「たくさんアドバイスしてほしい」と回答。「ある程度アドバイスしてほしい」まで含めると、73.4%が保護者のアドバイスを求めている。
- 高校生について時系列でみると、「たくさんアドバイスしてほしい」はほとんど変化していないが、2025年は「してほしい・計」が合計で73.4%と増加。また、保護者では「よくしている」が2021年から2023年にかけて減少したが、今回は2021年と同程度を占めた。

【高校生】 進路選択について保護者にアドバイスしてほしいか（全体／単一回答）



※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以下低い K_Q9

【保護者】 子どもの進路に関する悩みや不安について、相談に乗ったりアドバイスしているか（全体／単一回答）



※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以下低い

I. 進路選択における親子コミュニケーションの実態

▶ <フリーコメント:高校生>保護者からのアドバイスに関する要望の主な意見

▶ アドバイスしてほしい

● 社会経験のある大人の意見を聴きたい

- ・社会に出たことがない自分よりも社会人として長く働いた両親の意見の方が参考になると思うから[岩手/女/大学]
- ・子供だと分からない事ばかりなので親や先生などの経験豊富である大人に色々なことを聞いた方が為になると思ったから[岩手/男/就職]
- ・大学で研究的なことをやりたいか実践的なことをやりたいか、どちらが自分に向いているのかを客観的にみたことを教えて欲しいから[東京/女/大学]
- ・やはり高校生の知識と大人の知識では知っている情報の量が違うためです[神奈川/男/大学]
- ・自分だけではわからないことが多いので、経験者に聞くのが早いと思ったからです[静岡/女/大学]
- ・兄弟の進路選択などを考えたりしていたから、自分よりも知識があると思うから[静岡/男/大学]
- ・いろんなことを経験してるしなんでも聞けるから[滋賀/女/大学]

● 自分の知らない情報を知りたい

- ・いろいろな視点で考えることが出来ると思うから。アドバイスを参考にしたいから[岩手/女/専門学校]
- ・大学後の進路や取っておいたほうがいい資格などをアドバイスしてほしい。なぜなら、自分は将来何の職業に就くか全然決められていなくて、資格の種類も把握しきれていないから[岩手/男/大学]
- ・自分の知らない学校の仕組みや受験の種類などの知識不足だから[静岡/女/大学]
- ・親世代と今では大学の状況も大きく変わっていると思うので、親のアドバイスが欲しいというよりは、一緒に調べたり、悩んだりしてほしいという感じ。兄・姉のことも参考にさせてほしい[富山/女/大学]
- ・自分の興味と将来の安定がバランスよく叶うような道に進む上で気をつけることは何か、など[富山/男/大学]
- ・どんな大学があるかとかどこにあるかとか便利さとか[富山/女/大学]
- ・高校生は知らないような情報を持っていたり、考え方を教えてくれるから[長崎/女/大学]

● 自分一人で決める自信がない

- ・優柔不断なことがあるから決めかねているときにアドバイスがあれば決めれるし、私のことをよく理解してくれているから助言してほしい[北海道/女/就職]
- ・自分だけで決めるのは不安だから[神奈川/男/専門学校]
- ・一人じゃ不安で決められないから[静岡/男/大学]
- ・自分の意志のみで進路を決めるのは少し不安だから[富山/男/大学]
- ・自分で決めようとするときこれでいいの不安になるし、なりたいたいものや興味あるものをまず探さなければならないのに、さらに「進路」「大学選び」という負担まで重なるとうしろ良いか分からず、ストレスになって辛くなるから[滋賀/女/大学]
- ・自分だけではわからないことのほうが多いから[香川/男/大学]

● 選択肢を増やしたい

- ・経験をもとに話してくれることで自分の選択に幅ができたり、やりたいことに自信が持てるようになるから[滋賀/男/大学]
- ・さまざまな視野からアドバイスをたくさん得てよく考えながら選択していきたいから[岩手/男/大学]
- ・いろいろな視点で考えることが出来ると思うから。アドバイスを参考にしたいから[岩手/女/専門学校]
- ・自分が決める事もあるけど選択肢を多くする事はいいことだと思うから[神奈川/男/大学]

▶ アドバイスしてほしいくない

● 自分で決めたい

- ・自分の人生だから何か言われて変えるのがいやだから[岩手/男/大学]
- ・自分で決めるから。親の介在が入ると自分の人生を決められた気がして嫌だから[東京/男/大学]
- ・今まで自分自身が悩みを持っていた時、誰かがそれを理解して解決に導いてくれたみたいなきっかけがほとんどなく、大抵自分で解決しようとしてうまくやってきたので、やはり自分で決めたいから。また、しっかり自分で考えることで周りに流されることなく自分の意思で進路を勝ち取りたいから[滋賀/男/大学]
- ・自分のことだからちゃんと自分で考えて決めたい[長崎/女/大学]
- ・自分で調べる力があるので大丈夫です[静岡/男/大学]

● 親のアドバイスが的外れに感じる・干渉されたくない

- ・反対されることになるのはわかっているので、アドバイスは要らない[神奈川/男/その他]
- ・もう考え抜いたことに口だされても面倒くさい[静岡/男/大学]
- ・保護者が進路選択をしたときから長い年月が経っており、アドバイスが的確ではない可能性があるから。先生方より良いアドバイスができるなんてことは基本的にあり得ないから[香川/男/大学]

I.進路選択における親子コミュニケーションの実態

進路選択についての相談相手

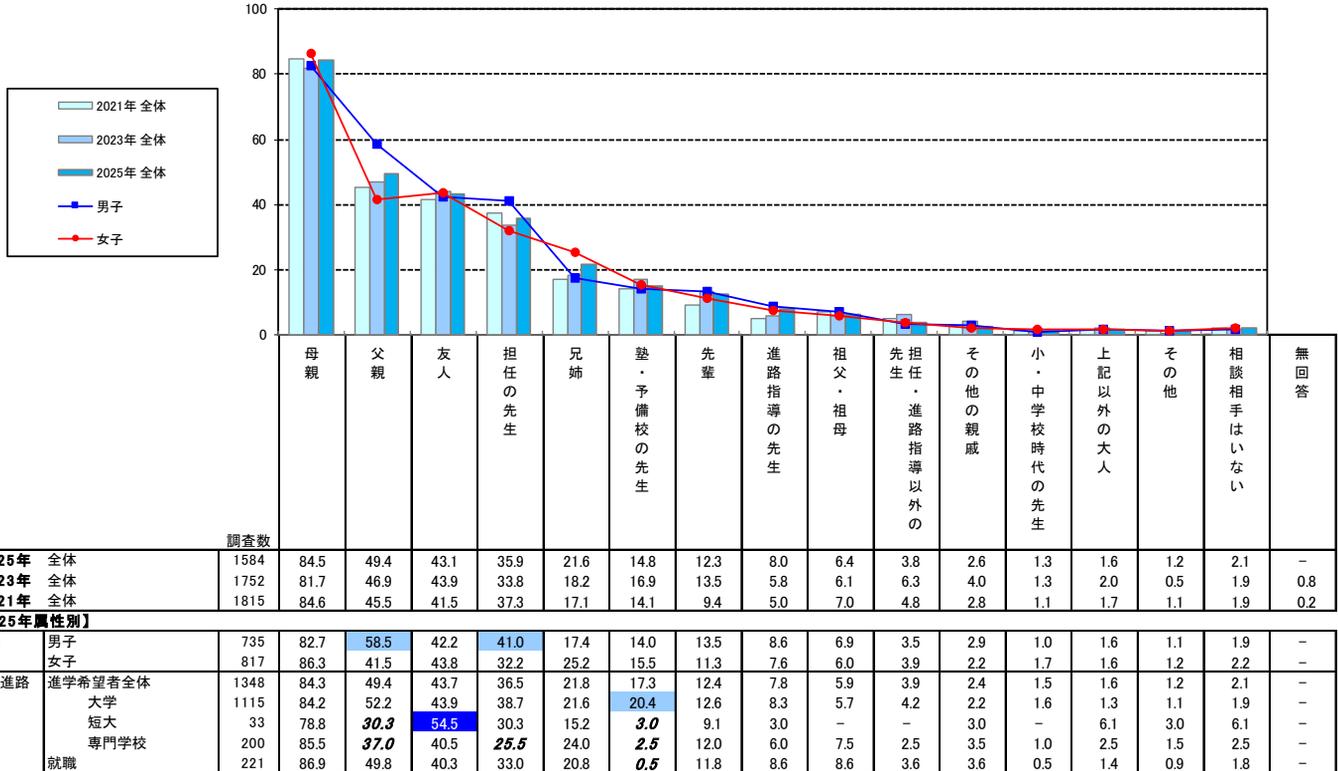
- ▶ 高校生が進路を考えるうえで相談する相手としては、「母親」が突出して高い。
- ▶ 時系列では「父親」の増加傾向が続く。

※ 高校生：Q10 進路を考えるうえで、あなたは誰に相談しますか。相談する人すべてをお選びください。

- 高校生に対して進路を考えるうえで誰と相談するかを尋ねたところ、「母親」(84.5%)が突出して高く、以下「父親」「友人」が40%以上、「担任の先生」が30%以上で続く。
- 時系列でみると、「母親」は80%以上を維持している。「父親」は漸増傾向で、今回ほぼ50%に達した。また「兄弟」も漸増しており、わずかずつではあるが家族への相談が増えていることがわかる。

【高校生】 進路についての相談相手（よく話をする〜ときどき話をする／複数回答）

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

K.Q10

▶ <フリーコメント：高校生> 最もよく相談する相手と理由

● 母親

- ・大学の詳しい情報は持っていないかもしれないけれど私の話をよく聞いてくれるから[北海道/女/大学]
- ・オープンキャンパスにも毎回行ってきてくれるし、大学の仕組みを理解していて、1番気にかけてくれているから[東京/女/大学]
- ・自分のことをよく知っていて、話す環境が多いという点で選択した[静岡/男/就職]
- ・いつも気にかけてくれるから。オープンキャンパスに行くことを勧めてくれたから[富山/女/大学]
- ・一番近い大人で助けるべきタイミングをわかってくれている[長崎/女/就職]

● 父親

- ・私の興味のある大学や学部について一緒になって調べてくれるから。関東の大学に通っていたからか、大学についてさまざまなことを知っているの志望校を決める上で参考になっているから[岩手/女/大学]
- ・同性であり、話やすく、自分の考えを聞いて理解してもらえるから[富山/男/大学]
- ・大学や進路の知識があるのは父親の方だから[香川/男/大学]
- ・いくつもの道(こんな生き方があるよ)を調べてくれて、教えてくれたうえで、別にこの中から選べと指定してくるわけでもないけれど、私がこうなりたいというのを伝えると、全力でサポートしてくれるから。私もたくさん情報収集をしてくれているから[長崎/女/大学]

● 友人

- ・同じような目標を掲げている友人が周りにいるので、似たような悩みをお互い抱えていてお互い助け合っている感が強いから[静岡/男/大学]
- ・同学年の人と同じ立場なので、共感してもらいやすい。その人の進路の計画とかを聞いていると、そういう選択肢もあるんだなと自分の選択が広がる気がする[滋賀/女/大学]

● 担任の先生

- ・親族よりも幅広い情報が貰えるから[静岡/女/専門学校]
- ・進路に関する知識が広いから[静岡/女/大学]

I. 進路選択における親子コミュニケーションの実態

目指している・あこがれている人の存在

▶ 高校生の26.2%が、自分の将来を考えると、目指している人やあこがれている人が「いる」。

» 高校生: Q14_自分の将来像を考えると、目指している人やあこがれている人はいますか。ひとつだけお選びください。

- 高校生に対して、自分の将来を考えると、目指している人やあこがれている人がいるかどうかを尋ねたところ、26.2%が「いる」と回答した。
- 時系列で見ると、2021年を底として、目指している・あこがれている人が「いる」割合が徐々に増加している。

【高校生】 目指している人やあこがれている人はいるか（全体／単一回答）

(%)

		いる	いない	無回答
●凡例				
2025年	全体 (n= 1584)	26.2	73.8	
2023年	全体 (n= 1752)	24.1	74.5	1.3
2021年	全体 (n= 1815)	18.7	80.8	0.5
【2025年属性別】				
性別	男子 (n= 735)	25.3	74.7	
	女子 (n= 817)	26.7	73.3	
希望進路別	進学希望者全体 (n= 1348)	27.2	72.8	
	大学 (n= 1115)	28.4	71.6	
	短大 (n= 33)	21.2	78.8	
	専門学校 (n= 200)	21.0	79.0	
	就職 (n= 221)	18.1	81.9	
進路選択の意識別	考えている・計 (n= 1297)	29.0	71.0	
	考えていない・計 (n= 287)	13.6	86.4	

K.Q14

●目指している・あこがれている人 ※件数は複数回答でカウント	(件)
芸能人・アーティスト・著名人	51
先生	47
父親	29
母親	25
人の役に立つ人	23
スポーツ選手	18
先輩	15
特定の性格の人(自立している・人に親切など)	14
自分の好きなことを仕事にしている人	14
親兄弟姉妹以外の親族・知人	13
特定の職業に就いている人	13
兄	13
姉	13
医師	11
看護師	8
お金持ち	8
自営業者	6
両親	3
友人	3
いずれもあてはまらない	13

I. 進路選択における親子コミュニケーションの実態

将来像に向けての行動開始状況と具体的な内容

▶ 将来像に向けて何か行動を起こしている人は20.4%。

▶ 高校生：Q14s1_自分の将来像に向けて、何か行動を起こすなど、始めていることはありますか。ひとつだけお選びください。

- 将来像に向けて何か行動を起こしていることがあるかを尋ねたところ、20.4%「ある」と回答した。
- 時系列で見ると、「始めたいがまだやっていない」が増加した。
- 具体的に始めている行動についてフリーコメントで回答を求めたところ、勉強への取り組みのほか、資格取得を目指す、英語や楽器などの特技の技能を伸ばすといった回答や、オープンキャンパス、インターンシップなどの実体験を積むといった回答があがった。

【高校生】自分の将来像に向けての行動を開始しているか（全体／単一回答）

(%)

		ある	始めたいがまだやっていない	ない	無回答
● 凡例					
2025年 全体	(n= 1584)	20.4	53.9	25.8	
2023年 全体	(n= 1752)	20.1	46.2	32.3	1.4
2021年 全体	(n= 1815)	19.0	49.4	30.5	1.2
【2025年属性別】					
性別	男子 (n= 735)	21.0	52.9	26.1	
	女子 (n= 817)	19.8	54.8	25.3	
希望進路別	進学希望者全体 (n= 1348)	22.1	54.0	23.9	
	大学 (n= 1115)	22.3	54.3	23.3	
	短大 (n= 33)	27.3	51.5	21.2	
	専門学校 (n= 200)	20.0	52.5	27.5	
	就職 (n= 221)	10.0	52.5	37.6	
進路選択の意識別	考えている・計 (n= 1297)	24.1	55.1	20.7	
	考えていない・計 (n= 287)	3.5	48.1	48.4	

K.Q14.1

▶ <フリーコメント：高校生>自分の将来像に向けての具体的な行動

- 受験勉強・学習への取り組み
 - ・解剖学について学び始めました[岩手/男/大学]
 - ・英検やプログラミング[岩手/男/大学]
 - ・友人と共に勉強[東京/男/大学]
 - ・評定を上げるため日々努力しています[静岡/男/大学]
 - ・生物の職に就きたいので、生物の勉強をたくさんしている。生物の職は限られているのでどれが自分の性に合っているかを考えている[富山/女/大学]
 - ・医学や薬学に興味があり、医学や薬学に関する書籍を購入し、読んでいる[富山/女/大学]
 - ・勉強。テレビをみて日本の現状を知る[滋賀/女/専門学校]
 - ・部活がある日でも必ず勉強をしている[滋賀/女/大学]
 - ・理系科目の勉強や薬学系のイベントや実習などに積極的に参加していること[長崎/女/大学]
- 資格取得や資格に関する情報収集
 - ・韓国語能力試験資格の取得[東京/女/大学]
 - ・英語を話せるように英語の勉強。英検とか[神奈川/女/大学]
 - ・大学のオープンスクールに積極的に رفتり取りたい資格などを調べたりしている[静岡/男/大学]
 - ・資格取得や、検定取得、奨学金の応募[静岡/女/専門学校]
 - ・海外で研究をしたいので、積極的に海外研修の奨学金に応募したり、検定を受けたりしている[富山/女/大学]
 - ・進路に有利になりそうな音楽関係のグレードを取得している[滋賀/女/大学]
 - ・大学入試のための資格取得[長崎/男/大学]
- オープンキャンパスやインターンシップなど実体験を積む
 - ・資格を取得するための勉強をする。オープンキャンパスや文化祭に行く。農業関係のイベントに参加する[静岡/女/専門職短大]
 - ・警察学校のオープンスクールに行ったりした[岩手/男/就職]
 - ・資格取得、インターンシップなど、今のうちに積めるだけの経験を積んでおくことです[静岡/女/大学]
 - ・自分の興味のある大学に実際に何回もオープンキャンパスに行ってみる[静岡/女/短大]
 - ・ロボット研究をやりたいので大学などのオープンキャンパスを通してロボットに関する情報を得ている[東京/男/大学]
 - ・音楽コースを選択し、ピアノが上達できるようにしている。探究で保育を選択している。大学の保育学科のオープンキャンパスに行った[香川/女/短大]
 - ・専門学校のオープンキャンパスに参加したりその学校の先生や先輩に聞いてみている[長崎/女/専門学校]

I.進路選択における親子コミュニケーションの実態

進路選択について保護者が取る態度

▶進路選択に関する保護者の態度について、高校生の67.0%が「ちょうどいい」。

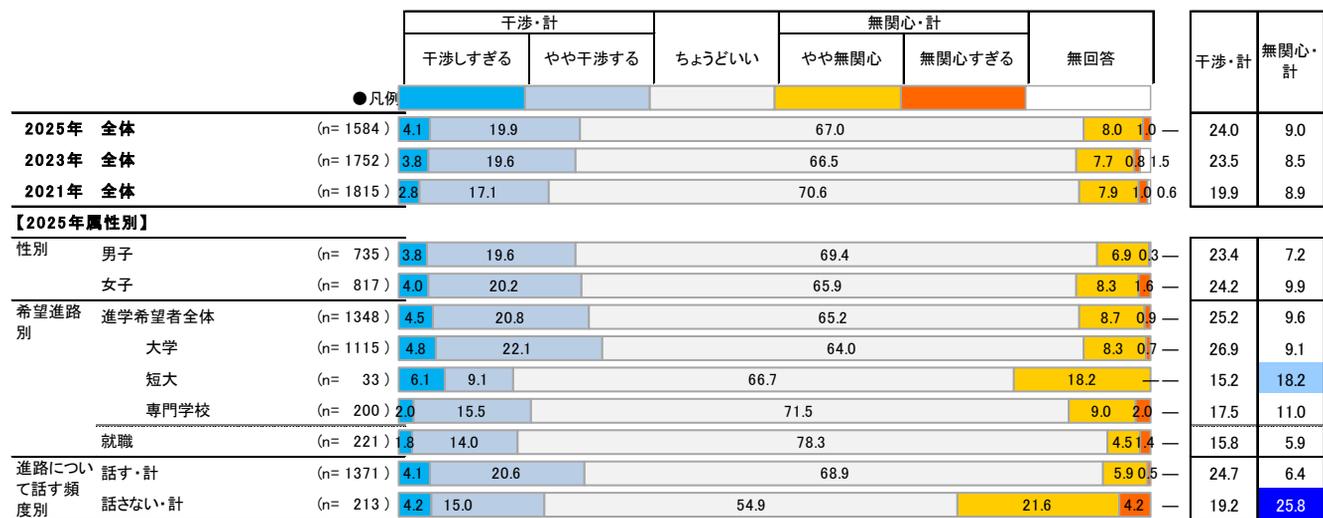
▶「干渉・計」は24.0%で、2021年からは徐々に増加傾向。

» 高校生：Q13 あなたの進路選択に関する保護者の方の態度はどのようなものですか。ひとつだけお選びください。

- 高校生に、進路選択に関する保護者の態度について尋ねたところ、67.0%が「ちょうどいい」と回答した。一方、「干渉・計」は24.0%、「無関心・計」は9.0%となっている。
- 時系列で見ると、「干渉・計」は2021年(19.9%)より約4ポイント増加した。
- 性別にみると、「ちょうどいい」割合が男女共70%弱を占めている。
- 進路について話す頻度別にみると、話す・計層では「ちょうどいい」が68.9%占めるものの、「干渉・計」も4人に1人程度となっている。逆に話さない・計層では、「無関心・計」が25.8%を占める。

【高校生】 進路選択に関する保護者の態度（全体／単一回答）

(%)



※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い K,Q13

I.進路選択における親子コミュニケーションの実態

進路選択についての保護者の行動・態度

1)保護者にあてはまること

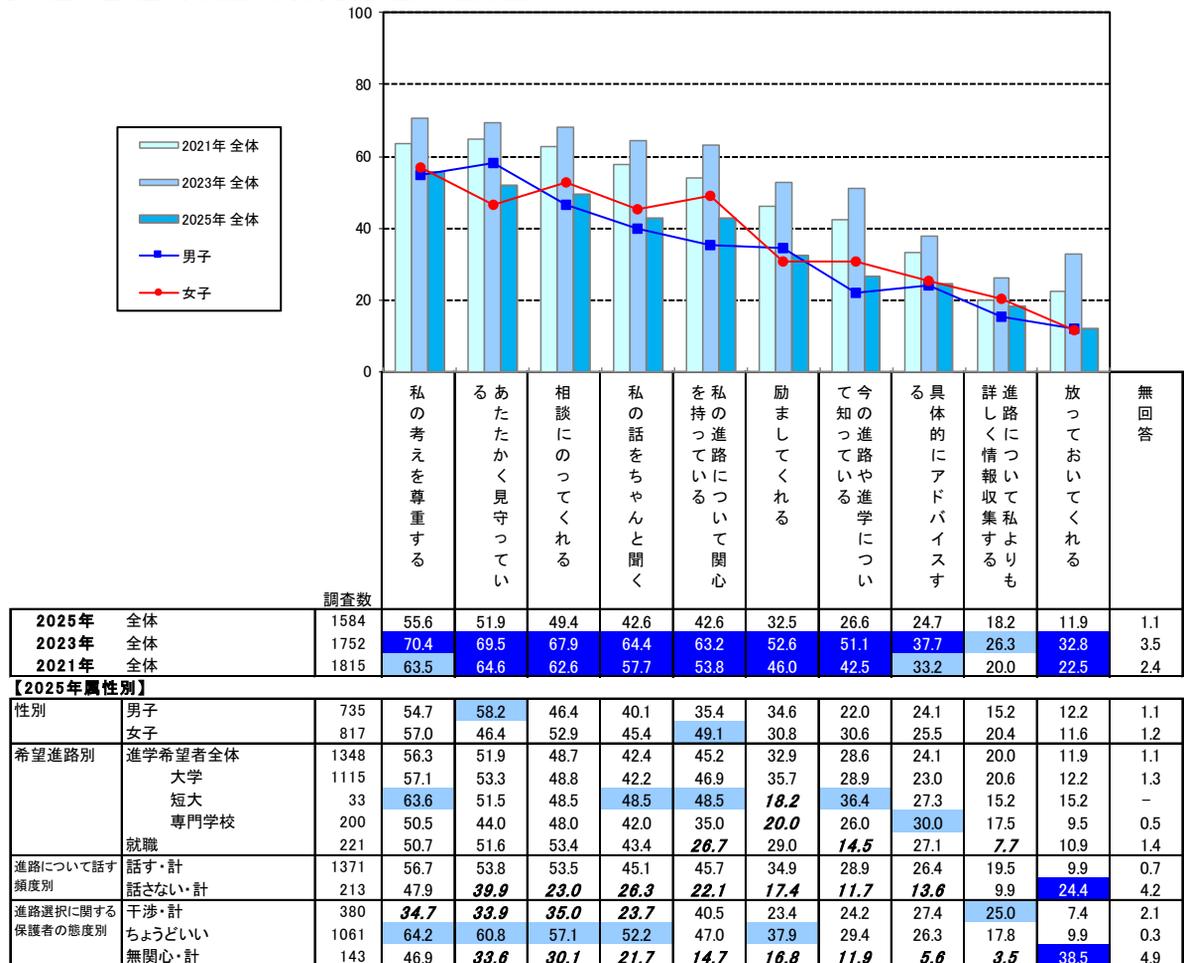
▶進路選択に関する保護者の行動や態度は、「私の考えを尊重する」「あたたかく見守っている」「相談にのってくれる」が50%前後。

» 高校生：Q11s1_進路に関する保護者の行動や態度についてお聞きします。あなたの保護者の行動や態度として、あてはまるものをすべてお選びください。

- 高校生に対して、進路選択に関する保護者の行動や態度としてあてはまるものを尋ねたところ、「私の考えを尊重する」(55.6%)、「あたたかく見守っている」(51.9%)、「相談にのってくれる」(49.4%)が上位。
- 性別にみると、男子では「あたたかく見守っている」、女子では「私の考えを尊重する」が第1位。

【高校生】 進路選択で保護者にあてはまること（全体／複数回答）

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

K_Q11_1

I.進路選択における親子コミュニケーションの実態

2)保護者にしてほしいこと

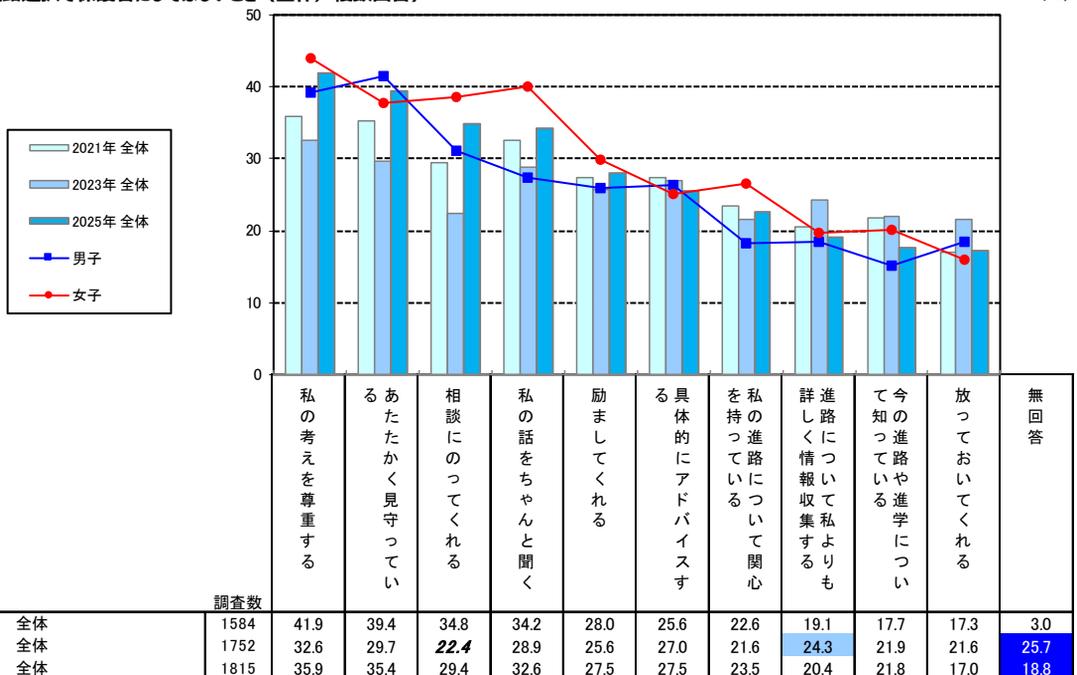
▶高校生が進路選択で保護者に望む行動・態度は、「私の考えを尊重する」「あたたかく見守っている」。

»高校生:Q11s2 進路に関する保護者の行動や態度についてお聞きします。保護者に「してほしい」と思うのはどのようなことですか。あてはまるものをすべてお選びください。

- 高校生に、進路選択に関する行動や態度として、保護者に「してほしい」と思うことを尋ねたところ、「私の考えを尊重する」「あたたかく見守っている」が4割前後。
- 性別にみると、男子より女子でスコアが高い項目が多いが、「あたたかく見守っている」「具体的にアドバイスする」「放っておいてくれる」は男子のほうが高い。
- 進路選択に関する保護者の態度別にみると、保護者が干渉すると感じている層では「放っておいてくれる」が全体と比較して5ポイント以上高い。一方、無関心と感じている層では「私の進路について関心を持っている」「進路について私よりも詳しく情報収集する」が全体と比較して10ポイント以上高く、高校生の進路に対する関心を持って関与することを求めていることがわかる。

【高校生】 進路選択で保護者にしてほしいこと（全体／複数回答）

(%)



【2025年属性別】		調査数	私の考えを尊重する	あたたかく見守っている	相談ののつてくれる	私の話をちゃんと聞く	励ましてくれる	具体的にアドバイスする	私の進路について関心を持っている	進路に関する情報収集するよりも	今知ってる進路について	放っておいてくれる	無回答
性別	男子	735	39.3	41.5	31.2	27.3	25.9	26.3	18.2	18.5	15.2	18.5	3.0
	女子	817	44.1	37.7	38.6	40.1	29.9	25.2	26.6	19.6	20.2	16.0	3.1
希望進路別	進学希望者全体	1348	42.2	38.6	33.4	35.0	28.4	24.9	23.8	20.5	18.8	18.3	3.0
	大学	1115	42.6	39.5	32.9	35.5	29.1	25.8	24.0	21.3	19.3	19.3	2.9
	短大	33	51.5	45.5	39.4	48.5	48.5	27.3	36.4	15.2	27.3	12.1	3.0
	専門学校	200	38.5	33.0	35.0	30.0	21.0	19.5	20.5	16.5	15.0	14.0	4.0
	就職	221	39.8	43.4	43.4	29.4	24.9	29.4	15.4	11.3	10.4	10.9	2.7
進路について話す頻度別	話す・計	1371	42.9	40.3	36.4	35.8	29.3	26.3	22.8	19.7	18.3	15.2	2.9
	話さない・計	213	35.2	33.3	24.9	23.9	19.2	21.6	21.6	15.5	13.6	30.5	3.3
進路選択に関する保護者の態度別	干渉・計	380	41.3	39.2	23.4	33.7	23.9	18.7	13.9	15.5	12.1	25.5	0.5
	ちょうどいい	1061	42.8	41.6	40.0	35.2	29.8	27.7	24.0	18.7	19.0	13.7	4.1
	無関心・計	143	36.4	23.8	27.3	28.0	25.2	28.7	35.0	32.2	22.4	22.4	1.4

※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

K_Q11_2

I. 進路選択における親子コミュニケーションの実態

進路選択行動への保護者の関与

1) 子どもの進路選択行動への関与状況

- ▶ 行ったことがある行動で多いのは、「子どもに合う分野をアドバイスする」「どんな学部、学科、コースがあるかを調べる」などが上位。
- ▶ 「行ったことはないが、今後行いたい」行動としては、子どもが興味をもった進学先に関する情報収集が上位。

▶ 保護者：Q8 お子さんの進路選択行動に対する保護者としての関わり方についてお聞きます。以下のようなことを、行ったことがありますか。また、行ったことがない方は、今後行うつもりはありますか。それぞれについて、あてはまるものをひとつずつお選びください。

- 子どもの進学を希望する保護者に対して、子どもが高校2年生の時点で、保護者として進路選択行動にどのように関わっているかを尋ねた。「行ったことがある」行動としては、【子どもに合う分野をアドバイスする】(68.3%)、【どんな学部、学科、コースがあるかを調べる】(66.5%)が上位。
- 一方、「行ったことはないが、今後行いたい」行動としては、【興味をもった学校の入試方法を調べる】(42.9%)、【興味をもった学校の資料請求をする】(41.7%)が40%以上で上位。

【保護者】進路選択行動の関わり方（進学希望者／各単一回答）

	2025年 n=777 2023年 n=950 2021年 n=1006	経験意向・計				経験意向・計
		行ったことがある	行ったことはないが、今後行いたい	行ったことはなく、今後行うつもりはない	無回答	
● 凡例						
子どもに合う分野をアドバイスする		68.3	17.9	13.8	—	86.2
		65.9	20.8	12.2	1.1	86.7
		67.4	21.6	9.7	1.3	89.0
就職か進学かを選ぶ際にアドバイスする		60.6	12.6	26.8	—	73.2
		59.3	12.9	26.1	1.7	72.2
		60.5	15.2	23.4	0.9	75.7
大学か短大か専門学校かを選ぶ際にアドバイスする		59.2	12.7	28.1	—	71.9
		56.3	14.9	27.3	1.5	71.3
		56.5	17.2	25.4	0.9	73.7
将来の職業をアドバイスする		64.5	18.3	17.2	—	82.8
		64.4	18.8	14.9	1.8	83.3
		64.8	21.9	12.3	1.0	86.7
具体的な受験校を子どもにアドバイスする		60.9	20.5	18.7	—	81.3
		51.5	26.9	19.8	1.8	78.4
		54.8	28.3	15.9	1.0	83.1
子どもに合う学校にどんな学校があるかを調べる		64.0	26.8	9.3	—	90.7
		53.3	34.1	11.4	1.3	87.4
		50.6	36.5	11.6	1.3	87.1
どんな学部、学科、コースがあるかを調べる		66.5	25.4	8.1	—	91.9
		58.8	30.4	9.4	1.4	89.3
		55.3	33.3	10.4	1.0	88.6
興味をもった学校の資料請求をする		37.7	41.7	20.6	—	79.4
		34.4	44.5	19.8	1.3	78.9
		30.4	48.5	20.2	0.9	78.9
興味をもった学校の見学に行く(オープンキャンパス・学校見学会を含む)		53.9	36.4	9.7	—	90.3
		50.1	38.1	10.7	1.1	88.2
		17.2	68.3	13.5	1.0	85.5
興味をもった学校の入試方法を調べる		50.8	42.9	6.3	—	93.7
		43.8	46.3	8.6	1.3	90.1
		36.2	53.3	9.8	0.7	89.5

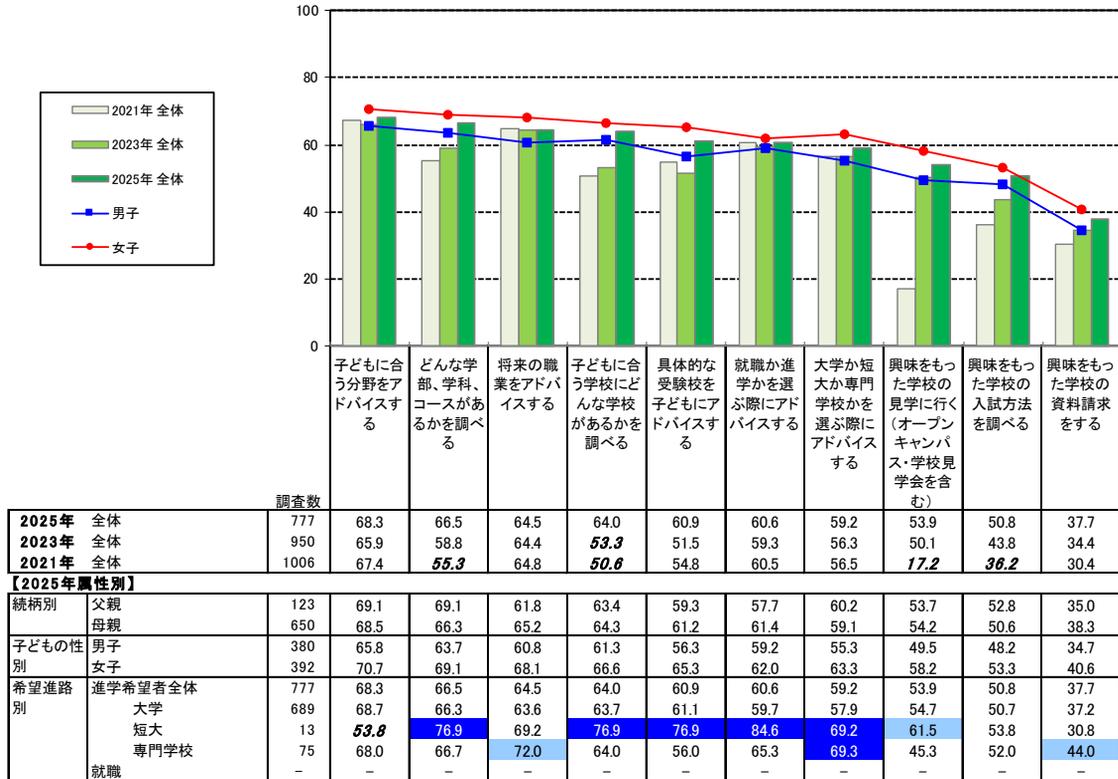
H.Q8マトリクス

I.進路選択における親子コミュニケーションの実態

» 保護者：Q8 お子さんの進路選択行動に対する保護者としての関わり方についてお聞きします。以下のようなことを、行ったことがありますか。また、行ったことがない方は、今後行うつもりはありますか。それぞれについて、あてはまるものをひとつずつお選びください。

【保護者】 進路選択行動の関わり方：「行ったことがある」の割合（進学希望者／各単一回答）

(%)



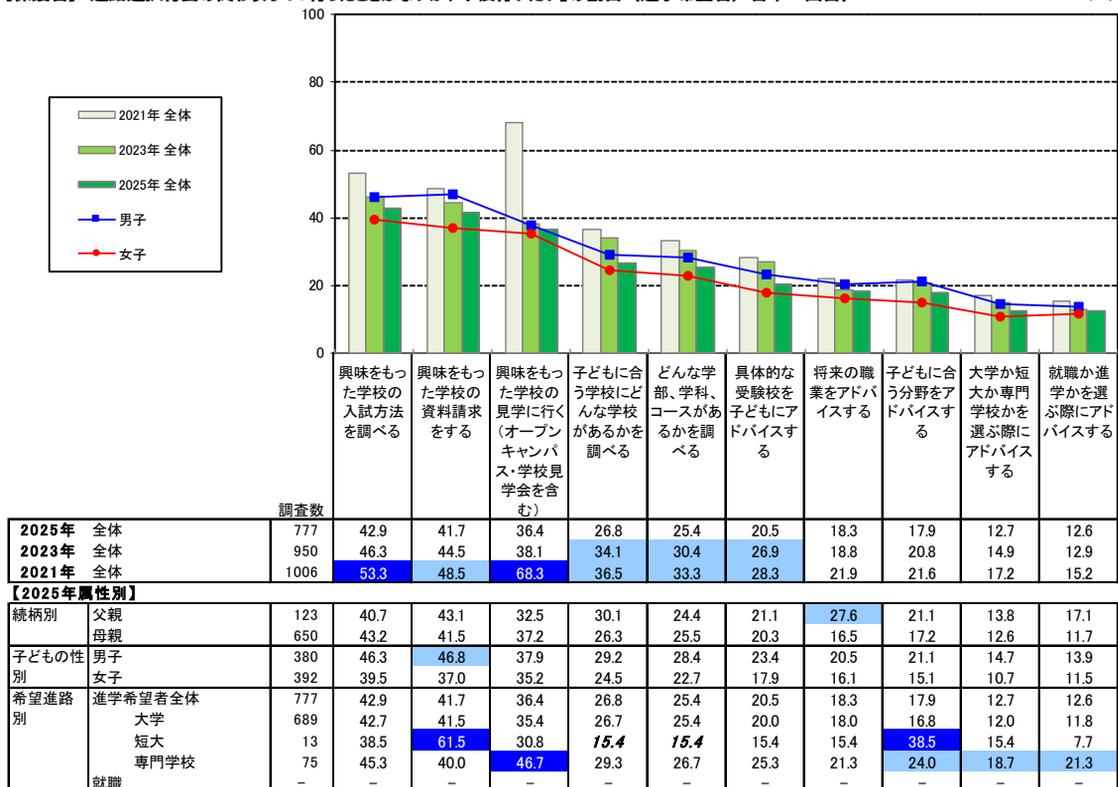
※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い 10pt以上低い

H_Q8TOP1

【保護者】 進路選択行動の関わり方：「行ったことはないが、今後行いたい」の割合（進学希望者／各単一回答）

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い 10pt以上低い

H_Q8TOP2

II. 進路選択行動

高校卒業後の希望進路

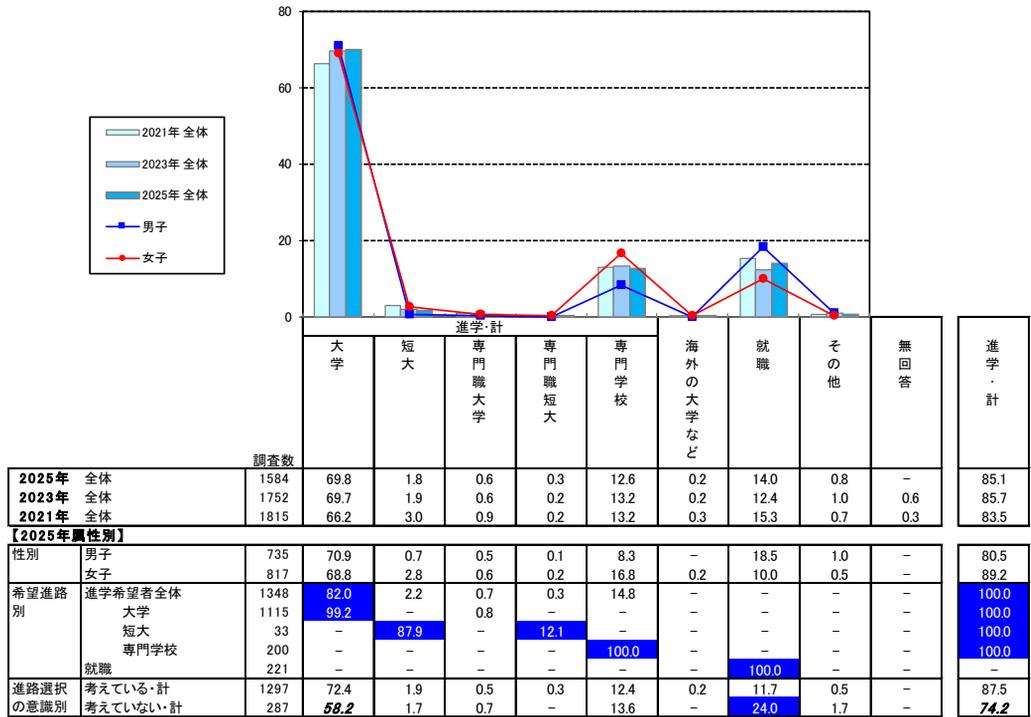
▶ 高校生の69.8%、保護者の52.6%が「大学」への進学を希望。

- ▶ 高校生：Q5_高校を卒業したらどのような進路に進みたいと思っていますか。ひとつだけお選びください。まだはっきり決めていない人も、現時点で一番希望している進路を選んでください。
- ▶ 保護者：Q10_高校を卒業したら、お子さんにはどのような進路に進んでほしいと思っていますか。ひとつだけお選びください。

- 高校生、保護者のそれぞれに、高校卒業後の希望進路について尋ねたところ、高校生では、「大学」が突出して多く、69.8%にのぼる。
- 保護者では、「大学」(52.6%)が最も高く、次いで「子どもが希望する進路なら何でもいい」(32.1%)。

【高校生】 高校卒業後の希望進路 (全体/単一回答)

(%)

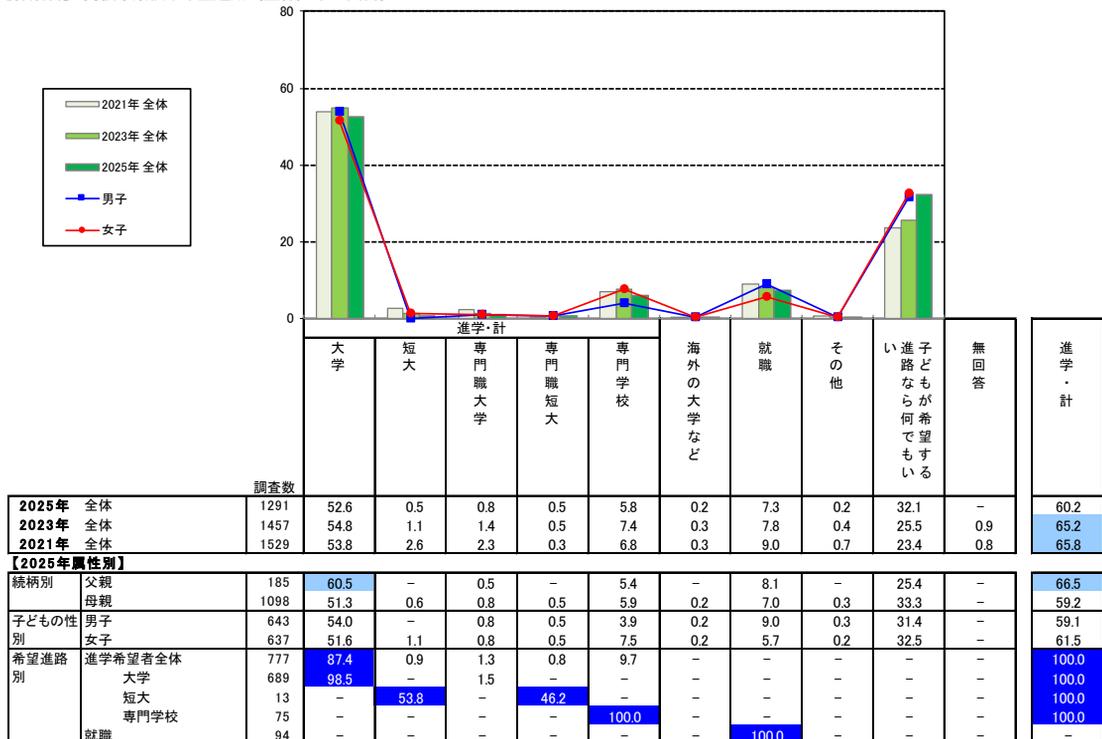


※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

K,Q5

【保護者】 高校卒業後の希望進路 (全体/単一回答)

(%)



※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

H,Q10

II. 進路選択行動

▶ <フリーコメント:保護者>子どもの進路選択について気がかりなこと

- やりたいことが決まっていない・将来の職業や夢が不明確
 - ・将来何がしたいのか、まだ何もかんがえていない[北海道/母親/男/大学]
 - ・大学へ行く目的がはっきりしていないが進学を望んでいる[岩手/母親/男/専門職短大]
 - ・大学に進学したいと思ってるのはわかりますが、やりたい事や興味のある事があまり思い浮かばなくて漠然と進学…という感じがします。まずは興味や関心など気持ちが向く物が見つかってくるといいなと思います[東京/母親/女/大学]
 - ・進路が決まらない、将来の夢がない[富山/母親/男/大学]
 - ・行きたい学部はあるのだが、結局将来何になりたいのか決まっていない[香川/母親/男/大学]
- 本人のやる気や主体性の不足
 - ・行きたい学校があり目標を高く持っていますが、正直口だけで予備校にも通ってるにも関わらずあまり勉強していない。目標高く持ってるから予備校にも行かせてるのにその事を言えば忙しいやわかってるとしか言われずどれくらい理解しているのかわからない[神奈川/母親/男/大学]
 - ・高い目標を持ってほしいが自分には無理と思って安全圏で落ち着こうとするように感じる。努力すれば届かない目標ではないのでどのように励ましていけばいいのかわからない[東京/母親/男/大学]
 - ・家ではゲーム等あまり勉強していないので(家以外ではやっている本人は主張)、休みの日は一日中ごろごろしていることも。これで大学受験出来るのか不安しかないです[静岡/母親/男/大学]
 - ・まだ定まっていないからか、何事も手付かずである[長崎/母親/女/子の希望なら何でも]
- 本人の学力の不足
 - ・推薦で行けるところがあるといいが、それに見合う学力があるのか不安[岩手/母親/女/子の希望なら何でも]
 - ・学校ではできていても、上に進学すれば、上には上がいることで、学力的もついていけるか心配[静岡/母親/女/子の希望なら何でも]
 - ・圧倒的学力不足[富山/母親/男/子の希望なら何でも]
 - ・あまり勉強しないのが心配です[長崎/母親/女/子の希望なら何でも]
- 進路の選び方、準備、決定をどう進めるかがわからない
 - ・大学等で学んだ先の社会状況がどのように変化しているのかわからないこと[岩手/父親/女/大学]
 - ・今後の世の中のこと、何が子供に向いているのかわからない[岩手/母親/男/大学]
 - ・やりたい事を学ぶために、どんな学部、学科に進めばよいかかわからない[東京/母親/女/大学]
 - ・子供がやりたい職業に就く為に、どこの大学のどの学部が一番いいのかわからない[静岡/母親/女/大学]
 - ・行きたい大学の入試のためにどう勉強をしたらよいかかわからない[静岡/母親/女/大学]
 - ・選択した学部の内容を本当にわかっているのかが心配です[長崎/母親/男/子の希望なら何でも]
- 情報や知識の不足、大学や高校からの情報提供の不足・わかりづらさ
 - ・入試の状況(共通テスト)詳細が、よくわからない[北海道/母親/女/大学]
 - ・自ら調べないと情報を得られないので、早めに動かないと出遅れそうで心配[岩手/母親/男/大学]
 - ・学校だけの指導で受験対策は十分なのか分からないが、塾に行こうにも学年途中からどこの塾を選んだらいいのかわからない[神奈川/母親/男/大学]
 - ・年内受験までに英語の民間検定や、小論文や面接の対策が間に合うかが心配[静岡/母親/男/大学]
 - ・受験の方法や、オープンキャンパスの参加が必要かなど[静岡/母親/女/大学]
 - ・高校でどれだけの情報が提供されているのか気になる[富山/母親/男/大学]
 - ・受験制度が多岐に渡り、複雑すぎる[長崎/母親/男/大学]
- 学費など経済的な理由によって選択肢が制限されること
 - ・選択肢を多く示してあげたいが、金銭的な制限との兼ね合いがあること[北海道/母親/男/子の希望なら何でも]
 - ・経済的な理由で国公立を選んで欲しいが、私大の方が多く難しい[岩手/母親/女/大学]
 - ・本人は行きたい大学、行きたい学部が決まっていて、それはよいことだと思うが、博士号の取得を望んでいるので学費が心配[東京/母親/男/大学]
 - ・大学進学に対しての経済的負担が大きすぎる。子供が一人ではないので、進学費用の工面を本人に伝えると、不本意な選択をしようかもしれないと思ってしまう。経済的な不安が無く、将来の選択ができるような世の中になってほしいと切に願っています[東京/母親/男/大学]
 - ・専門への進学を希望しているが家計に余裕がなく学費などが払えない為、奨学金を借りられるか不安。また子供が行く気満々なのに借りれなかった場合どうなるのか心配[静岡/母親/女/専門学校]
 - ・医療系の仕事を指しているため、大学にお金がかかる[滋賀/母親/女/子の希望なら何でも]
- コミュニケーション・アドバイスの難しさ
 - ・子供の考えに関して将来の目標に迷いが無いことが分かっているが、親として適切にアドバイスができないことがあり、あまり進路について話すことができないので心配である[東京/父親/男/大学]
 - ・子が文系だが、親2人が理系なので、文系の大学の事情や受験対策などがわからず、自信を持った態度で助言ができない[東京/父親/男/大学]
 - ・自分が高校生の頃(1973生まれです)とは、時代背景、難易度、受験制度などもずいぶん変わってしまったので、親も臨機応変に対応しながら子供と進んでいます。それが合っているのか自信はありませんが、正解はないと思いますので、子供と楽しみながらできたらと考えています[静岡/父親/男/大学]
 - ・あまり口を出さないようにしているが、どこまで手を出さずに、どこまで踏み込むのが良いかが難しい[香川/母親/男/子の希望なら何でも]

II. 進路選択行動

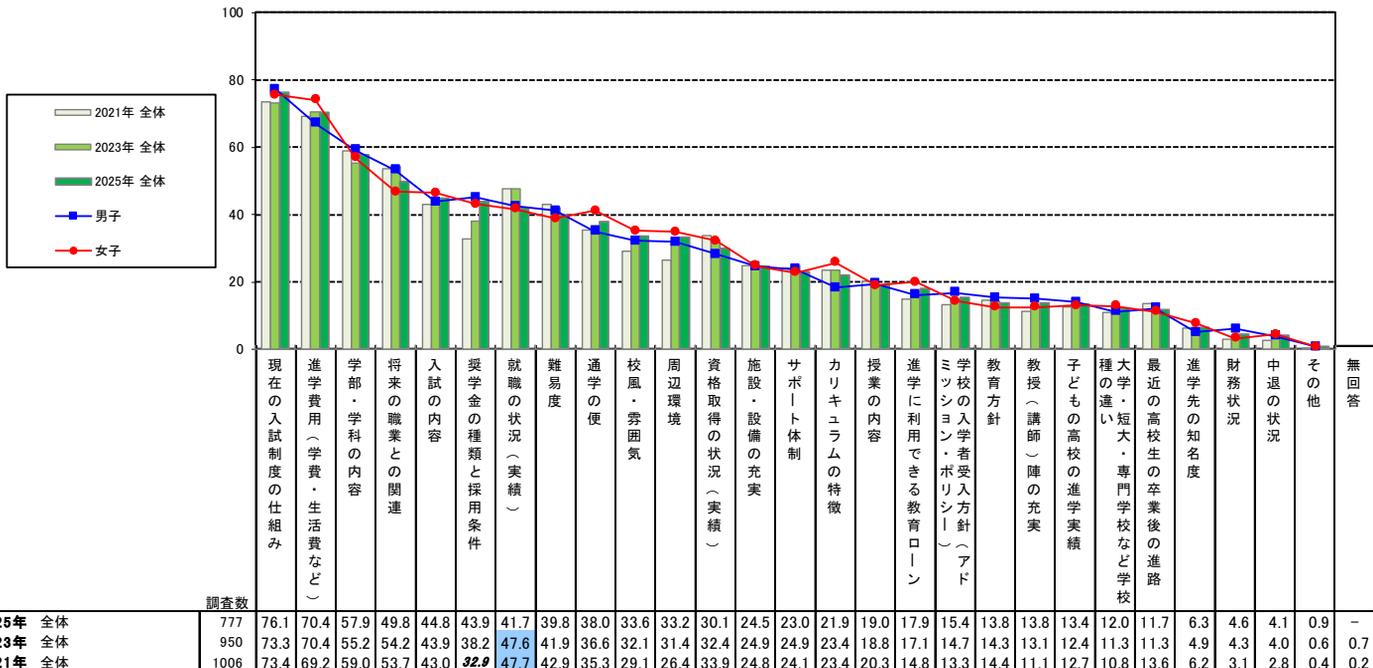
進学先検討で重要な情報

▶子どもの進学を希望する保護者にとって、進学先検討のために重要な情報は「現在の入試制度の仕組み」「進学費用(学費・生活費など)」が上位。

※保護者：Q12 お子さんを進学させたいとお考えの方にお聞きします。お子さんの進学にあたって、保護者としてどのような情報が重要だと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。

- 子どもに大学・短大・専門学校への進学を希望している保護者に対して、進学先を検討するにあたってどのような情報が重要だと思うかを尋ねたところ、「現在の入試制度の仕組み」(76.1%)が最も高く、以下「進学費用(学費・生活費など)」(70.4%)が70%以上、「学部・学科の内容」(57.9%)、「将来の職業との関連」(49.8%)などが続く。
- 「奨学金の種類と採用条件」(43.9%)が第6位と、「進学費用(学費・生活費など)」とともに、経済状況の影響と考えられる項目が上位に入っている。

【保護者】 進学に際して必要な情報 (進学希望者/複数回答) (%)



【2025年属性別】		調査数	現在の入試制度の仕組み	進学費用(学費・生活費など)	学部・学科の内容	将来の職業との関連	入試の内容	奨学金の種類と採用条件	就職の状況(実績)	難易度	通学の便	校風・雰囲気	周辺環境	資格取得の状況(実績)	施設・設備の充実	サポート体制	カリキュラムの特徴	授業の内容	進学に利用できる教育ローン	学校の入学受入方針(アドミッション・ポリシー)	教育方針	教授(講師)陣の充実	子どもの高校の進学実績	種の違い	最近の高校生の卒業後の進路	進学先の知名度	財務状況	中退の状況	その他	無回答
続柄別	父親	123	73.2	63.4	53.7	50.4	35.8	44.7	39.0	40.7	30.1	30.1	26.8	23.6	20.3	22.0	16.3	22.8	21.1	12.2	13.0	16.3	13.0	11.4	16.3	7.3	2.4	4.1	-	-
	母親	650	76.6	71.8	58.8	50.0	46.6	43.7	42.3	39.5	39.4	34.2	34.3	31.4	25.4	23.4	22.9	18.5	17.4	16.2	13.8	13.2	13.5	12.2	10.9	6.2	4.9	4.2	0.9	-
子どもの性別	男子	380	77.1	67.1	59.2	53.2	43.7	45.0	42.4	41.1	35.0	32.1	31.8	28.2	24.5	23.7	18.2	19.5	16.1	16.8	15.3	15.0	13.9	11.1	12.1	5.0	6.1	3.9	0.8	-
	女子	392	75.5	74.0	56.9	46.7	46.4	43.1	41.6	38.8	41.1	35.2	34.9	32.1	24.7	22.7	25.8	18.9	19.9	14.3	12.5	12.5	13.0	12.8	11.2	7.7	3.3	4.3	0.8	-
希望進路別	進学希望者全体	777	76.1	70.4	57.9	49.8	44.8	43.9	41.7	39.8	38.0	33.6	33.2	30.1	24.5	23.0	21.9	19.0	17.9	15.4	13.8	13.8	13.4	12.0	11.7	6.3	4.6	4.1	0.9	-
	大学	689	80.4	70.2	60.5	50.2	46.7	43.1	41.7	41.8	38.8	34.0	34.7	28.4	25.0	22.1	21.9	18.4	17.1	16.7	14.4	14.1	13.5	10.0	11.6	6.4	4.6	4.1	0.9	-
	短大	13	69.2	69.2	23.1	46.2	30.8	46.2	38.5	23.1	38.5	38.5	30.8	38.5	-	15.4	30.8	15.4	23.1	-	7.7	-	23.1	23.1	7.7	-	-	-	-	-
	専門学校	75	37.3	72.0	40.0	46.7	29.3	50.7	42.7	24.0	30.7	29.3	20.0	44.0	24.0	33.3	20.0	25.3	24.0	6.7	9.3	13.3	10.7	23.0	13.3	6.7	5.3	5.3	1.3	-
	就職	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※今回調査の「全体」の降順ソート
 ※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

II. 進路選択行動

進学先検討の重視点

▶ 子どもの進学を希望する保護者が進学先を検討するにあたって重視することは、【教育内容・制度】【卒業後】に関することがらが上位。

» 保護者：Q13 お子さんを進学させたいとお考えの方にお聞きます。お子さんの進学先の学校を考える時に重視するのはどのようなことですか。あてはまるものをすべてお選びください。

- 子どもの進学を希望する保護者に対して、進学先を検討するにあたってどのようなことを重視するかを尋ねたところ、上記の項目のスコアが高く、【教育内容・制度】に関する項目や、【卒業後】の就職に関する項目が上位となっている。
- 特に「子どもの学びたい学部・学科・コースがある」が突出して高く、「子どもの興味や可能性が上げられる」も含め、子ども自身の希望に沿った教育を受けられることを重視する保護者が多いことがわかる。

子どもの進学を希望する保護者が進学先を検討するにあたって重視すること			%
1位	【教育内容・制度】	子どもの学びたい学部・学科・コースがある	86.9
2位	【教育内容・制度】	子どもの興味や可能性が上げられる	48.8
3位	【卒業後】	就職に有利である	45.7
4位	【卒業後】	将来の選択肢が増える	37.5
5位	【教育内容・制度】	社会で役立つ力が身につく	35.8
6位	【学生生活】	学生生活が楽しめる	34.0
7位	【卒業後】	卒業後に社会で活躍できる	33.8
7位	【ブランド性】	校風や雰囲気が良い	33.8
9位	【教育内容・制度】	教育方針・カリキュラムが魅力的である	32.6
10位	【入試難易度】	学費が高くない	31.3

II. 進路選択行動

» 保護者：Q13 お子さんを進学させたいとお考えの方にお聞きします。お子さんの進学先の学校を考える時に重視するのはどのようなことですか。あてはまるものをすべてお選びください。

【保護者】 進学先検討で重視すること(進学希望者/複数回答)

		(順位) ※上位10位	2025年 全体 (n=777)	2023年 全体 (n=950)	2021年 全体 (n=1006)	【2025年属性別】								
						続柄別		子どもの性別		希望進路別				
						2025年 全体 (n=777)	父親 (n=123)	母親 (n=650)	男子 (n=380)	女子 (n=392)	進学希望者 全体 (n=777)	大学 (n=689)	短大 (n=13)	専門学校 (n=75)
子どもの学びたい学部・学科・コースがある		(1位)	86.9	83.5	86.1	86.9	81.3	88.0	86.8	87.0	86.9	87.8	76.9	80.0
子どもの興味や可能性が広げられる		(2位)	48.8	50.8	52.3	48.8	37.4	51.2	49.5	48.2	48.8	50.1	61.5	34.7
社会で役立つ力が身につく		(5位)	35.8	45.9	46.6	35.8	39.8	35.1	37.4	34.4	35.8	35.7	30.8	37.3
教育方針・カリキュラムが魅力的である		(9位)	32.6	36.7	36.1	32.6	23.6	34.5	30.5	34.2	32.6	33.1	30.8	28.0
資格取得に有利である			29.9	38.3	38.7	29.9	20.3	31.7	24.7	34.9	29.9	27.0	46.2	53.3
教育内容のレベルが高い			25.9	24.2	25.2	25.9	26.0	25.8	28.2	23.5	25.9	27.6	-	14.7
専門分野を深く学べる			21.2	30.4	28.9	21.2	23.6	20.9	18.4	23.7	21.2	20.8	15.4	26.7
教養が身につく			12.5	16.7	19.0	12.5	16.3	11.8	10.8	14.0	12.5	12.6	7.7	12.0
国際的なセンスが身につく			11.6	11.9	12.1	11.6	13.0	11.4	10.8	12.2	11.6	12.5	7.7	4.0
ICT活用が進んでいる			4.9	8.5	6.2	4.9	7.3	4.5	5.8	4.1	4.9	5.2	-	2.7
学生の面倒見が良い			12.2	18.5	18.5	12.2	12.2	12.3	13.2	11.5	12.2	12.5	7.7	10.7
教授・講師陣が魅力的である			13.8	17.3	14.9	13.8	13.8	13.8	15.0	12.2	13.8	14.4	7.7	9.3
学生の学力が高い			11.1	12.6	12.3	11.1	13.0	10.8	14.2	8.2	11.1	12.3	-	1.3
先輩・卒業生が魅力的である			7.2	9.6	7.6	7.2	11.4	6.5	8.2	5.9	7.2	7.3	7.7	6.7
学生生活が楽しめる		(6位)	34.0	38.6	37.5	34.0	26.0	35.5	33.2	34.9	34.0	35.0	30.8	25.3
学習設備や環境が整っている			24.2	29.6	28.3	24.2	20.3	24.9	23.7	24.2	24.2	25.0	15.4	18.7
寮や奨学金などが充実している			14.8	19.2	17.3	14.8	9.8	15.5	16.3	13.5	14.8	14.9	15.4	13.3
キャンパスがきれいである			12.1	11.6	10.7	12.1	5.7	13.4	10.0	14.0	12.1	12.0	7.7	13.3
クラブ・サークル活動が盛んである			8.2	7.7	8.5	8.2	13.8	7.2	8.7	7.9	8.2	8.7	7.7	4.0
勉強するのに良い環境である			30.9	33.7	34.8	30.9	28.5	31.2	31.6	30.6	30.9	33.1	15.4	13.3
自宅から通える			26.3	19.3	25.9	26.3	20.3	27.5	21.3	30.6	26.3	24.8	30.8	38.7
交通の便が良い			25.0	26.9	29.7	25.0	19.5	25.8	21.6	28.1	25.0	23.5	30.8	37.3
生活に便利な立地である			16.0	18.7	17.6	16.0	13.0	16.6	15.8	16.3	16.0	16.5	15.4	10.7
入試難易度		(10位)	31.3	36.0	36.7	31.3	26.8	32.2	32.6	29.8	31.3	30.9	23.1	36.0
偏差値が子どもに合っている			22.7	19.7	18.5	22.7	22.8	22.5	25.0	20.4	22.7	24.1	7.7	12.0
入試方法が子どもに合っている			12.6	16.2	13.4	12.6	14.6	12.2	13.7	11.5	12.6	13.4	-	8.0
卒業後		(3位)	45.7	44.8	48.9	45.7	43.9	46.2	45.5	45.9	45.7	44.7	38.5	56.0
将来の選択肢が増える		(4位)	37.5	40.7	42.8	37.5	33.3	38.2	40.3	34.9	37.5	38.5	23.1	30.7
卒業後に社会で活躍できる		(7位)	33.8	46.7	49.4	33.8	30.9	34.5	35.8	31.9	33.8	34.4	38.5	28.0
ブランド性		(7位)	33.8	38.6	38.4	33.8	30.1	34.3	28.9	38.3	33.8	34.0	30.8	33.3
校風や雰囲気が良い			17.9	20.5	19.2	17.9	25.2	16.6	18.2	17.3	17.9	18.4	15.4	13.3
伝統や実績がある			16.3	24.2	23.3	16.3	18.7	15.7	15.8	17.1	16.3	17.0	23.1	9.3
活気がある感じがする			11.3	13.3	12.1	11.3	13.0	10.8	11.3	11.5	11.3	11.6	7.7	9.3
周囲の人からの評判が良い			9.5	11.5	10.5	9.5	16.3	8.2	9.7	9.2	9.5	9.7	-	9.3
学校が発展していく可能性がある			6.7	7.1	6.8	6.7	11.4	5.8	7.6	5.6	6.7	7.5	-	-
有名である			1.3	1.9	1.6	1.3	3.3	0.9	0.5	2.0	1.3	1.5	-	-
規模が大きい			0.6	-	0.4	0.6	-	0.6	0.5	0.5	0.6	0.6	-	1.3
その他			0.6	-	0.4	0.6	-	0.6	0.5	0.5	0.6	0.6	-	1.3
無回答			-	0.7	0.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※カテゴリーごとに今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

II. 進路選択行動

進学先を選ぶ際に最も重視していること

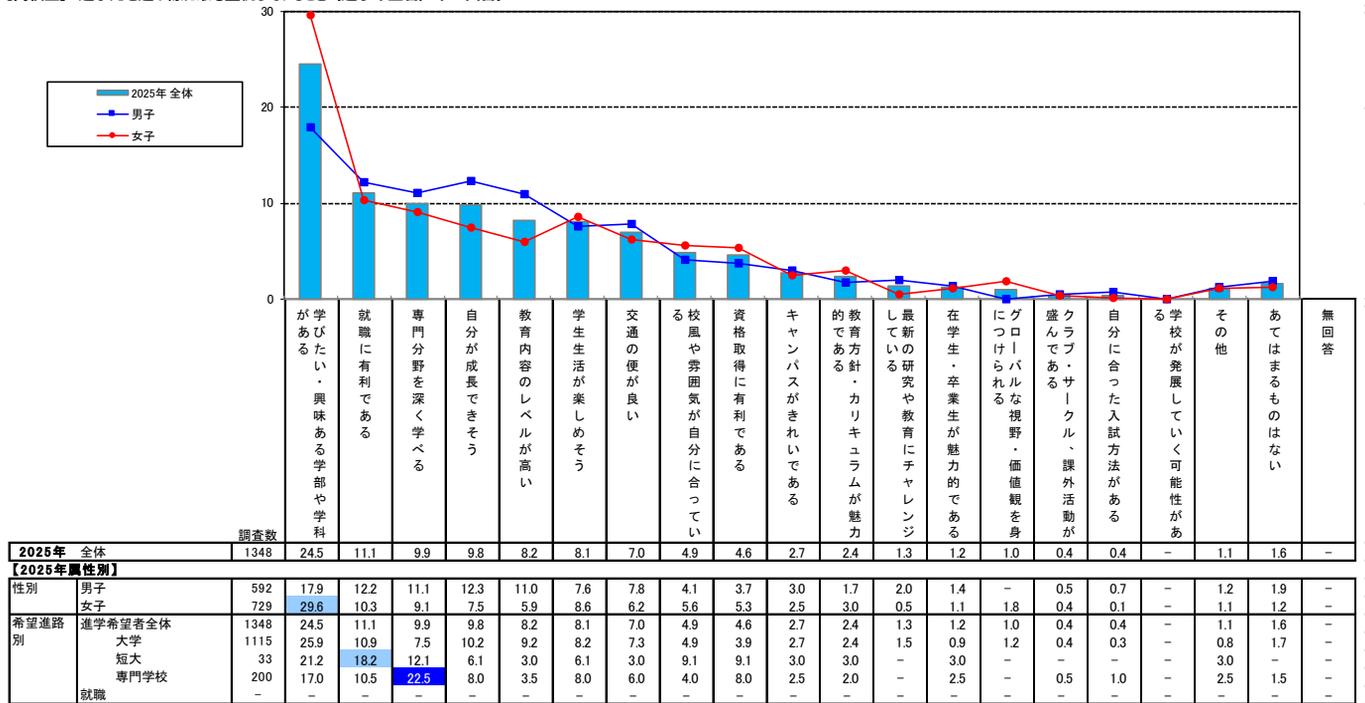
▶ 高校生が進学先を選ぶ際に最も重視しているのは、「学びたい・興味ある学部や学科がある」がトップ。

▶ 高校生：Q20.あなたが進学先(大学、専門学校など)を選ぶ際に、最も重視していることは何ですか。ひとつだけ選んでください。

- 高校生に対して、進学先を選ぶ際に最も重視することを尋ねたところ、「学びたい・興味ある学部や学科がある」(24.5%)が最も多く、次いで「就職に有利である」「専門分野を深く学べる」「自分が成長できそう」などが10%前後で続く。
- 性別にみると、「学びたい・興味ある学部や学科がある」は女子で特に高い。一方、第2位～5位の項目では男子で高くなっている。

【高校生】 進学先を選ぶ際に最も重視していること (進学希望者/単一回答)

(%)



2025年 全体		調査数	24.5	11.1	9.9	9.8	8.2	8.1	7.0	4.9	4.6	2.7	2.4	1.3	1.2	1.0	0.4	0.4	-	1.1	1.6	-
【2025年属性別】																						
性別	男子	592	17.9	12.2	11.1	12.3	11.0	7.6	7.8	4.1	3.7	3.0	1.7	2.0	1.4	-	0.5	0.7	-	1.2	1.9	-
	女子	729	29.6	10.3	9.1	7.5	5.9	8.6	6.2	5.6	5.3	2.5	3.0	0.5	1.1	1.8	0.4	0.1	-	1.1	1.2	-
希望進路別	進学希望者全体	1348	24.5	11.1	9.9	9.8	8.2	8.1	7.0	4.9	4.6	2.7	2.4	1.3	1.2	1.0	0.4	0.4	-	1.1	1.6	-
	大学	1115	25.9	10.9	7.5	10.2	9.2	8.2	7.3	4.9	3.9	2.7	2.4	1.5	0.9	1.2	0.4	0.3	-	0.8	1.7	-
	短大	33	21.2	18.2	12.1	6.1	3.0	6.1	3.0	9.1	3.0	3.0	3.0	-	3.0	-	-	-	-	3.0	-	-
	専門学校	200	17.0	10.5	22.5	8.0	3.5	8.0	6.0	4.0	8.0	2.5	2.0	-	2.5	-	0.5	1.0	-	2.5	1.5	-
	就職	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※今回調査の「全体」の降順ソート
 ※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

K.Q20

II. 進路選択行動

家庭の経済事情の進路決定への影響

▶保護者の合計68.9%が、家庭の経済事情が子どもの進路決定に「影響がある」と回答。

▶保護者：Q9.ご家庭の経済事情は、お子さんの進路決定にどの程度影響があるとお考えですか。お考えにもっとも近いものをひとつだけお選びください。

- 保護者に対して、家庭の経済事情が子どもの進路決定にどの程度影響があるかを尋ねたところ、「非常に影響がある」が33.1%、「ある程度影響がある」が35.9%を占め、合計では68.9%が影響があると回答した。
- 時系列で見ると「非常に影響がある」割合が徐々に増加しているが、「影響がある・計」は減少した。
- 希望進路別にみると、「非常に影響がある」割合は就職希望者では40.4%と、進学希望者全体(34.2%)を約6ポイント上回った。
- 「影響がある」と考える理由のフリーコメントをみると、子どもの希望どおりの進路を選ばせたい意向があっても、私立大学や遠方の大学希望などの選択肢をあきらめざるを得ないといった影響を懸念する意見が多い。

【保護者】 家庭の経済事情の進路決定への影響（全体／単一回答）

(%)

	●凡例	影響がある・計			影響がない・計		無回答	影響がある・計	影響がない・計
		非常に影響がある	ある程度影響がある	どちらともいえない	あまり影響がない	まったく影響がない			
2025年 全体 (n= 1291)		33.1	35.9	19.1	8.4	3.5	68.9	11.9	
2023年 全体 (n= 1457)		32.3	41.5	11.9	10.2	3.4	73.9	13.6	
2021年 全体 (n= 1529)		31.2	43.3	12.3	9.0	3.5	74.5	12.4	
【2025年属性別】									
続柄別	父親 (n= 185)	37.8	24.9	21.1	9.7	6.5	62.7	16.2	
	母親 (n= 1098)	32.1	38.0	18.8	8.2	2.9	70.1	11.1	
子どもの性別	男子 (n= 643)	30.5	34.7	21.6	8.9	4.4	65.2	13.2	
	女子 (n= 637)	35.5	37.5	16.3	8.2	2.5	73.0	10.7	
希望進路別	進学希望者全体 (n= 777)	34.2	38.2	16.2	8.1	3.2	72.5	11.3	
	大学 (n= 689)	34.0	38.2	15.8	8.4	3.6	72.1	12.0	
	短大 (n= 13)	23.1	46.2	23.1	7.7	—	69.2	7.7	
	専門学校 (n= 75)	38.7	37.3	18.7	5.3	—	76.0	5.3	
	就職 (n= 94)	40.4	23.4	25.5	6.4	4.3	63.8	10.6	

※「2025年全体」より ■ 10pt以上高い ■ 5pt以上高い ■ 10pt以上低い

H_Q9

▶ <フリーコメント：保護者> 家庭の経済事情が子どもの進路決定に与える影響

- 進路の選択肢が狭まる
 - ・進学先によって学費が違うので、家庭の経済状況によって選択の幅が狭まる[北海道/母親/男/専門職大学]
 - ・学費支払いをどのようにするか、経済的にかんがえていかなければならないから[岩手/母親/男/大学]
 - ・生活に余裕がなければ、進学の費用が捻出出来ないから[神奈川/母親/女/大学]
 - ・学部決定の幅が狭まる[神奈川/父親/男/大学]
 - ・大学は費用がとてめにかかるので、受験する学校数も考えなくてはいけないし、本当に行きたい大学ではないところに多額の費用を出したいと思わないから[東京/母親/男/大学]
 - ・自宅から通える範囲の大学しか選べない[東京/母親/女/大学]
 - ・学費や生活費など、親に負担をかけないようにと子どもが気を感じることがある[富山/母親/男/大学]
 - ・私立大学は学費が高く、収入と相談しなければならぬため[滋賀/母親/男/大学]
 - ・大学の授業料は自分で支払うように言っているので、大学選択もその旨を考慮しながら選択すると思う[香川/母親/男/子の希望なら何でも]
 - ・進学、通学、生活には経済的援助が不可欠だから[長崎/父親/男/大学]
- 進学か就職かの選択に影響する
 - ・経済的に難しい場合、大学進学を推すことを躊躇する[東京/母親/女/大学]
 - ・進学になるか就職になるかで今後の支出が変わってくる。収入は変わらないのに支出が増える[静岡/母親/男/就職]
 - ・進学か就職かで家計への影響が大きい[静岡/母親/男/子の希望なら何でも]
 - ・親としては無駄なお金がかかる進学は考えてなく、ブラック企業ではなく、収入や将来の安定をはかれるホワイト企業に就職できる事を望んでいます[静岡/母親/男/就職]
 - ・状況により進学か就職かを決めることになる[香川/母親/男/子の希望なら何でも]
 - ・本当は進学したいと思っても、負担を心配して就活しようと思う子供はいると思うから[長崎/母親/女/子の希望なら何でも]

II. 進路選択行動

進学に関する経済支援の認知と利用意向

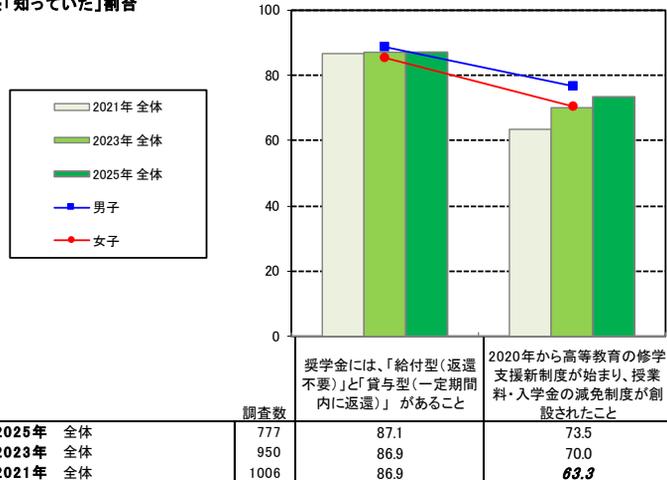
▶「2020年から高等教育の修学支援新制度が始まり、授業料・入学金の減免制度が創設されたこと」については、認知率・利用意向率のいずれも徐々に上昇。子どもの進学を希望する保護者の73.5%が認知し、61.6%が利用意向あり。

- ▶ 保護者：Q11 お子さんを進学させたいとお考えの方にお聞きます。進学に関する経済支援について、以下の事柄をご存知でしたか。ご自身にあてはまるものをひとつずつお選びください。
- ▶ 保護者：Q11s1 以下の支援制度の利用について、どのように考えますか。それぞれ、あてはまるものをひとつずつお選びください。

●子どもの進学を希望する保護者に対して、進学に関する経済支援の2点について知っていたかどうかを尋ねたところ、「奨学金には、『給付型(返還不要)』と『貸与型(一定期間内に返還)』があること」は87.1%、「2020年から高等教育の修学支援新制度が始まり、授業料・入学金の減免制度が創設されたこと」は73.5%が、それぞれ「知っていた」と回答した。

●また、利用意向について尋ねたところ、「高等教育の修学支援制度」の利用意向が61.6%にのぼった。

【保護者】 進学に関する経済支援の認知 (進学希望者/各単一回答) ※「知っていた」割合 (%)

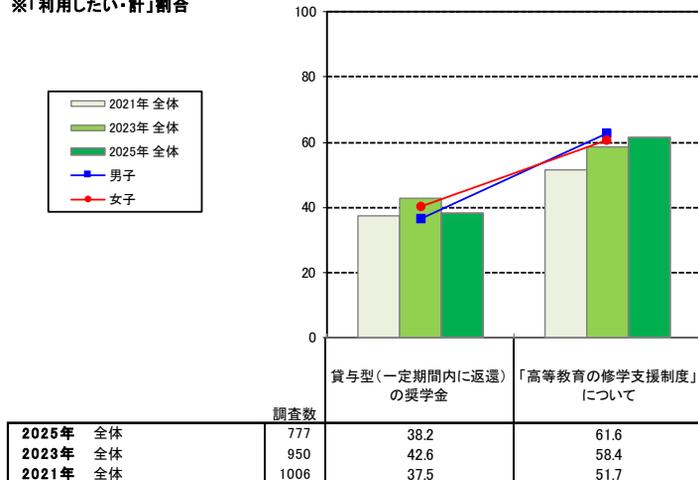


【2025年属性別】

続柄別	調査数	奨学金認知 (%)	新制度認知 (%)
父親	123	87.0	68.3
母親	650	87.2	74.6
子どもの性別			
男子	380	88.9	76.6
女子	392	85.5	70.4
希望進路別			
進学希望者全体	777	87.1	73.5
大学	689	87.7	74.5
短大	13	69.2	69.2
専門学校	75	85.3	65.3
就職	-	-	-
経済事情の進路決定への影響度別			
影響あり・計	563	87.4	73.7
どちらともいえない	126	85.7	74.6
影響なし・計	88	87.5	70.5

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い 10pt以上低い H.Q11

【保護者】 経済支援制度の利用意向 (進学希望者/各単一回答) ※「利用したい・計」割合 (%)



【2025年属性別】

続柄別	調査数	貸与型奨学金 (%)	修学支援制度 (%)
父親	123	38.2	69.1
母親	650	38.3	60.3
子どもの性別			
男子	380	36.6	62.9
女子	392	40.3	60.7
希望進路別			
進学希望者全体	777	38.2	61.6
大学	689	34.7	61.0
短大	13	76.9	61.5
専門学校	75	64.0	68.0
就職	-	-	-
経済事情の進路決定への影響度別			
影響あり・計	563	42.8	66.4
どちらともいえない	126	32.5	50.8
影響なし・計	88	17.0	48.8

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い 10pt以上低い H.Q11.1

II. 進路選択行動

学習に取り組むうえでのモチベーションリソース

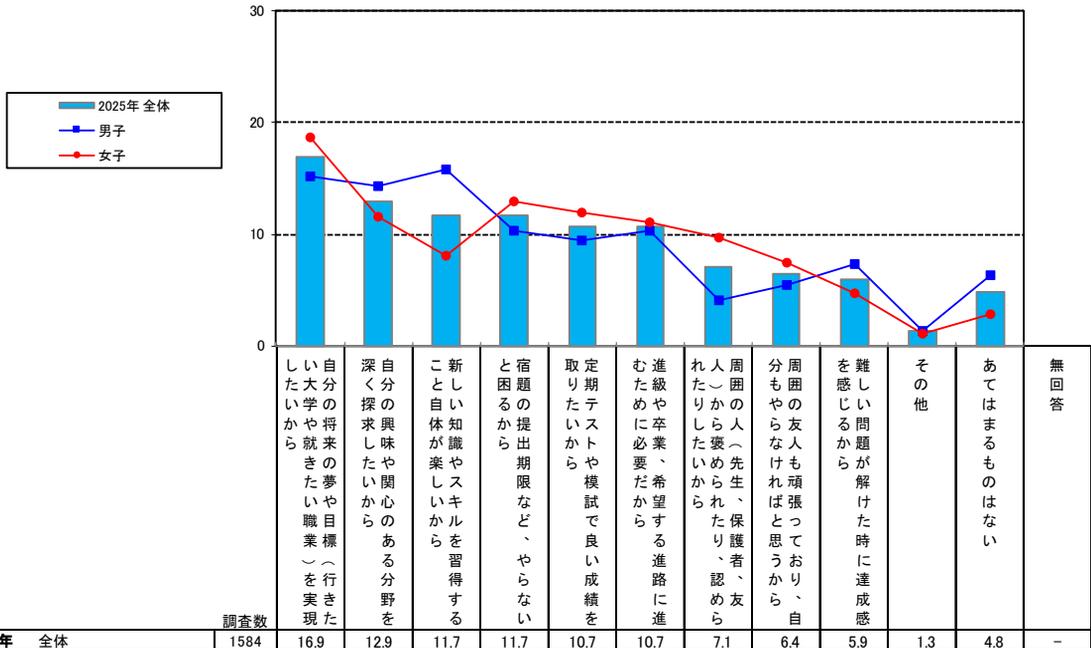
▶ 学習に取り組むうえでのモチベーションリソースのトップは「自分の将来の夢や目標(行きたい大学や就きたい職業)を実現したいから」。

» 高校生: Q19. あなたが日々の学習に取り組むうえで、最も大きなモチベーションになっているものは何ですか。ひとつだけお選びください。

- 高校生に、日々の学習に取り組むうえで最も大きいモチベーションリソースを尋ねたところ、「自分の将来の夢や目標(行きたい大学や就きたい職業)を実現したいから」(16.9%)が最も高く、次いで「自分の興味や関心のある分野を深く探究したいから」(12.9%)、「新しい知識やスキルを習得すること自体が楽しいから」(11.7%)、「宿題の提出期限など、やらないと困るから」(11.7%)などが続く。外的な要因よりも、内発的な理由で学習に取り組む人が多いことがわかる。

【高校生】 日々の学習に取り組むうえでの最も大きなモチベーションリソース (全体/単一回答)

(%)



2025年 全体		調査数	16.9	12.9	11.7	11.7	10.7	10.7	7.1	6.4	5.9	1.3	4.8	-
【2025年属性別】														
性別	男子	735	15.2	14.3	15.8	10.3	9.5	10.3	4.1	5.4	7.3	1.4	6.3	-
	女子	817	18.7	11.6	8.1	12.9	11.9	11.1	9.7	7.5	4.7	1.1	2.8	-
希望進路別	進学希望者全体	1348	18.1	12.1	11.9	11.0	11.3	11.6	6.8	6.2	6.1	1.2	3.7	-
	大学	1115	19.6	10.9	12.7	10.5	11.5	11.6	6.0	6.7	6.3	1.2	3.0	-
	短大	33	15.2	12.1	-	9.1	3.0	21.2	21.2	3.0	6.1	-	9.1	-
専門学校	就職	200	10.0	18.5	9.0	14.0	11.5	10.5	9.0	4.0	5.0	1.5	7.0	-
		221	10.0	16.7	10.9	17.2	6.8	5.4	9.0	6.8	5.4	1.8	10.0	-
高校所在地別	北海道	47	14.9	10.6	10.6	21.3	6.4	14.9	10.6	-	4.3	-	6.4	-
	岩手	212	23.1	10.4	6.6	12.3	10.4	16.0	3.8	7.1	5.2	2.4	2.8	-
	神奈川	123	9.8	22.0	8.1	10.6	12.2	8.1	7.3	5.7	2.4	0.8	13.0	-
	東京	216	17.1	13.4	19.0	11.1	7.9	9.7	5.6	5.1	6.0	2.3	2.8	-
	静岡	245	17.6	14.3	11.8	11.8	9.8	9.0	9.4	5.3	5.3	1.2	4.5	-
	富山	211	13.7	17.5	13.7	6.6	12.3	9.5	6.6	8.1	8.1	0.5	3.3	-
	滋賀	180	25.0	7.8	6.1	16.7	8.9	10.6	7.2	7.2	5.0	2.2	3.3	-
	香川	131	13.0	9.9	13.0	15.3	10.7	10.7	10.7	7.6	6.1	-	3.1	-
	長崎	219	12.8	10.0	13.7	9.1	14.6	10.0	6.4	6.8	8.2	0.5	7.8	-
高校での教育改革対応の実感有無別<全ベース>	感じている	413	17.2	15.3	16.5	8.0	9.9	11.4	6.8	4.6	5.6	1.5	3.4	-
	まだ感じていない	683	18.2	12.4	12.2	12.0	10.5	9.1	6.1	7.2	6.7	1.2	4.4	-
	わからない	488	14.8	11.5	7.2	14.5	11.5	12.3	8.6	6.8	5.1	1.2	6.6	-
探究学習への取組	感じている	387	18.9	12.9	15.8	7.0	10.1	12.4	7.0	7.5	5.7	0.3	2.6	-
	まだ感じていない	690	17.2	13.9	10.9	12.5	13.0	9.6	6.4	5.7	5.5	1.3	4.1	-
	わからない	507	14.8	11.4	9.9	14.4	7.9	10.8	8.1	6.5	6.7	2.0	7.5	-

※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い 10pt以下低い

K_Q19

II. 進路選択行動

子どもが学習に取り組むうえでの最も大切なモチベーションリソース

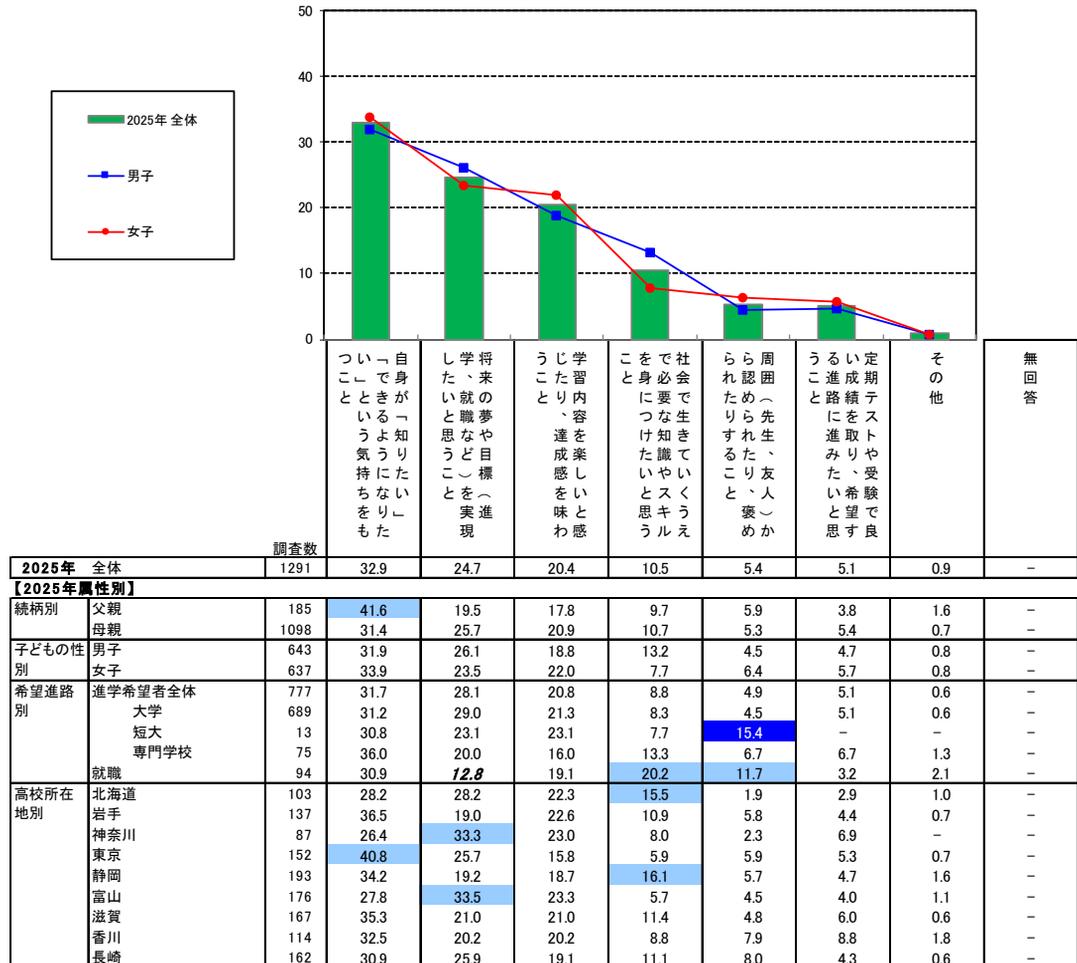
▶保護者では「自分が『知りたい』『できるようになりたい』という気持ちをもつこと」がトップ。

※保護者：Q22 お子さんが学習に取り組むうえで、最も大切なモチベーションは何だとお考えですか。ひとつだけお選びください。

- 保護者に対して、子どもが学習に取り組むうえで最も大切なモチベーションリソースが何かを尋ねたところ、「自分が『知りたい』『できるようになりたい』という気持ちをもつこと」が最も高く、次いで「将来の夢や目標（進学、就職など）を実現したいと思うこと」「学習内容を楽しいと感じたり、達成感を味わうこと」が高い。
- 将来的な目標の実現というよりも、高校生自身の内発的な知識欲が重要と考えていることがわかる。
- 子どものやる気やモチベーションを高めるために行っていることや心がけていることについてのフリーコメントをみると（次ページ）、子どもとの会話の機会を多くもち、普段からコミュニケーションをとって相談しやすい雰囲気を作ることを心がけるという意見が多い。
- 会話のなかでは「褒めて自己肯定感を高める」「過程を重視して応援する」「失敗を責めず励ます」「否定しない」など、子どものチャレンジや成長に対して肯定的な態度をとることを心がける保護者が多い。
- また、子どもの意見やペースを大切に、「干渉しすぎない」ことを心がけるという意見も多くみられた。
- 日常生活のサポートとしては、食事の内容や、睡眠時間についてのアドバイスなど、健康管理に気を配っているという意見が散見された。

【保護者】 学習に取り組むうえでの最も大切なモチベーションリソース（全体/単一回答）

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

H_Q22

II. 進路選択行動

<フリーコメント:保護者>子どものモチベーションを高めるために行っていること・心がけていること

- 会話する・子どもの話をよく聞く
 - ・顔を見て話す事[北海道/母親/男/子の希望なら何でも]
 - ・共通の趣味や興味のある事をもち、会話(メール含め)の回数や時間を増やす。お互いや世代間の価値観や見え方の違いを共有して、何を言わんとしているのかを想像して理解するチカラを養う[岩手/父親/女/就職]
 - ・親は子供に一番近い存在でなんでも言える相手だと、信頼してもらえるように努めている[東京/母親/女/大学]
 - ・よくいろんな話をしますが、性格のタイプが違うため、よくぶつかってしまいます。でも世の中の事や恋愛の話など色々話すことができ、こんな事考えているのか…と感心する事が多々あります。これからも楽しくさまざまな話しをしていけるようにと思っています[東京/母親/女/大学]
 - ・できるだけ好きなことに触れられる環境を作るようにしている。一緒にそういう話をする時間もそのうちのひとつ[滋賀/母親/男/子の希望なら何でも]
 - ・大学生活について、上の子どもと一緒に話をするようにしている[長崎/母親/男/大学]
- 子どもを褒めて自己肯定感を高める
 - ・とにかく褒めている。小さな事でも勉強や普段の生活などなんでも大小関わらず褒めまくっている[北海道/母親/男/子の希望なら何でも]
 - ・小さなことでも褒めて自己肯定感を高めるようにしている[静岡/母親/男/大学]
 - ・結果が出ているものに対しては、なるべく褒めるようにしている[富山/父親/男/大学]
 - ・得意なことややりたいことは伸ばせるように褒めて一緒に行く[滋賀/母親/女/子の希望なら何でも]
 - ・少しでも成績が良かったり、良い行いをした際は、褒める[長崎/母親/女/専門学校]
- 結果よりも過程を重視してチャレンジをうながす
 - ・勉強すればするだけ未来は開かれるよ、と言っています。[東京/母親/女/大学]
 - ・失敗を恐れず、チャレンジし続けることは成功の元[東京/父親/男/大学]
 - ・プラス思考で物事を考えるように話している。点数悪くても、直して理解できれば100点だよ、と[静岡/母親/女/子の希望なら何でも]
 - ・チャレンジさせることを大切にします [静岡/母親/女/大学]
 - ・結果よりも過程を重視 [富山/母親/女/子の希望なら何でも]
 - ・子どもが成果を発表する機会は必ずみにいくようにしています。そして、それまでの過程と結果を認めるようにしています[香川/母親/女/大学]
- 否定しない
 - ・否定しすぎない[北海道/母親/女/子の希望なら何でも]
 - ・決めつけた発言や、頭ごなしの否定をしない[岩手/母親/男/大学]
 - ・否定から話をしないようにしている[静岡/母親/男/大学]
 - ・推し活を否定しない。心の安定も大事にしたい[滋賀/母親/女/大学]
 - ・見守る[長崎/母親/女/大学]
 - ・もちろんダメな事はダメと言いますが、頭ごなしに否定せず、見守っています。聞かれた場合は助言などしています[長崎/母親/女/子の希望なら何でも]
- 食事や体調管理などの日常生活を支える
 - ・成績～褒める～…云々のまえに栄養あるバランスがとれた食事をもとに心身を整えることが最優先と考えている[岩手/母親/女/大学]
 - ・食事や体調管理などの日常生活でのバックアップ[東京/父親/男/大学]
 - ・子が学校からもらってきた野菜を使って、必ず調理して食卓にだしています[静岡/母親/女/子の希望なら何でも]
 - ・睡眠と入浴、運動を毎日それなりに時間をとるようにすすめてる。あと、健康的な食事[滋賀/父親/女/子の希望なら何でも]
- 必要に応じて情報提供やアドバイスをする
 - ・やりたいことは否定せず、協力出来ることは出来る限り協力し、なるべく自分の力でやり遂げられるようにヒントを出しながらも、自力で達成を促している[岩手/母親/男/就職]
 - ・目標に関わることで手助けしてほしい場合はできるだけ手助けする[富山/母親/男/子の希望なら何でも]
 - ・必要だと思う情報を提供し、きっかけを与える[滋賀/父親/女/大学]
 - ・不安にならないように、塞翁が馬的な視点も大切と伝えている[香川/父親/男/大学]
 - ・自身の経験話をしたり、本人が本当に必要なものは購入する[香川/母親/男/大学]
- 干渉しすぎない・本人のペースを大事にする
 - ・子供に任せる[北海道/父親/女/子の希望なら何でも]
 - ・あまり口出しをしないようにしている[神奈川/母親/女/子の希望なら何でも]
 - ・本人に任せている[静岡/父親/女/専門学校]
 - ・子どもが自分で考えて行動できるように、こちらは何も言わない[滋賀/母親/女/子の希望なら何でも]
 - ・余計な干渉はしない。自らで現実を見つめるまで辛抱強く待つしかないと考えています[長崎/父親/男/大学]

Ⅲ. 進路・将来に対する期待と不安

進路意識

▶ 高校生の81.9%が、高校2年生の段階で進路について「考えている」。

» 高校生：Q4 あなたは、自分の進路選択について現時点でどれくらい考えていますか。ひとつだけお選びください。

- 高校生に対して、高校2年生の時点で、進路選択についてどの程度考えているか尋ねたところ、「かなり考えている」が21.3%、「ある程度考えている」が60.6%を占め、合計では81.9%が考えていると回答した。
- 時系列で見ると、「考えている・計」にはほとんど変化がみられない。
- 性別にみると、男子(19.6%)より女子(22.8%)で、「かなり考えている」割合が高い。
- 希望進路別にみると、進学希望者全体では「考えている・計」が84.2%を占めるが、就職希望者では68.8%と相対的に低い。
- 保護者との進路に関する会話頻度別にみると、進路について話す層では、進路について「考えている・計」が86.1%と高い。一方で話さない層では「考えていない・計」が45.1%を占めた。

【高校生】 自分の進路選択についてどの程度考えているか（全体／単一回答）

(%)

	n	考えている・計		考えていない・計		無回答	変化	考えている・計	考えていない・計
		かなり考えている	ある程度考えている	あまり考えていない	まったく考えていない				
● 凡例									
2025年 全体	(n= 1584)	21.3	60.6	17.0	1.1	—	81.9	18.1	
2023年 全体	(n= 1752)	21.0	60.4	16.6	1.2	0.9	81.4	17.8	
2021年 全体	(n= 1815)	21.4	60.0	17.2	1.0	0.3	81.4	18.3	
【2025年属性別】									
性別	男子	(n= 735)	19.6	60.0	19.2	1.2	—	79.6	20.4
	女子	(n= 817)	22.8	61.2	15.1	1.0	—	84.0	16.0
希望進路別	進学希望者全体	(n= 1348)	22.9	61.3	14.8	1.0	—	84.2	15.8
	大学	(n= 1115)	21.7	63.1	14.2	1.0	—	84.8	15.2
	短大	(n= 33)	30.3	54.5	15.2	—	—	84.8	15.2
	専門学校	(n= 200)	28.5	52.0	18.0	1.5	—	80.5	19.5
	就職	(n= 221)	11.3	57.5	30.3	0.9	—	68.8	31.2
進路について話す頻度別	話す・計	(n= 1371)	23.5	62.6	13.4	0.5	—	86.1	13.9
	話さない・計	(n= 213)	7.0	47.9	39.9	5.2	—	54.9	45.1

※「2025年全体」より ■ 10pt以上高い ■ 5pt以上高い 10pt以上低い K.Q4

Ⅲ. 進路・将来に対する期待と不安

進路を考えたときの気持ち

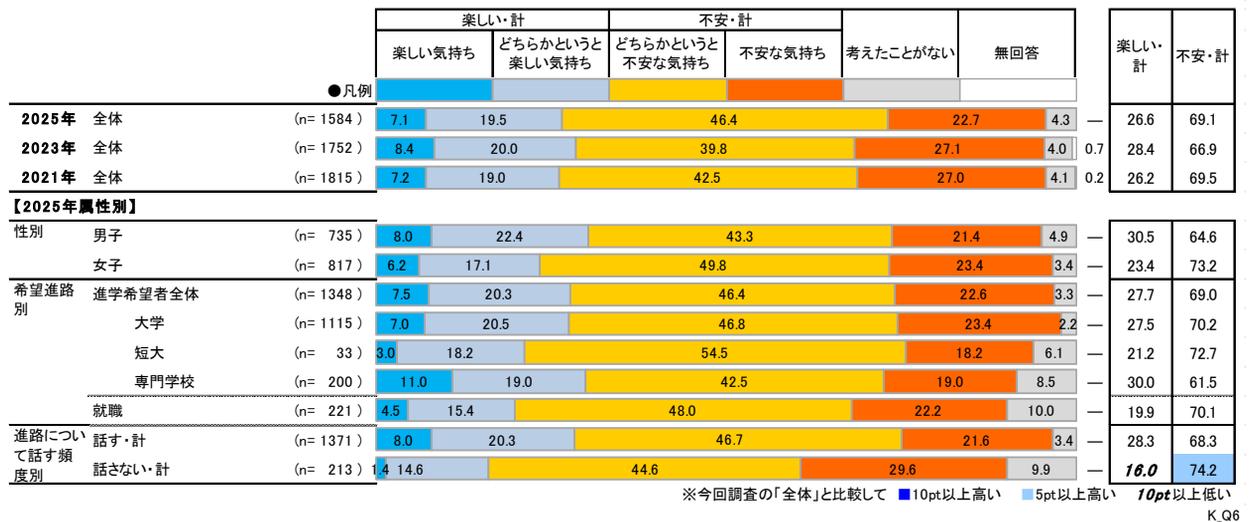
▶ 高校生が進路を考えたときの気持ちは、「楽しい・計」が26.6%、「不安・計」が69.1%。

▶ 時系列では、「どちらかという不安な気持ち」が前回より増加。

▶ 高校生：Q6 進路を考えたときのような気持ちになりますか。ひとつだけお選びください。

- 高校生に対して、進路を考えたときにどのような気持ちになるかを尋ねたところ、「楽しい気持ち」「どちらかという楽しい気持ち」が合計で26.6%を占めた。一方、「どちらかという不安な気持ち」「不安な気持ち」は合計で69.1%を占めており、不安を感じる高校生が圧倒的に多い。
- 時系列でみると、「不安な気持ち」は前回より4ポイント程度減少したが、「どちらかという不安な気持ち」が前回より増加し、半数近くを占めた。
- 性別にみると、「楽しい・計」の割合は男子(30.5%)のほうが女子(23.4%)より高い。
- 希望進路別にみると、進学希望者全体では「楽しい・計」が27.7%、就職希望者では19.9%と、進学希望者のほうが高い。
- 保護者との進路に関する会話頻度別にみると、進路について話す層では「楽しい・計」が28.3%であるのに対し、話さない層では16.0%にとどまっている。
- フリーコメントで、どのような気持ちになるかを具体的に尋ねたところ、「楽しい気持ち」と回答した層では、これまでに経験のない生活や環境に対して期待する気持ちや、現在の準備期間を経て将来に一步踏み出すことに対する“ワクワク感”について言及する意見が多い。
- 一方、「不安な気持ち」と回答した層では、未知の環境に対する不安もあるが、「やりたいことがみつけれないまま、今将来を決めなければならない」ことへの不安を感じている人が少なからずいることがわかる。

【高校生】 進路を考えたとき、高校生はどんな気持ちになるか（全体／単一回答）



▶ <フリーコメント：高校生> 進路を考えたときの気持ち

● 楽しい気持ち／どちらかという楽しい気持ち

- ・どんな生活や環境が待っているのか期待が高まる[北海道/男/大学]
- ・自分がやりたいことを学べる大学や専門学校について調べることや、キャンパスの様子や部活動のことを調べるのが楽しいから[北海道/女/大学]
- ・2年しかないからどうい生活しようか考えていると少しワクワクするが、一人なので不安でもある[岩手/女/短大]
- ・社会人になるのは楽しみで、不安なこともあります但し楽しみの方が強いです。どんな仕事をするか楽しみです[神奈川/男/就職]
- ・大学に入って、一人暮らしをすることのあこがれや、自分の好きなことについて研究することへののたのしみ[富山/男/大学]
- ・私にとっては今までの高校生活が将来のための準備期間でもあるのでそれらをふまえてようやくスタートできることにワクワクする気持ちがある[滋賀/女/大学]
- ・自分の将来を想像しながら考えるのが楽しい[長崎/男/専門学校]

● 不安な気持ち／どちらかという不安な気持ち

- ・自分が本当にしたいことは何か自分でもわからず、見つけたとしても自分の希望する大学に入れるか心配[岩手/男/大学]
- ・共通テストで十分な点数がとれるかという不安。大学入学後、学ぶべきことが十分に学べるのか不安。その学問に触れてみて、違和感を覚えないか不安。大学生活を送る中で、その時学んでいる学問の系統と全く異なる進路に進みたくならないか不安。留年したり、退学したりすることにならず、きちんと4年で大学を卒業できるか不安[岩手/女/大学]
- ・頑張らなきゃだけど、とにかく不安。今まで逃げ続けた自分にできるのか[神奈川/女/大学]
- ・やりたいことが無いのに、人生に関わる重大な決断をしている[富山/女/大学]
- ・自分は一人で考えたりして仕事をするということが出来るのかと少し不安になる[長崎/男/就職]

Ⅲ. 進路・将来に対する期待と不安

将来についての気がり

1) 将来について気がりはあるか

▶ 高校生の62.0%、保護者の63.1%が、高校生の将来について気がりなことが「ある」と回答。

▶ 時系列では、高校生・保護者共に「ある」割合が前回より減少。

» 高校生：Q15_自分の将来について、気がりなことはありますか。ひとつだけお選びください。

» 保護者：Q14_お子さんの将来について気がりなことはありますか。ひとつだけお選びください。

- 高校生に対して、自分の将来について気がりなことがあるかどうかを尋ねたところ、62.0%が「ある」と回答した。
- 性別にみると、男子(56.2%)より女子(67.2%)で「ある」割合が高い。
- 希望進路別にみると、進学希望者全体では「ある」が65.0%を占める。
- 保護者にも同様に、子どもの将来について気がりなことがあるかどうかを尋ねたところ、63.1%が「ある」と回答。時系列でみると、「ある」割合は徐々に減少している。
- 子どもの性別にみると、男子である場合のほうが「ある」割合が高い。

【高校生】 将来について気がりなことはあるか（全体／単一回答）

(%)

		ある	ない	将来について考えたことが ない	無回答
●凡例					
2025年	全体 (n= 1584)	62.0		32.3	5.7
2023年	全体 (n= 1752)	71.1		24.3	3.0
2021年	全体 (n= 1815)	69.6		24.0	5.3
【2025年属性別】					
性別	男子 (n= 735)	56.2		37.8	6.0
	女子 (n= 817)	67.2		27.3	5.5
希望進路別	進学希望者全体 (n= 1348)	65.0		29.7	5.3
	大学 (n= 1115)	67.5		27.3	5.2
	短大 (n= 33)	66.7		33.3	—
	専門学校 (n= 200)	50.5		43.0	6.5
	就職 (n= 221)	43.9		47.5	8.6

K, Q15

【保護者】 子どもの将来について気がりなことはあるか（全体／単一回答）

(%)

		ある	ない	子どもの将来についてま だ考えたことがない	無回答
●凡例					
2025年	全体 (n= 1291)	63.1		30.8	6.1
2023年	全体 (n= 1457)	67.1		26.6	4.3
2021年	全体 (n= 1529)	70.5		24.3	4.0
【2025年属性別】					
続柄別	父親 (n= 185)	68.6		27.0	4.3
	母親 (n= 1098)	62.2		31.5	6.3
子どもの性別	男子 (n= 643)	65.0		29.4	5.6
	女子 (n= 637)	61.2		32.3	6.4
希望進路別	進学希望者全体 (n= 777)	65.6		28.3	6.0
	大学 (n= 689)	65.3		27.9	6.8
	短大 (n= 13)	84.6		15.4	—
	専門学校 (n= 75)	65.3		34.7	—
	就職 (n= 94)	60.6		34.0	5.3

H, Q14

Ⅲ. 進路・将来に対する期待と不安

2) 将来について気がかりなこと

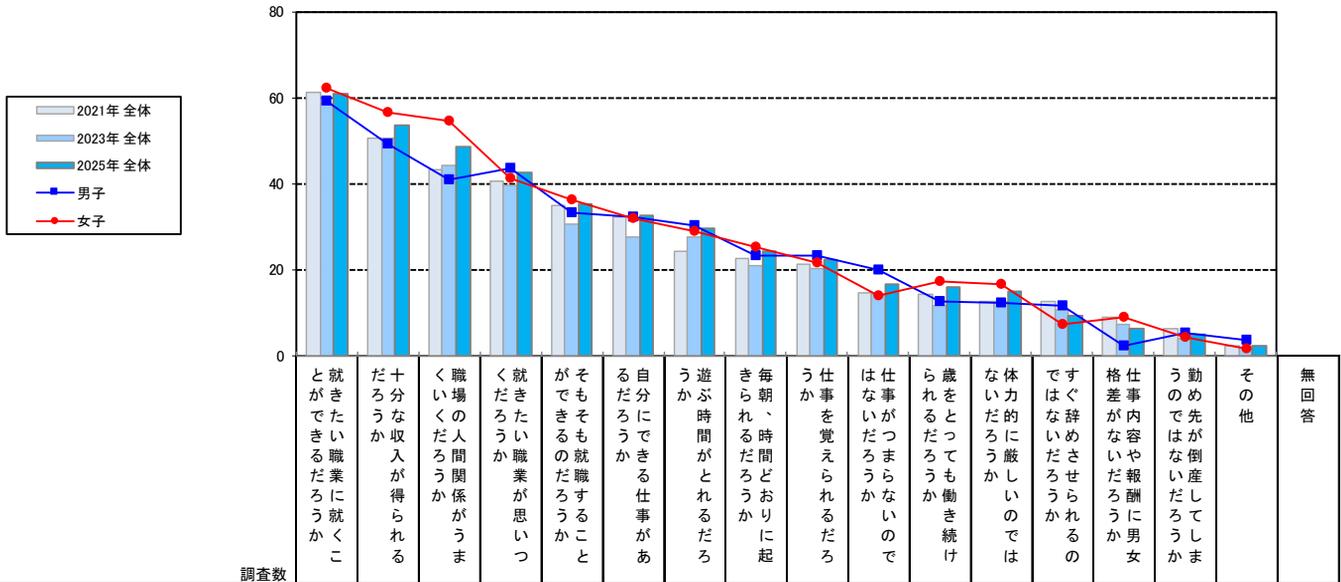
▶ 高校生自身が将来について気がかりに思っていることのトップは「就きたい職業に就くことができるだろうか」。

・高校生: Q15s1 <「1.ある」とお答えの方へ> 気がかりなこととしてあてはまるものをすべてお選びください。

- 将来について気がかりなことが「ある」と回答した高校生に対して、気がかりなこととしてあてはまることを尋ねたところ、「就きたい職業に就くことができるだろうか」(61.1%)が最も高く、以下「十分な収入が得られるだろうか」「職場の人間関係がうまくいだろうか」などが続く。
- 時系列で見ると、上位3項目の顔ぶれに変化はない。
- 性別にみると、特に上位3項目では男子よりも女子でスコアが高く、特に「職場の人間関係がうまくいだろうか」で差が大きい。

【高校生】 将来について気がかりなこと（気がかりが「ある」/複数回答）

(%)



調査数		と就きたい職業に就くことができるだろうか	十分な収入が得られるだろうか	職場の人間関係がうまくいだろうか	就きたい職業が思い通りにできるだろうか	そもそもその就くべき職業が何か	自分のできる仕事があるだろうか	遊ぶ時間がとれるだろうか	毎朝、時間どおりに起きられるだろうか	仕事を覚えられるだろうか	仕事がつまらないのではないか	歳をとっても働き続けられるだろうか	体力的に厳しいのではないか	すぐ辞めさせられるのではないか	格差がないだろうか	仕事内容や報酬に男女差があるだろうか	勤め先が倒産してしまわないだろうか	その他	無回答
2025年	全体	982	61.1	53.8	48.8	42.8	35.2	32.6	29.8	24.5	22.4	16.7	15.9	15.0	9.3	6.5	5.0	2.5	-
2023年	全体	1246	58.6	50.6	44.3	39.8	30.7	27.8	27.8	21.2	20.5	14.3	11.8	12.7	10.6	7.5	3.9	2.0	0.4
2021年	全体	1264	61.2	50.7	43.3	40.6	35.0	32.2	24.2	22.7	21.5	14.7	14.5	12.6	12.7	9.1	6.4	2.5	0.2
【2025年属性別】																			
性別	男子	413	59.3	49.4	40.9	43.8	33.4	32.4	30.3	23.5	23.5	19.9	12.8	11.6	2.4	5.3	3.6	-	-
	女子	549	62.3	56.6	54.6	41.3	36.2	31.9	29.0	25.5	21.7	14.2	17.3	7.5	9.1	4.4	1.6	-	-
希望進路別	進学希望者全体	876	61.5	54.3	47.8	42.8	35.2	31.6	30.0	24.7	20.5	16.2	15.9	14.7	8.8	6.2	5.1	2.6	-
	大学	753	63.6	53.1	46.2	45.6	34.7	31.5	30.0	24.0	18.2	17.1	14.9	13.9	8.5	6.4	5.6	2.8	-
	短大	22	59.1	77.3	72.7	36.4	50.0	63.6	54.5	36.4	50.0	9.1	27.3	27.3	22.7	4.5	4.5	-	-
	専門学校	101	46.5	58.4	54.5	23.8	35.6	25.7	24.8	26.7	31.7	10.9	20.8	17.8	7.9	5.0	2.0	2.0	-
	就職	97	56.7	46.4	55.7	41.2	33.0	39.2	26.8	22.7	37.1	20.6	14.4	14.4	12.4	8.2	4.1	2.1	-

※今回調査の「全体」の降順ソート
 ※今回調査の「全体」と比較して ■ 10pt以上高い ■ 5pt以上高い ■ 10pt以上低い

K_Q15-1

Ⅲ. 進路・将来に対する期待と不安

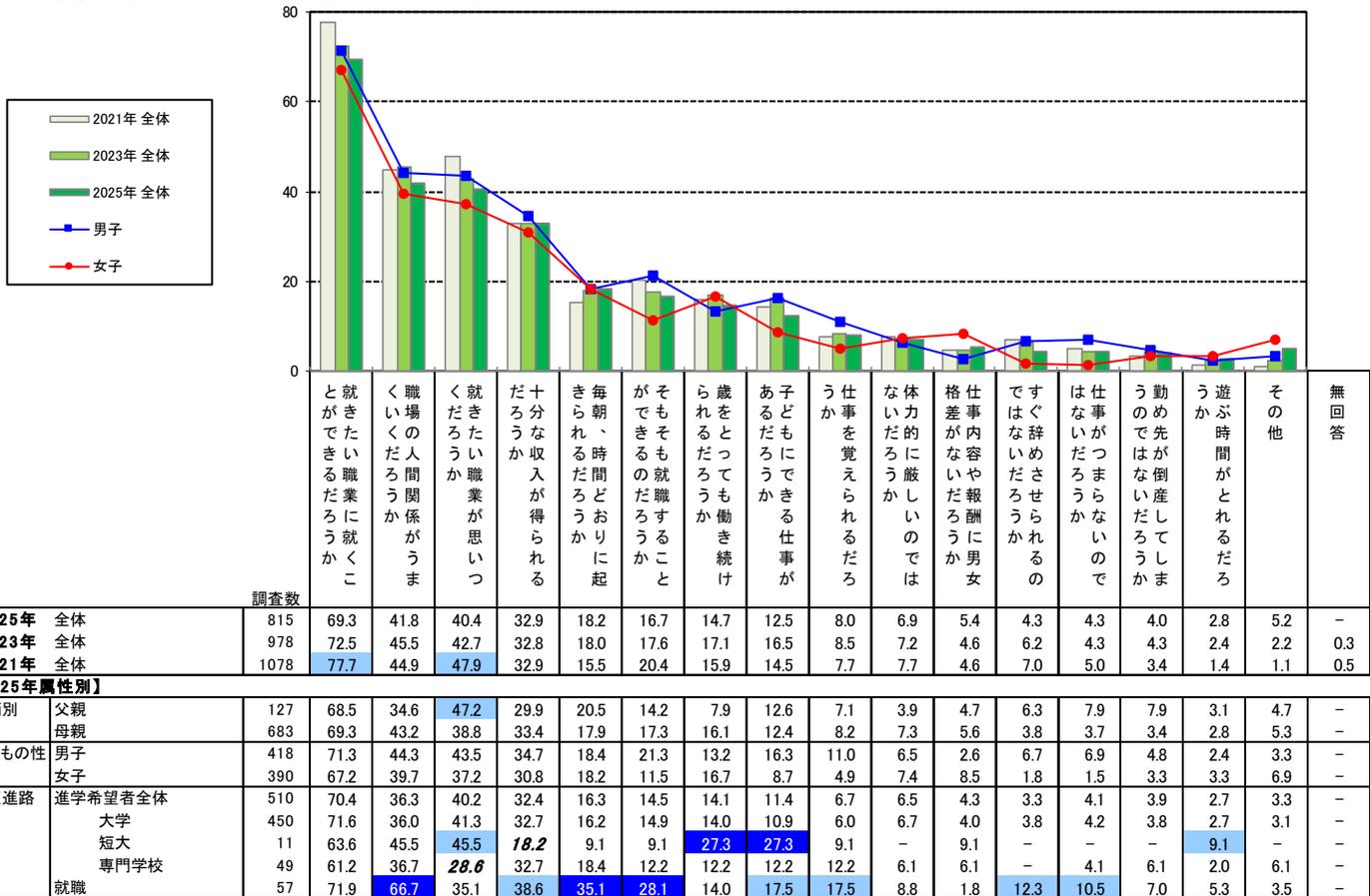
▶保護者が子どもの将来について気がかりに思っていることのトップも「就きたい職業に就くことができるだろうか」。

▶ 保護者：Q14s1 前の設問で「ある」とお答えの方へ、気がかりなこととしてあてはまるものをすべてお選びください。

- 子どもの将来について気がかりなことが「ある」と回答した保護者に対して、気がかりなこととしてあてはまることを尋ねたところ、「就きたい職業に就くことができるだろうか」(69.3%)が最も高く、以下「職場の人間関係がうまくいけだろうか」(41.8%)、「就きたい職業が思いつくだろうか」(40.4%)、「十分な収入が得られるだろうか」(32.9%)などが続く。
- トップの項目は高校生と同じだが、第1位の項目はよりスコアが高く突出している。

【保護者】子どもの将来について気がかりなこと（気がかりが「ある」/複数回答）

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して 10pt以上高い 5pt以上高い 10pt以上低い

H.Q14.1

Ⅲ. 進路・将来に対する期待と不安

将来就きたい・就いてほしい職業／その理由

1) 高校生が将来就きたい職業

▶ 高校生の55.1%が、将来就きたい職業が「ある」と回答。

▶ 就きたい職業は、「教員・教師」「公務員」が上位。

※ Q16 あなたは将来、就きたい職業がありますか。ひとつだけお選びください。

- 高校生に対して、将来就きたい職業があるかどうかを尋ねたところ、55.1%が「ある」と回答した。
- 性別にみると、男子(50.7%)より女子(59.5%)で「ある」割合が高い。
- 希望進路別にみると、進学希望者全体では57.0%が「ある」と回答しており、就職希望者(43.9%)と比較して就きたい職業がある割合が高い。
- 就きたい職業が「ある」と回答した高校生に対して、就きたい職業を具体的に尋ねたところ、全体では「教員・教師」が最も多く、「公務員」「看護師」「医師・医療系」などが上位となった。
- 教師、看護師や医師などの医療関係職、公務員などについては、安定性を評価する意見のほか、人の役に立ちたい・地域に貢献したいなどの理由があがっている。

【高校生】 将来、就きたい職業があるか (全体/単一回答)

(%)



K.Q16

就きたい職業(上位20位)	(件)
教員・教師	71
公務員	50
看護師	48
医師・医療系	42
保育士	32
薬剤師	31
システムエンジニア・プログラマー	30
建設業	29
研究職	25
美容師	23
事務職	23
ホテル業	21
理学療法士	19
食品関係	17
スポーツトレーナー	17
技術職・エンジニア	16
警察官	16
イラストレーター	15
建築士	14
動物関係	14
弁護士	14

▶ <フリーコメント:高校生>就きたい職業の理由

- 教員・教師
 - ・子供が好きだから。理科の面白さを考えさせたいから[富山/男/大学]
 - ・中学校の先生のようにになりたい。教えることが好き[滋賀/女/大学]
 - ・教員になっていい国を作りたいから[長崎/男/大学]
- 公務員
 - ・地元で地元の為に働きたいから[岩手/男/就職]
 - ・給料が安定しているし、もし育休や産休に入ることになってもしっかりと戻ることができるから[長崎/女/大学]
- 看護師
 - ・命を救う最前線である医療に携わりたいと思ったから[岩手/女/大学]
 - ・看護師と保健師は母親が看護師で小さいころからずっと母の姿を見てきて、興味を持ったから[長崎/女/大学]
- 医師・医療系
 - ・今まで人生で色々な病院にお世話になってきて、私もその医師の方々のように色々な病気などを治すことで人を助けたいと思ったし、岩手県にいる医師の数が少ないことを知り、医師になってみたい改めて思ったから。[岩手/女/大学]
 - ・地域医療に貢献したいから。[富山/女/大学]
 - ・直接、誰かの役に立つことができるから[長崎/女/大学]
- 保育士
 - ・インターンシップを経験して目指すきっかけになったから[北海道/女/大学]
 - ・小さい頃からの憧れの人が保育士だったから[岩手/女/専門学校]
 - ・小さい頃からずっともっている夢だから[東京/女/大学]

Ⅲ. 進路・将来に対する期待と不安

2) 保護者が子どもに将来就いてほしい職業

▶ 保護者の79.0%が、「子どもが希望する職業なら何でもよい」。

－保護者：Q15_将来お子さんに就いてほしいと考える職業はありますか。ひとつだけお選びください。

- 保護者に対して、将来就いてほしい職業があるかどうかを尋ねたところ、「子どもが希望する職業なら何でもよい」が79.0%。一方、12.3%が「ある」と回答した。
- 就いてほしい職業が「ある」と回答した保護者に対して、就いてほしい職業を具体的に尋ねたところ、「公務員」が最も多い。以下「資格が必要な職業」「医療職」「教員」などが上位。そのほか、「薬剤師」「医師」「看護師・助産師」など、医療関係の職業をあげる意見が多い。
- 「公務員」に就いてほしい理由としては「安定している」ことや、やりがい、社会貢献などを理由にあげる保護者が多い。「資格が必要な職業」や「医療職」は、資格そのものが子どもにとって強みになるし、社会的にも必要とされる職業であることから、結果的に安定に繋がるとする意見が多くみられる。また医療職については、「子どもが希望しているから」という意見も散見され、子どもの意思を尊重する気持ちが表れた意見でもある。

【保護者】 将来、子どもに就いてほしい職業はあるか（全体/単一回答）

(%)

		ある	子どもが希望する職業なら何でもよい	今まで考えたことがない	特にない	無回答
●凡例						
2025年 全体	(n= 1291)	12.3	79.0	1.5	7.2	—
2023年 全体	(n= 1457)	12.5	78.4	1.5	5.9	1.6
2021年 全体	(n= 1529)	14.2	76.7	1.4	6.5	1.1
【2025年属性別】						
続柄別	父親	(n= 185)	14.1	78.4	0.5	7.0
	母親	(n= 1098)	12.1	79.1	1.6	7.1
子どもの性別	男子	(n= 643)	12.1	76.8	2.0	9.0
	女子	(n= 637)	12.6	81.3	0.9	5.2
希望進路別	進学希望者全体	(n= 777)	14.5	76.4	1.5	7.5
	大学	(n= 689)	13.9	76.3	1.6	8.1
	短大	(n= 13)	30.8	61.5	—	7.7
	専門学校	(n= 75)	17.3	80.0	1.3	1.3
	就職	(n= 94)	20.2	72.3	—	7.4
進路について話す頻度別	話す・計	(n= 1172)	12.7	79.8	1.3	6.2
	話さない・計	(n= 119)	8.4	71.4	3.4	16.8

H.Q15

就いてほしい職業(上位10位)	(件)
公務員	29
資格が必要な職業	23
医療職	12
教員	9
薬剤師	8
医師	7
看護師・助産師	6
消防士	5
建築関係	5
会社員	5
働きやすい企業	5

▶ <フリーコメント:保護者> 就いてほしい職業の理由

●公務員

- ・福利厚生 将来の安定、収入[北海道/母親/女/大学]
- ・趣味ややりたい事をする時間が確保しやすい[東京/母親/女/大学]
- ・雇用が安定しており比較的公平な職場でやりがいも感じやすいと思うから[富山/父親/女/大学]
- ・主に公共の分野で社会課題に対応できる人材になってほしいから[香川/父親/男/大学]
- ・安定とやりがいがあると思うから[長崎/母親/男/大学]

●資格が必要な職業

- ・自信を持ってその業務に携われるから。専門性が高いとやりがいも感じられる[北海道/母親/女/大学]
- ・産業のように景気に左右されず、一定の収入が見込めるから[岩手/母親/女/大学]
- ・国家資格はアドバンテージ[岩手/父親/女/就職]
- ・資格が必要とされる職業は社会的にも求められる職業が多く、やりがいがあると思われるから[滋賀/母親/女/専門職大学]

●医療職

- ・本人の興味のある分野であるため[東京/母親/女/大学]
- ・子供に合っていると思うし、これから社会人として生活するには、人との繋がりが大切だと思うから[静岡/母親/男/子の希望なら何でも]
- ・自分がそうだから[滋賀/母親/男/専門学校]
- ・資格職だから[香川/母親/女/大学]

Ⅲ. 進路・将来に対する期待と不安

就業エリアに関する希望

- ▶ 高校生の32.7%が「地元ではない都市部で働きたい」。
- ▶ 時系列では「地元である都市部で働きたい」「地元である地方で働きたい」が増加。
 ※ 高校生：Q16s2.あなたは将来、どこで働きたいですか。ひとつだけお選びください。

- 高校生に対して就業エリアの希望を尋ねたところ、「地元ではない都市部で働きたい」(32.7%)が最も多くを占めた。次いで「地元である都市部で働きたい」が22.9%。
- 性別でも大きい差はみられない。
- 希望の就業エリアの選択理由をフリーコメントで尋ねたところ、地元・地元以外にかかわらず“都市部”を希望する高校生では、交通などの利便性のほか、人間関係や職業に就いて多くの経験を積めることをあげる意見が多くみられる。一方、“地方”を希望する高校生では、のんびり過ごせそうな雰囲気を好む高校生が多い傾向があるが、“地元への貢献”を目指す意見が散見された。また、海外を希望した高校生では、「見聞を広げたい」と考えている人が多い。

【高校生】希望の就業エリア（全体／単一回答）

(%)

		地元である都市部で働きたい	地元である地方で働きたい	地元ではない都市部で働きたい	地元ではない地方で働きたい	海外で働きたい	その他	無回答
● 凡例								
2025年	全体 (n= 1584)	22.9	21.7	32.7	7.5	4.1	11.2	
2023年	全体 (n= 1752)	19.3	19.3	36.6	7.1	4.5	10.0	3.1
【2025年属性別】								
性別	男子 (n= 735)	23.9	19.2	34.4	8.4	3.4	10.6	
	女子 (n= 817)	22.3	24.1	31.5	6.6	4.7	10.9	
希望進路別	進学希望者全体 (n= 1348)	22.6	20.5	34.6	6.6	4.5	11.1	
	大学 (n= 1115)	22.3	18.7	36.1	6.5	4.9	11.5	
	短大 (n= 33)	21.2	45.5	18.2	6.1	3.0	6.1	
	専門学校 (n= 200)	24.0	27.0	29.5	7.0	2.5	10.0	
	就職 (n= 221)	24.9	29.4	21.7	13.6	10.4		
進路選択の意識別	考えている・計 (n= 1297)	22.8	21.8	33.4	7.2	4.3	10.5	
	考えていない・計 (n= 287)	23.0	20.9	29.6	9.1	3.1	14.3	

K.Q16s2

	都市部	地方
地元	<ul style="list-style-type: none"> ・馴染みのない田舎に行く理由がないから[東京/男/大学] ・都市部の便利さを知ってるから駅から近いかアクセスがいいとかが重要視されそう[東京/女/大学] ・東京のような人混みは苦手だし、地元が好きだから暮らしやすい地元の都市部で働きたい[岩手/男/大学] ・転職がしやすいそう[滋賀/男/大学] ・都会すぎても田舎すぎてもあわないから[富山/男/大学] 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元が好きなのと、やっぱり自分の生まれたところのほうが住み慣れといるといざとなったら助けてくれる人が近くにいると安心だから[静岡/女/就職] ・地方では高齢化してきているため、自分もそのような人を支える一員になりたいから。助けを必要としている人を支えたいから[富山/女/大学] ・地元に貢献したいから[長崎/女/大学]
地元以外	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な経験を積むことができるのとある程度お金を稼げると思うから[岩手/男/大学] ・都市部の方がたくさんの人と関わっていけるだろうから[神奈川/女/大学] ・都市に出てもっと広いコミュニティを知ったり、頼れる人がいないなか自分1人で生活したりする経験を積んでおきたいから[滋賀/女/大学] ・実家暮らししたくない。都市部のほうが便利[香川/女/大学] 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市のごみごみしたところが嫌いだから長閑な場所でのびのびと過ごしたいから[東京/女/大学] ・地元から離れたところで自立したいから[東京/男/大学] 他の土地にどんな特産品があって、どんな調理方法があるのかきになるから[静岡/男/専門学校] ・都会はストレスが溜まるが、地元も見慣れすぎて嫌だから[富山/女/大学] ・ゆっくりのんびり仕事したい[静岡/男/短大]
海外	<ul style="list-style-type: none"> ・正直どこでもやることは変わらないしどこでもいい。海外は将来行きたいから選んだ[東京/男/大学] ・色々な世界を知ってみたいから[静岡/他/海外の大学など] ・人生一回なんてたくさん景色を頭に焼き付けたいから[長崎/女/大学] 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・働けるのだったらどこでも良いから[北海道/男/大学] ・都市部や田舎などのこだわりはないけど自分が働きたいと思ったところで働きたいから[東京/男/大学] ・地元であろうとそうでなかろうとどんな場所にもそれぞれの魅力があって、働くという形でそれに触れることはどんなことであらうとずっと楽しめるだろうから[滋賀/女/大学] 	

IV. 将来展望

これからの社会の好ましさ

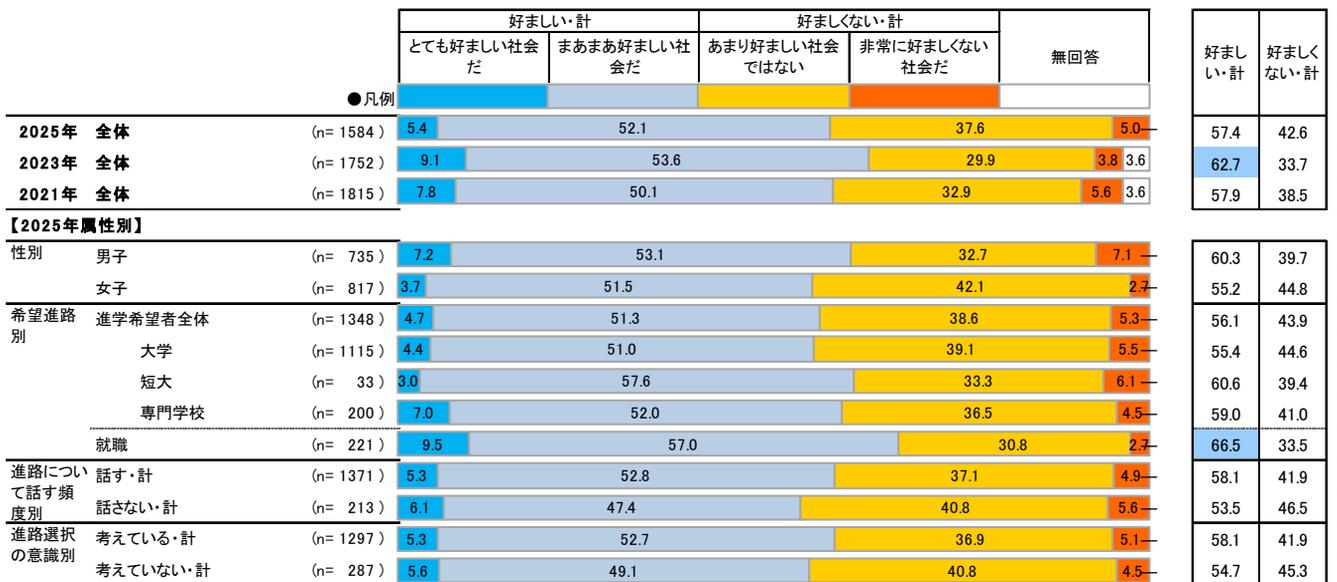
▶ 高校生の57.4%、保護者の44.7%が、これからの社会は高校生にとって「好ましい」と回答。

- ▶ 高校生: Q17_これからの社会はあなたにとって好ましい社会だと思いますか。ひとつだけお選びください。
- ▶ 保護者: Q18_これからの社会は、あなたのお子さんにとって好ましい社会だと思いますか。ひとつだけお選びください。

- 高校生に対し、これからの社会が自分にとって好ましい社会だと思うかを尋ねたところ、「とても好ましい社会だ」が5.4%、「まあまあ好ましい社会だ」が52.1%を占め、合計では57.4%が好ましいと回答した。
- 時系列でみると、「とても好ましい社会だ」が前回より約4ポイント減少。
- 保護者では、「好ましい・計」が44.7%と高校生よりも低い。時系列では、「とても好ましい社会だ」「まあまあ好ましい社会だ」のいずれも減少した。
- そう考える理由をフリーコメントで尋ねたところ(次ページ)、高校生・保護者とも、“好ましい”と回答した人では将来に関して、AI技術の進展によって人手不足などの課題が解決される可能性や、多様性を受容する社会になりつつあることを理由とする意見が比較的多い。
- 一方、“好ましくない”と考える人では、政治の不安定さや物価の上昇による先行きの不安感を理由とする意見が比較的多くみられる。

【高校生】 これからの社会は高校生にとって好ましいか (全体/単一回答)

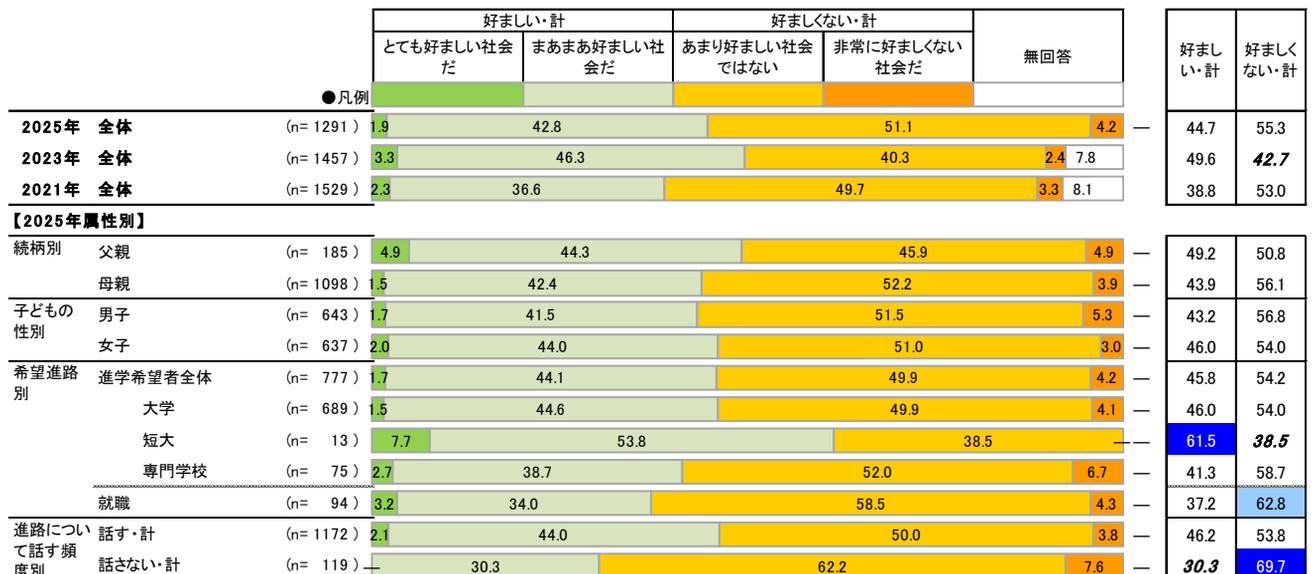
(%)



※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い K_Q17

【保護者】 子どもにとって、これからの社会は好ましいか (全体/単一回答)

(%)



※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い H_Q18

IV. 将来展望

社会人基礎力:将来必要とされる能力と現在持っていると思う能力

▶ 高校生が考える“将来必要とされる能力”は、「主体性」「実行力」「課題発見力」。

▶ “現在持っていると思う能力”は、「傾聴力」「主体性」「規律性」。

▶ 将来必要とされるが現在の自分に特に不足している能力は、「主体性」「実行力」。

▶ 高校生:Q18s1 社会で働くにあたって必要とされる能力を、「社会人基礎力」として経済産業省が定義しています。あなたが将来社会で働くにあたり「特に必要とされる能力」はどのようなものだと思いますか。あてはまるものを3つまでお選びください。

▶ 高校生:Q18s2 「自分が現在持っている」と思う能力について3つまで選んでください。

- 経済産業省で定義されている『社会人基礎力』(12の能力要素)のうち、<将来社会で働くにあたり、特に必要とされる能力>と<現在持っている能力>を、それぞれ3つまで高校生に選んでもらった。
- 高校生が考える<将来必要とされる能力>は、「主体性:物事に進んで取り組む力」(54.0%)がトップ。以下、「実行力:目的を設定し確実に行動する力」(37.3%)、「課題発見力:現状を分析し、目的や課題を明らかにする力」(27.1%)、「創造力:新しい価値を生み出す力」(23.7%)、「発信力:自分の意見をわかりやすく伝える力」(22.2%)が続く。
- 高校生が<現在持っていると思う能力>は、「傾聴力:相手の意見を丁寧に聞く力」(40.5%)がトップ。以下、「主体性:物事に進んで取り組む力」(29.7%)、「規律性:社会のルールや人との約束を守る力」(29.2%)、「柔軟性:意見や立場の違いを理解する力」(25.3%)、「状況把握力:自分と周囲の人々や物事との関係を理解する力」(18.9%)が続く。
- 高校生が、将来必要とされるが現在の自分に不足している能力は何だと考えているか、<将来必要とされる能力 - 現在持っている能力>のギャップをみると、「主体性:物事に進んで取り組む力」で最も差が大きく(必要-現在持っているスコアの差が24.3ポイント)、次いで「実行力:目的を設定し確実に行動する力」(20.4ポイント差)で差が大きい。

▶ 保護者が考える、子どもに将来必要な能力は、「主体性」「実行力」「発信力」。

▶ 子どもが現在持っている能力は、「規律性」「主体性」「実行力」。

▶ 将来必要とされるが現在の子どもに不足している能力は、「主体性」「発信力」「ストレスコントロール力」。

▶ 保護者:Q16s1 社会で働くにあたって必要とされる能力を、「社会人基礎力」として経済産業省が定義しています。お子さんが将来社会で働くにあたり、「特に必要とされる能力」はどのようなものだと思いますか。あてはまるものを3つまでお選びください。

▶ 保護者:Q16s2 また、「お子さんが現在持っている」と思う能力について3つまで選んでください。

- 保護者からも、<将来、社会で働くにあたり特に必要とされる能力>と<子どもが現在持っていると思う能力>をそれぞれ3つまで選んでもらった。
- 保護者が考える<将来必要とされる能力>は、「主体性:物事に進んで取り組む力」(54.0%)がトップ。以下、「実行力:目的を設定し確実に行動する力」(37.2%)、「発信力:自分の意見をわかりやすく伝える力」(26.1%)、「柔軟性:意見や立場の違いを理解する力」(23.8%)、「ストレスコントロール力:ストレスの発生源に対応する力」(23.0%)が続き、チームワークで働く力の各項目の順位が高いことがわかる。
- 保護者からみて子どもが<現在持っていると思う能力>は、「規律性:社会のルールや人との約束を守る力」(48.9%)がトップ。以下、「主体性:物事に進んで取り組む力」(37.9%)、「実行力:目的を設定し確実に行動する力」(30.4%)、「傾聴力:相手の意見を丁寧に聞く力」(26.8%)、「状況把握力:自分と周囲の人々や物事との関係を理解する力」(22.5%)が続く。
- 保護者が、子どもにとって将来必要とされるが現状では不足していると考えている能力について、<将来必要とされる能力 - 現在持っている能力>のギャップをみると、「主体性:物事に進んで取り組む力」(必要-現在持っているスコアの差が16.1ポイント)で最も差が大きく、「発信力:自分の意見をわかりやすく伝える力」(15.3ポイント差)、「ストレスコントロール力:ストレスの発生源に対応する力」(13.9ポイント差)が続く。

- それぞれデータは次ページ

IV. 将来展望

【高校生】 現在持っている能力と将来必要とされる能力(全体/それぞれ3つまでの複数回答)

(n=1,584)			①将来社会で働くに当たり、特に必要とされる能力	②現在持っていると思う能力	①必要とされる能力ー②現在持っている能力のギャップ
前に踏み出す力 (アクション)	主体性	物事に進んで取り組む力	54.0 1位	29.7 2位	24.3
	実行力	目的を設定し確実に行動する力	37.3 2位	16.9 6位	20.4
	働きかけ力	他人に働きかけ巻き込む力	13.7 11位	14.8 8位	-1.1
考え抜く力 (シンキング)	課題発見力	現状を分析し、目的や課題を明らかにする力	27.1 3位	15.0 7位	12.1
	創造力	新しい価値を生み出す力	23.7 4位	9.9 12位	13.8
	計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備する力	17.4 7位	10.7 9位	6.7
チームで働く力 (チームワーク)	発信力	自分の意見をわかりやすく伝える力	22.2 5位	10.2 11位	12.0
	柔軟性	意見や立場の違いを理解する力	17.9 6位	25.3 4位	-7.4
	規律性	社会のルールや人との約束を守る力	17.4 7位	29.2 3位	-11.8
	状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力	15.9 9位	18.9 5位	-3.0
	傾聴力	相手の意見を丁寧に聞く力	14.3 10位	40.5 1位	-26.2
	ストレスコントロール力	ストレスの発生源に対応する力	13.0 12位	10.7 9位	2.3
ひとつもあてはまるものはない			0.9	7.1	
無回答			-	-	

※カテゴリーごとに「①生徒が将来社会で働くに当たり、特に必要とされる能力」の降順ソート ※■第1位の項目 ■第2~5位の項目

②の方が高いー①の方が高い

K,Q18.0比較2025

【保護者】 現在持っている能力と将来必要とされる能力(全体/それぞれ3つまでの複数回答)

(n=1,291)			①将来社会で働くに当たり、特に必要とされる能力	②現在持っていると思う能力	①必要とされる能力ー②現在持っている能力のギャップ
前に踏み出す力 (アクション)	主体性	物事に進んで取り組む力	54.0 1位	37.9 2位	16.1
	実行力	目的を設定し確実に行動する力	37.2 2位	30.4 3位	6.8
	働きかけ力	他人に働きかけ巻き込む力	9.5 12位	11.9 8位	-2.4
考え抜く力 (シンキング)	課題発見力	現状を分析し、目的や課題を明らかにする力	21.0 6位	14.6 7位	6.4
	計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備する力	16.6 10位	9.4 10位	7.2
	創造力	新しい価値を生み出す力	11.7 11位	4.9 12位	6.8
チームで働く力 (チームワーク)	発信力	自分の意見をわかりやすく伝える力	26.1 3位	10.8 9位	15.3
	柔軟性	意見や立場の違いを理解する力	23.8 4位	20.1 6位	3.7
	ストレスコントロール力	ストレスの発生源に対応する力	23.0 5位	9.1 11位	13.9
	規律性	社会のルールや人との約束を守る力	20.4 7位	48.9 1位	-28.5
	傾聴力	相手の意見を丁寧に聞く力	20.0 8位	26.8 4位	-6.8
	状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力	19.4 9位	22.5 5位	-3.1
ひとつもあてはまるものはない			0.5	3.6	
無回答			-	-	

※カテゴリーごとに「①生徒が将来社会で働くに当たり、特に必要とされる能力」の降順ソート ※■第1位の項目 ■第2~5位の項目

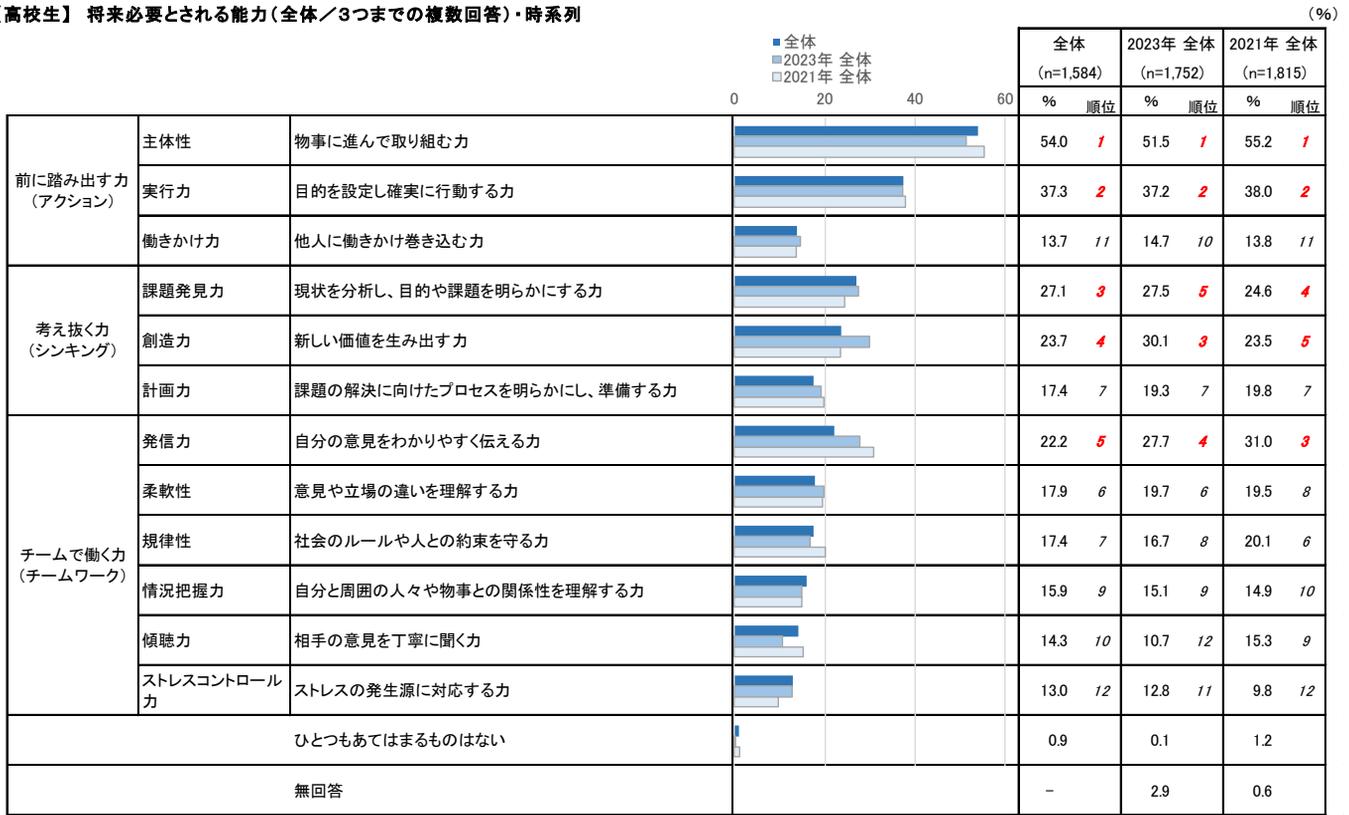
②の方が高いー①の方が高い

H,Q16.0比較2025

IV. 将来展望

- 高校生:Q18s1 社会で働くにあたって必要とされる能力を、「社会人基礎力」として経済産業省が定義しています。あなたが将来社会で働くにあたり「特に必要とされる能力」はどのようなものだと思いますか。あてはまるものを3つまでお選びください。
- 高校生:Q18s2「自分が現在持っている」と思う能力について3つまでお選びください。

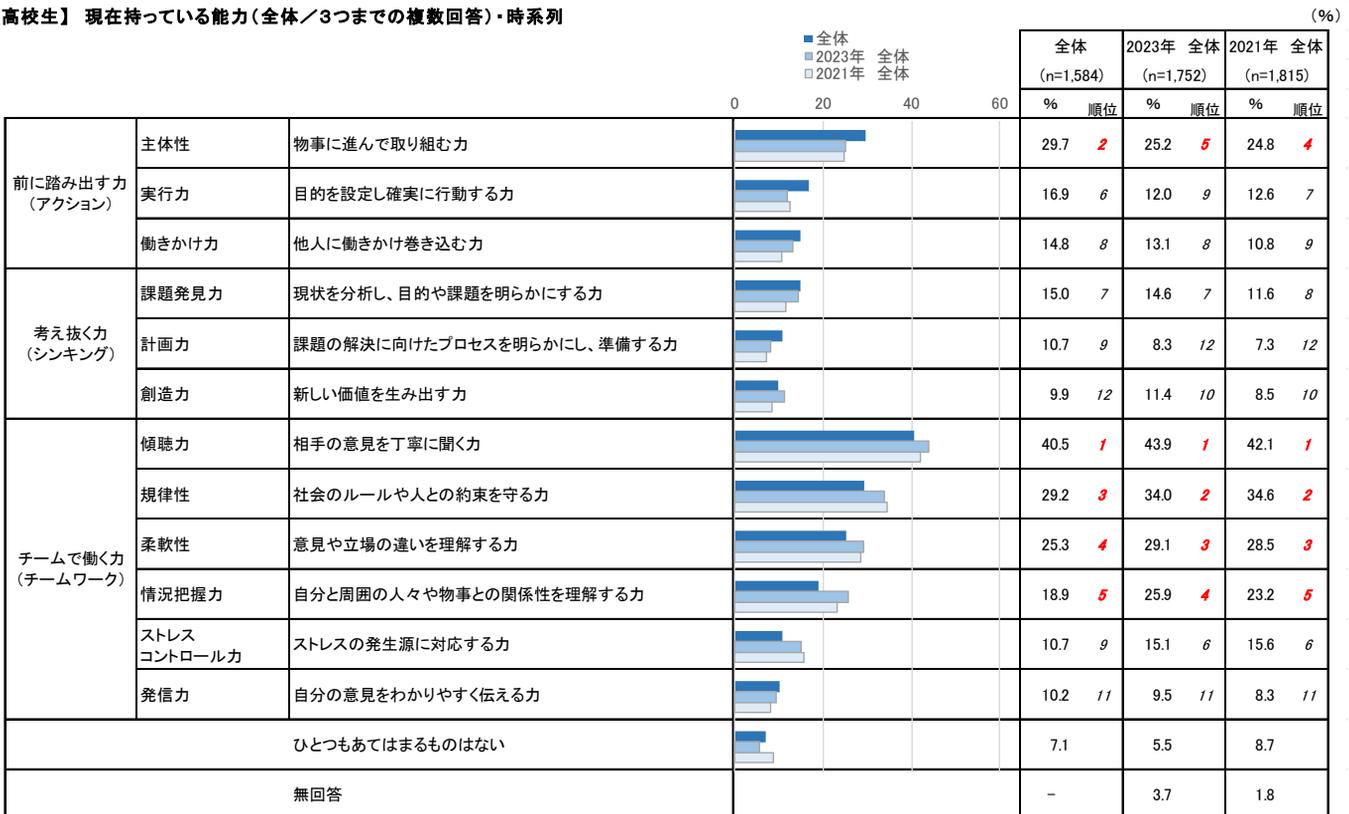
【高校生】 将来必要とされる能力(全体/3つまでの複数回答)・時系列



※カテゴリーごとに全体値の降順ソート

K.Q18-1時系列

【高校生】 現在持っている能力(全体/3つまでの複数回答)・時系列



※カテゴリーごとに全体値の降順ソート

K.Q18-2時系列

IV. 将来展望

- 保護者: Q16s1 社会で働くにあたって必要とされる能力を、「社会人基礎力」として経済産業省が定義しています。お子さんが将来社会で働くにあたり、「特に必要とされる能力」はどのようなものだと思いますか。あてはまるものを3つまでお選びください。
- 保護者: Q16s2 また、「お子さんが現在持っている」と思う能力について3つまでお選びください。

【保護者】 将来必要とされる能力(全体/3つまでの複数回答)・時系列

(%)



※カテゴリーごとに全体値の降順ソート

H.Q16.1時系列

【保護者】 現在持っている能力(全体/3つまでの複数回答)・時系列

(%)



※カテゴリーごとに全体値の降順ソート

H.Q16.2時系列

IV. 将来展望

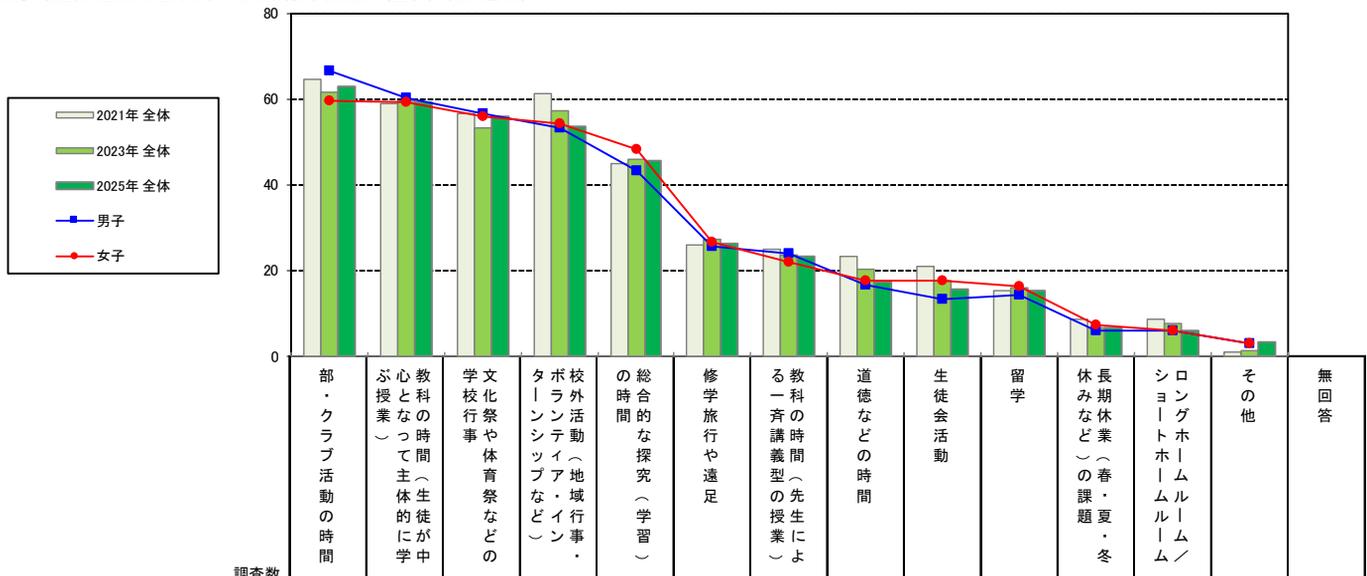
社会人基礎力:必要な能力を身につけるために有効な活動

▶保護者の考える“社会人基礎力を身につけるために有効な活動”は、「部・クラブ活動の時間」「教科の時間」が6割前後で並ぶ。

▶保護者:Q17_社会人基礎力を身につけるために、以下の活動全般の中で有効だと思うものすべてをお選びください。

- 保護者に対して、社会人基礎力を身につけるために有効だと思う活動を尋ねたところ、「部・クラブ活動の時間」(62.9%)が最も高く、次いで「教科の時間(生徒が中心となって主体的に学ぶ授業)」(59.4%)、「文化祭や体育祭などの学校行事」(56.1%)、「校外活動(地域行事・ボランティア・インターンシップなど)」(53.5%)などが50%を超える。
- 時系列でみると、「校外活動(地域行事・ボランティア・インターンシップなど)」は漸減傾向。

【保護者】社会人基礎力を身につけるのに有効な活動(全体/複数回答) (2021年全体, 2023年全体, 2025年全体, 男子, 女子) (%)



調査数		2025年 全体	2023年 全体	2021年 全体	部・クラブ活動の時間	教科の時間(生徒が中心となって主体的に学ぶ授業)	文化祭や体育祭などの学校行事	校外活動(地域行事・ボランティア・インターンシップなど)	総合的な探究(学習)の時間	修学旅行や遠足	教科の時間(先生による一斉講義型)	道德などの時間	生徒会活動	留学	長期休業(春・夏・冬)の課題	シヨングトホームルーム/その他	その他	無回答	
2025年	全体	1291	62.9	59.4	56.1	53.5	45.6	26.2	23.2	17.2	15.6	15.3	6.8	6.0	3.3	-	-	-	
2023年	全体	1457	61.7	59.6	53.2	57.4	45.9	27.2	23.6	20.5	17.6	16.1	6.8	7.8	1.5	3.1	-	-	
2021年	全体	1529	64.7	59.1	56.6	61.3	44.9	26.0	25.0	23.2	20.9	15.2	8.6	8.6	1.0	2.4	-	-	
【2025年属性別】																			
続柄別	父親	185	62.7	57.3	50.8	45.4	43.2	25.9	28.1	16.2	15.7	10.8	8.6	7.0	2.7	-	-	-	
	母親	1098	62.9	59.8	57.1	54.7	46.1	26.2	22.4	17.4	15.7	16.2	6.5	5.8	3.3	-	-	-	
子どもの性別	男子	643	66.7	60.2	56.8	53.2	43.4	25.8	24.1	16.8	13.4	14.5	6.2	6.1	3.1	-	-	-	
	女子	637	59.5	59.2	55.9	54.2	48.2	26.8	22.0	17.7	17.7	16.3	7.5	6.1	3.0	-	-	-	
希望進路別	進学希望者全体	777	64.5	60.9	55.0	48.9	46.7	24.7	22.9	14.3	15.2	17.9	6.4	6.0	2.7	-	-	-	
	大学	689	66.3	63.3	57.2	47.5	48.5	25.8	22.6	14.1	16.0	19.6	6.1	6.2	2.6	-	-	-	
	短大	13	53.8	30.8	38.5	69.2	46.2	15.4	38.5	23.1	7.7	-	15.4	7.7	-	-	-	-	
	専門学校	75	49.3	44.0	37.3	58.7	30.7	16.0	22.7	14.7	9.3	5.3	8.0	4.0	4.0	-	-	-	
	就職	94	63.8	55.3	57.4	69.1	46.8	33.0	30.9	26.6	16.0	10.6	11.7	5.3	3.2	-	-	-	

※今回調査の「全体」の降順ソート
 ※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

V. 高校生の学習や将来に対するAIの影響

AIやAI技術を利用したサービスの利用状況と利用場面

▶ 高校生のうち、合計76.3%がAIやAI技術を用いたサービスを利用。

▶ 利用場面としては、「調査」「学習・宿題の補助」が70%前後。

▶ 高校生：Q21 AIやAI技術が使われたサービスを利用しますか。ひとつだけお選びください。

▶ 高校生：Q21s1 どのような場面で利用しますか。あてはまるものをすべて選んでください

- 高校生に対して、AIやAI技術が使われたサービスを利用することがあるかどうかを尋ねたところ、「よく利用する」が34.2%を占め、「時々利用する」まで含めると合計76.3%が利用すると回答した。
- 性別にみると、男子より女子の利用率が高い。
- また、サービスを利用すると回答した高校生に、どんな場面で利用するかを尋ねたところ、「調査(わからないことを調べる、情報収集など)」(71.1%)、「学習・宿題の補助(レポート作成、英作文や小論文の添削、数学の問題解説など)」(67.3%)が突出して高い。

【高校生】 AIやAI技術を利用したサービスの利用状況 (全体/単一回答)

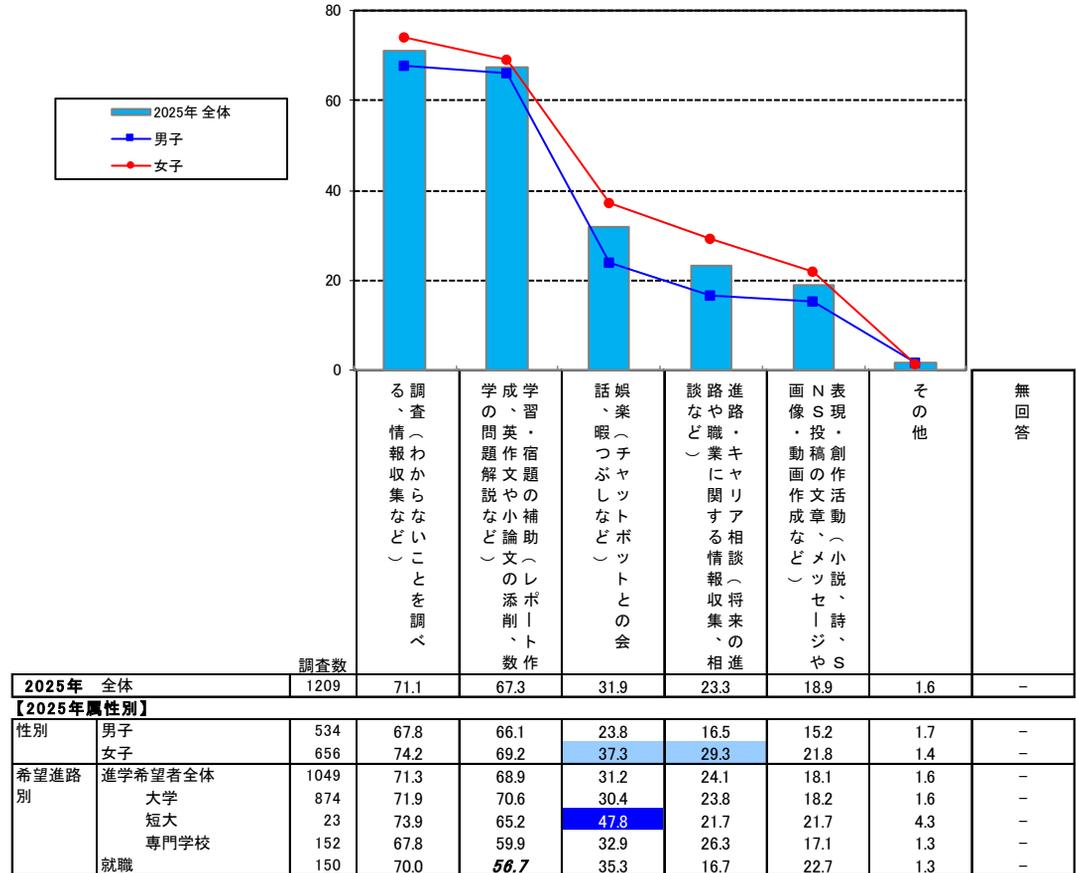
(%)

	利用する・計	利用しない・計			無回答	利用する・計	利用しない・計		
		よく利用する	時々利用する	どちらともいえない・わからない				あまり利用しない	利用しない
● 凡例									
2025年 全体 (n= 1584)	34.2			42.2	12.0	7.8	3.9	76.3	11.7
【2025年属性別】									
性別 男子 (n= 735)	29.8			42.9	12.5	9.4	5.4	72.7	14.8
性別 女子 (n= 817)	38.4			41.9	11.4	5.9	2.4	80.3	8.3
希望進路別 進学希望者全体 (n= 1348)	34.7			43.1	10.6	7.9	3.7	77.8	11.6
希望進路別 大学 (n= 1115)	34.5			43.9	9.6	8.3	3.7	78.4	12.0
希望進路別 短大 (n= 33)	27.3			42.4	18.2	9.1	3.0	69.7	12.1
希望進路別 専門学校 (n= 200)	37.0			39.0	15.0	5.0	4.0	76.0	9.0
希望進路別 就職 (n= 221)	29.9			38.0	19.9	7.2	5.0	67.9	12.2

※今回調査の「全体」より 10pt以上高い 5pt以上高い 10pt以上低い K.Q21

【高校生】 AIやAI技術を利用したサービスの利用場面 (サービス利用者/複数回答)

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して 10pt以上高い 5pt以上高い 10pt以上低い

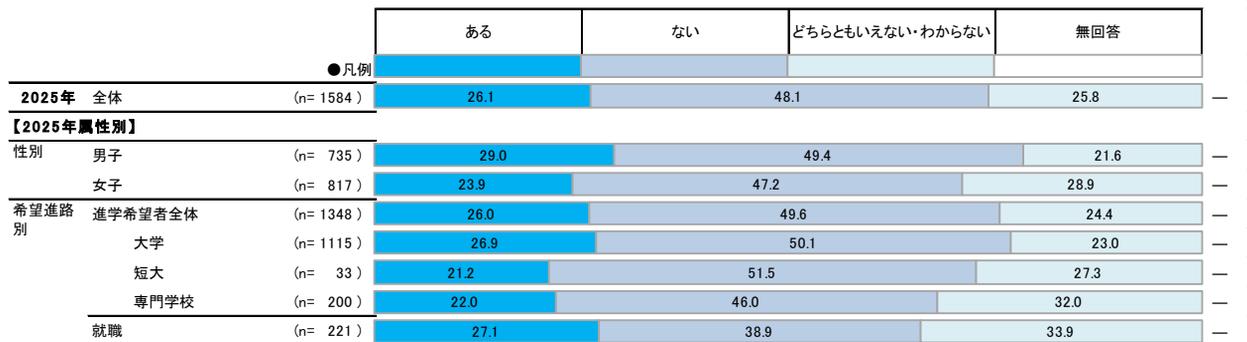
K.Q21-1

V. 高校生の学習や将来に対するAIの影響

AIなど最新のテクノロジー活用に対する「高校」の役割

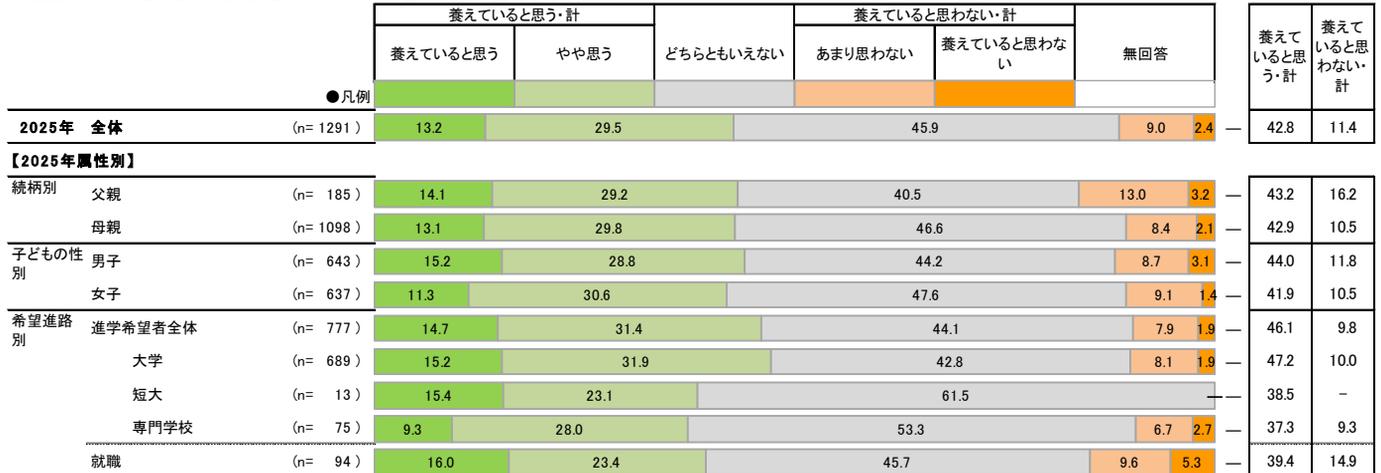
- ▶ 高校生の26.1%が最新のテクノロジーの活用方法について学校で学ぶ機会が「ある」と回答。
- ▶ 保護者の合計42.8%が、学校においてAIでは代替されにくい「豊かな人間性」や「問いを立てる力」(課題発見・設定能力)を養えていると回答。
 - » 高校生：Q25.生成AIなどの最新のテクノロジーの活用方法について、学校で学ぶ機会がありますか。ひとつだけお選びください。
 - » 保護者：Q20 お子さんが、AIでは代替されにくい「豊かな人間性」や「問いを立てる力」(課題発見・設定能力)を学校で養えていると思いますか。ひとつだけお選びください。
- 高校生に対して、最新のテクノロジーの活用方法について学校で学ぶ機会があるかどうかを尋ねたところ、26.1%が「ある」と回答した。
- 性別にみると、男子では「ある」割合がやや高く、女子では「どちらともいえない・わからない」割合がやや高い。実際のサービスの利用率は女子の方が高いことから、学校で学ぶ機会の有無とは無関係にサービスを利用している高校生も多いことがうかがえる。
- また、保護者に対して、AIでは代替されにくい「豊かな人間性」や「問いを立てる力」(課題発見・設定能力)を学校で養えていると思うかを尋ねたところ、「養えていると思う」が13.2%、「やや思う」まで含めると42.8%を占めた。
- 「養えていると思う」「やや思う」と回答した理由のフリーコメント(次ページ)を見ると、学校における友人や先生などとの“人との関係”を通じた学びを、AIでは対応できない学びとしてあげる意見が多い。また、探究活動、学内行事、部活動、授業のカリキュラムなどを通して、課題の発見力や解決力、じっくり考える力が養われたとする意見も多く見られた。

【高校生】最新のテクノロジーの活用方法について学校で学ぶ機会の有無(全体/単一回答)



K.Q25

【保護者】学校における「AIで代替されにくい能力」の養成有無(全体/単一回答)



※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い H.Q20

V. 高校生の学習や将来に対するAIの影響

▶「フリーコメント:保護者」学校における「AIで代替されにくい能力」の養成に関する意見の理由

▶「養えていると思う」「やや思う」と回答した理由

- 人間との直接的なかわり、人間関係の難しさやそのなかでの成長がみられるから
 - ・学校という場は勉強だけではなく、先生や友人たちとの交わりがとても大切なところだと思う。自分たちが勉強できるように支えてくれている人たちが周りにいることを知る場でもある[北海道/母親/男/子の希望なら何でも]
 - ・人との関わりは生身の人と直接関わることで身につくものだから[岩手/母親/女/子の希望なら何でも]
 - ・学校生活で人間関係や協調性等、人と人とでしか解決できない問題を解決できるから[岩手/母親/女/大学]
 - ・人間相手でないと感じられない表情や雰囲気、協力し合う心を人間同士肌で感じる[東京/母親/男/大学]
 - ・子どもと話をしていると、学校生活の中で私の思いもよらないことまで考えているんだなと時々ハッとさせられることがあります。一見なんでもないような学校での日常体験の中で、AIには代替されにくい力が養われていると思います[富山/母親/女/大学]
 - ・人と人とのコミュニケーションの場合は、今の子供にとって学校がメインなので[香川/母親/女/大学]
 - ・人との関わり、友達とのふれあい、友達との問題解決等、AIではない部分は必須だと思う。それは学校生活で養えてもらっていると思う[長崎/母親/男/子の希望なら何でも]
 - ・学校に行くことで家族以外の人と関わるので。大勢の人と関わることからだと思うから[長崎/母親/女/子の希望なら何でも]
- 部活動で学んでいるから
 - ・部活等で学んでいるから[北海道/母親/男/大学]
 - ・部活動等、学校生活で様々なことを学んでいると思います[静岡/父親/男/子の希望なら何でも]
 - ・部活動で養えていると思う[富山/母親/男/大学]
 - ・クラブ活動が盛んなので、部活動での学びは大きい[滋賀/母親/男/子の希望なら何でも]
 - ・学生生活、部活共に努力を続けている姿をみているから[長崎/母親/男/就職]
- 学校内行事で学んでいるから
 - ・行事やカリキュラムが昔より配慮されているから[富山/父親/女/大学]
 - ・様々な大学との交流や講師を招いての講演会に力を入れてあるから[長崎/母親/男/大学]
 - ・学校行事の実行委員等を通じて、問いにある能力は養われているよう感じる[長崎/父親/女/大学]
- 探究活動で課題発見などを養えていると思うから
 - ・探求学習について子どもから聞いている限り、課題発見、解決能力はある程度鍛えられていると感じられる[岩手/母親/女/大学]
 - ・個人やグループで、探究の授業等で課題をやっていく中で鍛えられていると思う[東京/母親/男/子の希望なら何でも]
 - ・高校の雰囲気が人間性や課題発見、設定の力を育ててくれるから。農業の専門高校なのでこの部分に関しては長けていると感じています[静岡/母親/男/大学]
 - ・課題発見の授業は楽しそうに受けているようだから[富山/母親/男/子の希望なら何でも]
- 成長を促す授業・カリキュラムがあるから
 - ・息子が通う農業高校は特殊で、自分の手で野菜や果物を育てるという経験ができる。土をいじり汗をかき、実った生産物に喜びを感じるという決してAIには真似できない体験である[静岡/母親/男/大学]
 - ・個性的で面白い子に育っているから[富山/母親/女/大学]
 - ・取り組んでいる姿を見てから[滋賀/母親/男/子の希望なら何でも]
 - ・学校で学ぶ事で、子供はちゃんと成長してると思います！[長崎/母親/女/子の希望なら何でも]
- 主体的な行動や自主性の伸びを感じるから
 - ・高校に入って自分で考え行動することが多くなり、課題や困ったことも良く考え解決しているように見受けられるため[東京/母親/男/大学]
 - ・学校で積極的に人とかわっている点と(行事など中心になって活動している)家族も多いので、家でも他人の事をいつも考えないといけない環境なので、養えているのではと感じています[東京/母親/女/大学]
 - ・自由な校風で自主性を求められるから[富山/父親/男/大学]
 - ・自主的にがんばる姿勢が見られる[滋賀/母親/女/子の希望なら何でも]
 - ・集積された過去の情報からの回答ではなく、自己主体性からの回答が出来る。AIは公平性が保てない[長崎/父親/女/就職]

▶「あまり思わない」「養えていないと思わない」と回答した理由

- 学校生活の様子がわからない
 - ・努力はしていると思うが、結果としては顕著ではないと思うから[北海道/母親/男/大学]
 - ・高校生になると、学校内での出来事を親が把握する機会が少ないため、実態がよく分からないから何とも言えない[神奈川/母親/男/大学]
 - ・学校で何をしているか情報が入ってこないから[富山/母親/男/大学]
 - ・学校でいろんな活動をする中で、たくさんの人と関わり、養えていると思うが、こどもが学校の話をしていないので、具体的にはどんな毎日を送っているかははっきりと把握はできていないから[香川/母親/男/大学]

V. 高校生の学習や将来に対するAIの影響

学びへの意欲や進路に対するAIの急速な普及の影響有無

1) 高校生の学びの意欲や進路に対する影響

▶ 高校生の21.5%が、AIの影響によって学びへの意欲や学びたいことが「変わった」と回答。

- ▶ 高校生: Q22. AIの急速な普及を受けて、学びへの意欲や学びたいことは変わりましたか。ひとつだけお選びください。
- ▶ 高校生: Q23. AIの急速な普及を受けて、自分の進路や将来なりたい姿への影響がありましたか。ひとつだけお選びください。

- AIの急速な普及を受けて、学びへの意欲や進路に対して何らかの影響があったかを高校生に尋ねた。
- <学びへの意欲や学びたいこと>については、21.5%が影響を受けて「変わった」と回答した。
- 性別にみると、男子で「変わった」割合がやや高い(23.9%)。
- <自分の進路や将来なりたい姿>に対しては、14.2%が影響が「あった」と回答した。
- 性別にみると、わずかに男子で「あった」割合が高い(15%)。

【高校生】 学びへの意欲や学びたいことに対するAIの急速な普及の影響有無 (全体/単一回答)

(%)

		変わった	変わらない	どちらともいえない/わからない	無回答
●凡例					
2025年	全体 (n= 1584)	21.5	52.3		26.2
【2025年属性別】					
性別	男子 (n= 735)	23.9	55.1		21.0
	女子 (n= 817)	19.2	50.4		30.4
希望進路別	進学希望者全体 (n= 1348)	21.6	53.1		25.3
	大学 (n= 1115)	21.6	55.0		23.4
	短大 (n= 33)	18.2	33.3		48.5
	専門学校 (n= 200)	22.0	46.0		32.0
	就職 (n= 221)	21.7	47.5		30.8

K.Q22

【高校生】 自分の進路や将来なりたい姿に対するAIの急速な普及の影響有無 (全体/単一回答)

(%)

		あった	なかった	どちらともいえない/わからない	無回答
●凡例					
2025年	全体 (n= 1584)	14.2	57.4		28.3
【2025年属性別】					
性別	男子 (n= 735)	15.0	57.7		27.3
	女子 (n= 817)	13.0	58.0		29.0
希望進路別	進学希望者全体 (n= 1348)	14.8	58.9		26.3
	大学 (n= 1115)	14.9	61.3		23.8
	短大 (n= 33)	18.2	39.4		42.4
	専門学校 (n= 200)	14.0	48.5		37.5
	就職 (n= 221)	9.5	50.2		40.3

K.Q23

V. 高校生の学習や将来に対するAIの影響

<フリーコメント:高校生> AIの急速な普及による学びへの意欲や学びたいことの変化に対する意見

▶「変わった」

●学習効率のアップ

- ・夜中に勉強することが多いから、いつでも解説を聞ける[長崎/女/大学]
- ・勉強の解説を頼んだ時わかりやすく解説してくれたりわがままなお願いを聞いてくれるからやる気が湧く[岩手/女/大学]
- ・分からない問題があったときにやる気を喪失してしまうことが多かったけど、AIに聞くことで、友達に聞いたり先生に聞いたりするよりも質問しやすく、理解を深めることができるから[岩手/女/大学]
- ・分からないことを正確に直ぐに教えてくれるから[富山/女/専門学校]
- ・答えの解説をより詳しく知りたい時や先生や友達に教えてもらいたい問題がある時、数回しか聞き返せないけどAIならわからないところをわかるまで質問し続けることができて微妙にわからないところをそのままにせず解決できるから[岩手/女/大学]
- ・数学が苦手で、回答を見ても分からないことが多かったが、AIは計算過程が細かくわかりやすいので、数学の勉強に対する意欲が上がったと思う[北海道/女/大学]
- ・英作文の添削が今まで人間(先生たち)がいなければできなかったが、家でもChatGPTによる採点ができるので大変楽である[滋賀/女/大学]

●学びの広がり・深化

- ・AIの登場により、人間がしなくても良いこと、例として単純な計算や情報の整理などが出てきて、逆に人間に求められることが明確化されたため[北海道/男/大学]
- ・AIがこれからどのような影響を与えるのか考えるようになるから[北海道/女/専門学校]
- ・幅広い知識を教えてくれるので、自分が今まで知らなかった活動を知って、より気持ちが大きくなった[北海道/女/大学]
- ・チャットGPTとの対話を通して新しい視点を得られ学びの可能性が広がっていると実感しているから[岩手/女/大学]
- ・AIが勉強計画を立ててくれたりすると、時間も無駄な努力もかからないから、勉強に手をつけやすくなった。あとは引用先も分かるようにして、欲しい知識(哲学とか美術とか)をまとめてくれるのはありがたいと思う[静岡/男/大学]
- ・専門家や、職人のような人に訊かないと知ることが出来ない様なことが簡単に知ることができるようになり、自分で学べる範囲というものが、AIの普及によって広がったから[富山/男/大学]
- ・専門的な生物についての質問をすぐに答えてくれるのが魅力的で、自分の知識が増えていくのが楽しいし、そのようなAIがあることで、ふと思った疑問を引きずらないようにできているから[富山/女/大学]
- ・行き詰まるとときにAIが新たな視点を見せてくれたり、考え方が変わるような意見をくれるから[静岡/女/大学]

●モチベーションのアップ

- ・勉強の解説を頼んだ時わかりやすく解説してくれたりわがままなお願いを聞いてくれるからやる気が湧く[岩手/女/大学]
- ・AIを活用した勉強方法は私にとっても合っていて、勉強のモチベーションupに繋がったと思うから[岩手/男/大学]
- ・勉強管理アプリを入れて今まで以上に勉強に対しての意欲が増えた[富山/女/大学]
- ・最新技術に触れて、興味が増えた[富山/男/大学]
- ・パソコンを使った学習が楽しく学習意欲が湧いた[静岡/男/専門学校]
- ・分かりやすく教えてくれるので学びの意欲が高まったから[滋賀/男/大学]
- ・勉強できる環境を作りづらいところでも、頑張れる環境作りを手伝ってくれる[長崎/女/大学]

▶「変わらない」

●学びたいことや進路は変化しない

- ・元々学びたいことはAIやIT関連のことだったから[岩手/男/大学]
- ・AIは急速な発展を遂げたが、それによって自分がAIに関係する分野を学ぼうとは思わなかったから[岩手/女/大学]
- ・AIが普及したからと言って基礎を学ぶことに変わりはない[岩手/女/大学]
- ・学び方が変わっただけで何を学ぶかにはあまり影響してないと思うから[東京/女/大学]
- ・自分のやりたいことや好きなことを知ったり嫌なことを知ったりして自己理解が深まった。学びたいことが大きく変化することは感じられない[静岡/他/海外の大学など]
- ・学びたいことは自分の興味があることだから、aiによって変化することはないが、その学びたい分野でaiとの関わりはこれから意識していくと思う[富山/女/大学]
- ・AIがいくら進化しても人間の本質は変わらない[香川/男/大学]

●もともと普及した社会に育っているから

- ・情報化しているところに生まれてきたので特に変わらないから。なくならない仕事に就きたいと思う。そのための勉強[神奈川/女/大学]
- ・最初からあったから[長崎/女/大学]

▶「どちらもいえない・わからない」

●使い方がわからない

- ・使い方が未だによく分からないから[岩手/女/短大]
- ・使い方がいまいちわからないから[香川/女/大学]
- ・学びに関してAIがどこに使われているのかよくわからないから[長崎/男/就職]

●関心がない・使わない

- ・AIよりSNSの方がよく使うため、まだAIに関して深く興味は湧いていないから[滋賀/他/短大]
- ・AIに興味がないから[神奈川/女/大学]
- ・使っていないから分からない[香川/男/大学]

V. 高校生の学習や将来に対するAIの影響

<フリーコメント:高校生>自分の進路や将来になりたい姿に対するAIの急速な普及の影響有無の理由**▶自分の進路や将来になりたい姿に対するAIの影響が「あった」と回答した理由**

- AIにはできない仕事を検討するようになった・人とのかわりを重視するようになった
 - ・創作活動をする機会が増えた[北海道/女/大学]
 - ・AIがより身近で手の届きやすいものになったことで、将来就く職業はAIに脅かされないものにしたいと思ったから[岩手/女/大学]
 - ・前まで理学療法士になりたかったので、この仕事はAIはできないから残るだろうと思っていたから[岩手/男/大学]
 - ・人間にしかない新しい創造が将来必要になってくると思ったから[東京/男/大学]
 - ・AIに奪われなさそうな職業ってなんだろうと思うようになった[静岡/男/大学]
 - ・AIに職を奪われない仕事を選びたい[香川/男/大学]
 - ・AIにとって変わられるかもしれない仕事より、そのAIを管理していくような職業につかないとなと思うようになった[長崎/男/就職]
- AIによって情報収集が楽になった・視野が広がった
 - ・自分が知らない情報を知ることができたから[岩手/男/大学]
 - ・調べる上でサイトの情報などを持ってきてくれて調べやすくなったから[岩手/男/大学]
 - ・将来の夢や勉強方法について、詳しく調べられたので、参考になることが多くあったからです[東京/女/大学]
 - ・AIが自分の知りたいことを教えてくれるので、理想の進路探しのいいサポーターになるからです[静岡/男/大学]
 - ・農家についてたくさん調べられるため[静岡/女/就職]
 - ・気になることについてより深く探究でき、のめり込むことができるから[富山/男/大学]
 - ・職業について調べた時に多くの情報を得られたから[滋賀/女/大学]
 - ・簡単に自分に合った大学や就職が見つかるから[香川/男/大学]
 - ・学習がしやすくなり、情報収集もしやすくなり効率が上がり、進路を決めるきっかけになった[長崎/男/大学]
 - ・やりたい職業になるにはどんなことをすればいいか参考になる[長崎/女/専門学校]
- AIに仕事を奪われることを不安に思うようになった
 - ・薬剤の調剤などはAIに任せられるなど、仕事が減ってくるかもしれないから[岩手/女/大学]
 - ・人間が就ける仕事の幅は減るだろうと思うから[神奈川/男/大学]
 - ・AIで絵が生成出来るようになって、自分の特色があった方がAIと疑われにくい世界になってきている[神奈川/女/専門学校]
 - ・人間が行っていた仕事をこれからの未来はAIがやっていく可能性があるから[静岡/男/就職]
 - ・AIで映像を作ることが出来たり、絵を描く事が出来るので自分が就職する頃には、人工知能に代わられているのではないかと不安になる[静岡/女/専門学校]
 - ・コンサルタントは一番やりたかったがAIがかわりにできるっていう部分が大きいため[静岡/女/大学]
 - ・単純作業がAIによって行われるため就職が難しいのではと心配だから[富山/女/大学]
 - ・AIに奪われそうな仕事に就くことを今後ためらう可能性が出てきたから[滋賀/女/大学]
 - ・将来自分の目指す仕事はAIに取られているかもしれない[香川/男/大学]
 - ・やりたい姿は考えてなかったが、AIによってやりたい職業は減ったと思う[香川/男/大学]

▶影響が「なかった」と回答した理由

- 自分の進路・就きたい職業が決まっており、影響がないから
 - ・AIが自分がやりたいことに干渉してくる想像がつかなかったから[岩手/男/大学]
 - ・元々先生になりたかったから[岩手/男/大学]
 - ・元々医師になりたいという強い決心があったから[岩手/女/大学]
 - ・グローバルな社会にAIはあまり関わりがないから[東京/女/大学]
 - ・自分の将来のやりたいことは、AIにほとんど関係ありません。そのため、AIに対して新たに意欲が出てこなければ影響は出てこないと思います[静岡/男/就職]
 - ・特に就いてみたい職業とAIの関係がないと思うから[静岡/女/就職]
 - ・自分のなかでAIの普及と自分の進路や将来になりたい姿との間に関連性はない[富山/男/大学]
 - ・自分が就きたいと考える職業にAIはあまり関連していないと考えるから[滋賀/女/大学]
 - ・公務員に関係ない[滋賀/男/大学]
 - ・薬剤師はあまりAIに関係ないから[長崎/男/大学]
- 生活範囲での影響は感じるが、気持ちが変わらないから
 - ・AIは急速な発展を遂げたが、それによって自分の進路ややりたい姿が変わることはなかった[岩手/女/大学]
 - ・AIが出たところで自分のやりたいことは特に変わらないかなと[東京/男/大学]
 - ・やりたいのずっと前から決まっているから[東京/男/専門学校]
 - ・やりたいことは変わらないから[静岡/女/専門学校]
 - ・自分のやりたい姿を自分で叶えるだけだから[滋賀/女/大学]
 - ・AIが普及しても、やりたいことは変わらないから[香川/女/大学]
- 進路や将来像が明確でないから
 - ・進路先は決めていても将来になりたいものは定かではないから[北海道/女/短大]
 - ・そもそも自分の進路や将来が明確に定まっていないため[岩手/女/大学]
 - ・もともと将来になりたい姿が特になく[富山/男/大学]
 - ・元からはっきりとした未来像や未来計画を持っていないから[香川/女/大学]

V. 高校生の学習や将来に対するAIの影響

2) 子どもに期待する将来像や身につけてほしいスキル・スタンスに対するAIの急速な普及の影響

▶保護者では、15.2%が子どもに期待する将来像や身につけてほしいスキル・スタンスが「変わった」と回答。

»保護者：Q19 AIの急速な普及を受けて、お子さんに将来なしてほしい姿や身につけてほしいスキル・スタンスは変わりましたか。ひとつだけお選びください。

- 保護者に対しても、<子どもに期待する将来像や身につけてほしいスキル・スタンス>がAIの急速な普及を受けて変化したかを尋ねたところ、15.2%が「変わった」と回答した。
- 回答の理由のフリーコメントをみると(次ページ)、「変わった」と回答した保護者では、AIの普及がさらに進み、情報の確からしさを判断するスキルが不可欠になることを予測し、AIを活用する能力がますます必要になるとする意見や、それに柔軟に対応する能力を身につけてほしいといった意見が多く見られた。こうした“期待”だけではなく、「AIに取って代わられる職業を避ける」ことができるスキルを身につけてほしいという意見も多い。
- 一方、「変わらない」と回答した保護者では、AIの普及が進むか否かにかかわらず、「身につけるべきスキル」や「自ら行動したりトライアルする必要がある」といった意味ではこれまでと変わらないとする意見が散見された。

【保護者】 子どもに期待する将来像や身につけてほしいスキル・スタンスに対するAIの急速な普及の影響（全体／単一回答）（%）

		変わった	変わらない	どちらともいえない・わからない	無回答
●凡例					
2025年 全体	(n= 1291)	15.2	31.4	53.4	
【2025年属性別】					
続柄別	父親	25.9	36.8	37.3	
	母親	13.4	30.7	55.9	
子どもの性別	男子	14.5	32.5	53.0	
	女子	16.2	30.5	53.4	
希望進路別	進学希望者全体	19.3	29.9	50.8	
	大学	20.2	30.6	49.2	
	短大	15.4	15.4	69.2	
	専門学校	12.0	25.3	62.7	
	就職	7.4	44.7	47.9	

H.Q19

V. 高校生の学習や将来に対するAIの影響

＜フリーコメント:保護者＞子どもに期待する将来像や身につけてほしいスキル・スタンスへのAIの影響

▶AIの影響によって「変わった」と回答した理由

- AIを活用するスキルが必要になると思うから
 - ・AIなどの普及で、より多くの情報にアクセスしやすくなってきており、それらの情報をどう活用するかが問われてきているため[岩手/父親/男/大学]
 - ・AIを使いこなすことで、使わなかった時代に比べてスキップ出来る事象が多いため[長崎/母親/男/子の希望なら何でも]
- AI技術の普及によってなくなる職業があり、求められる能力・スキルが変わるから
 - ・AIによってなくなってしまう可能性がある職業を意識するようになったから[東京/母親/男/大学]
 - ・現在はAIが労働人口減少の対策として効果があると期待されているが、成長したAIが将来失業率を増加させる事が起きる[富山/父親/男/大学]
- 情報を見極めるスキルが必要になるから
 - ・自分が被害者、加害者になる恐れは充分にあり、それにより生活が脅かされてはならないと思う。日々著しい変化に対応できる情報リテラシーやマナーは更新して欲しい[東京/母親/女/子の希望なら何でも]
 - ・まずは情報を操る能力を身につけないと専門分野の研究もスタートラインに立てないから[富山/母親/女/大学]
- 変化に柔軟に対応する力をつけてほしいから
 - ・流れについていけないと前に進めなくなるから[岩手/母親/女/子の希望なら何でも]
 - ・情報を暗記することより、どこをどのように使うかの方が大事になってくる。自分なりの正しさの基準が必要になり、思考力や判断力をしっかり持たないと対応できないから[長崎/母親/女/大学]

▶「変わらない」と回答した理由

- 変わらない価値観があるから
 - ・普遍的なものもあるから[北海道/母親/男/子の希望なら何でも]
 - ・いくらAIが普及しても、個人としてのレベルが上がっているわけではなく、身につけなければならないスキルは変わらないと考えているから[富山/父親/男/大学]
 - ・自分で考え行動を起こし、トライアンドエラーを繰り返し、前進したり後進したりするのはAIが普及しても変わらないから[長崎/母親/男/大学]
- 社会がどうであろうと本人のやりたいことをやってほしいから
 - ・本人が好き分野なので保護者から望まなくとも切り開いているので[神奈川/母親/男/大学]
 - ・AIの普及を気にせずに、やりたい事、得意な事を続けてほしいから[富山/母親/女/大学]
 - ・やりたいことを見つけてくれたら良いと思う[滋賀/母親/女/子の希望なら何でも]

▶「どちらともいえない・わからない」と回答した理由

- 本人の意思や主体性を尊重しているから
 - ・子どもなりのAIに対する捉え方や関わり方があるようなので、親が変わることはない[神奈川/母親/女/大学]
 - ・親の思いだけでは子供の将来は決められない[滋賀/母親/女/子の希望なら何でも]
 - ・自分の時代とは違って、自らが選べる幅が広がっている[香川/母親/男/専門職大学]
- AIの普及について実感がないから
 - ・AIの影響を受けていると思えない[岩手/母親/男/専門学校]
 - ・子供が行きたい進路に、AIがどれほど影響してるかよくわからないから[静岡/母親/男/専門学校]

V. 高校生の学習や将来に対するAIの影響

子どもの将来のキャリアへのAIの発展・社会のグローバル化による影響

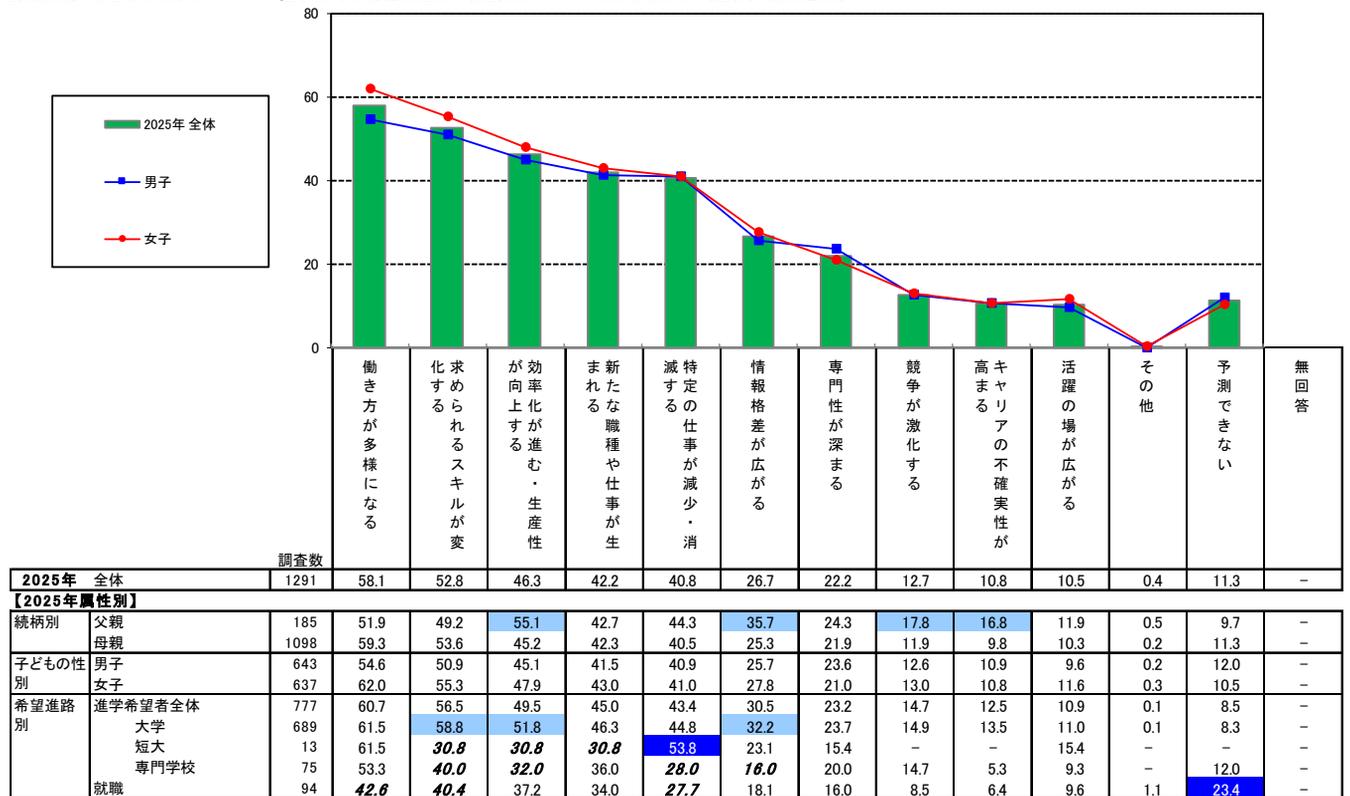
▶半数以上の保護者が、「働き方が多様になる」「求められるスキルが変化する」などの影響があると回答。

» 保護者：Q21_AIの発展や社会のグローバル化が、お子さんの将来のキャリアや仕事にどのような影響を与えると予想しますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 保護者に、AIの発展や社会のグローバル化が、お子さんの将来のキャリアや仕事にどのような影響を与えると予想するかを尋ねたところ、「働き方が多様になる」(58.1%)、「求められるスキルが変化する」(52.8%)などが50%を超える。
- 続柄別にみると、上位2項目は母親で、それ以下の項目では、全体的に父親でスコアが高い傾向がみられる。

【保護者】子どもの将来のキャリアや仕事に対するAIの発展や社会のグローバル化による影響（全体／複数回答）

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

H_Q21

V. 高校生の学習や将来に対するAIの影響

急速なAIの進化や社会の変化の中で、自分に必要になると思う力

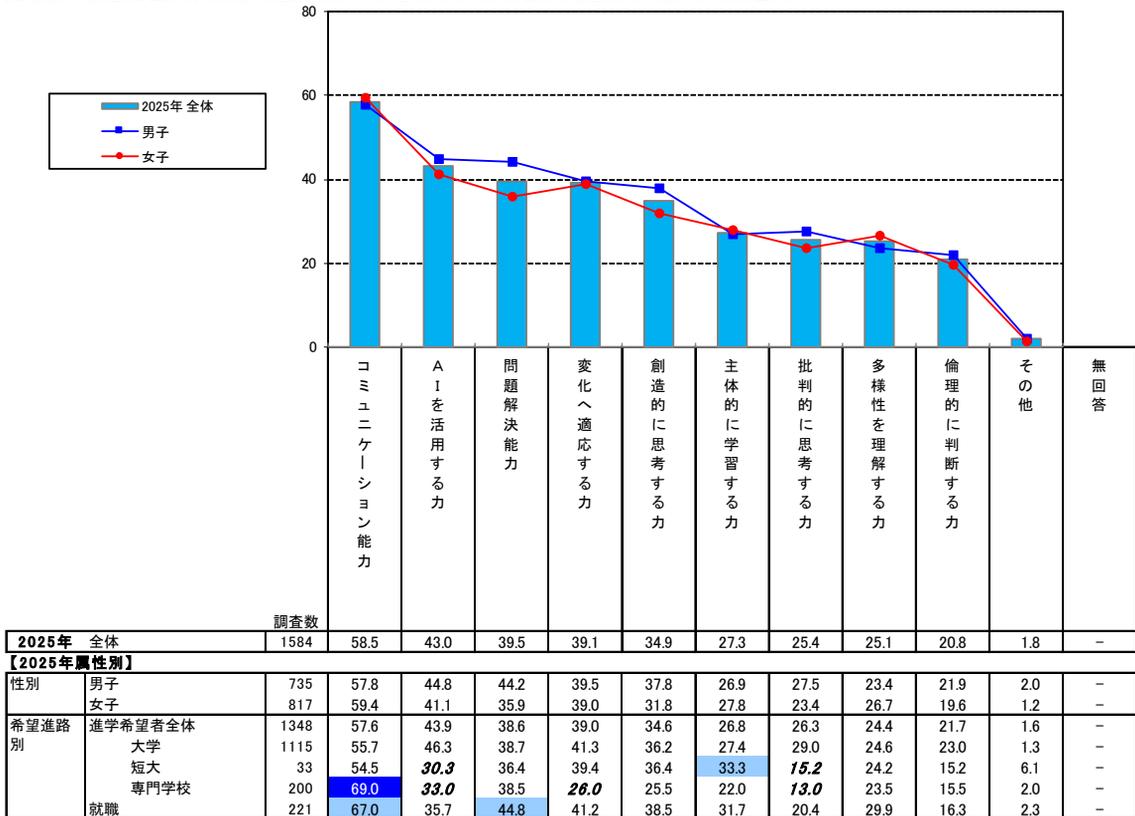
▶ 急速なAIの進化や社会の変化の中で必要になるのは「コミュニケーション能力」。

▶ 高校生：Q24.AIの進化や社会の変化が速いなかで、これからどんな力が自分に必要になると思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 高校生に、AIの進化や社会の変化が速いなかでどのような力が必要になると思うかを尋ねたところ、「コミュニケーション能力」(58.5%)が最も高く、次いで「AIを活用する力」(43.0%)が高い。
- 性別にみると、上位2項目の「コミュニケーション能力」「AIを活用する力」は男女で共通しているが、男子では「問題解決能力」、女子では「変化へ適応する力」が僅差で第3位となっている。

【高校生】 急速なAI技術の発達・社会変化の中で、どのような力が必要になると思うか（全体／複数回答）

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■ 10pt以上高い □ 5pt以上高い ▲ 10pt以上低い

K_Q24

VI. 教育改革の評価と高校での対応状況

高校教育改革に対する期待と不安

1) 高校生の期待と不安

- ▶ 高校生からみて期待度が高い“教育改革”内容は、特に【大学の教育】に関するもの。
- ▶ 一方で【入学者選抜】の不安度が高い。英語の「聞く」技能、「思考力・判断力」、「主体性」などは、期待と不安が拮抗している。
 - ▶ 高校生：Q26 現在進められている教育改革の内容への「期待と不安」について、自分のお気持ちにもっとも近いものをひとつお選びください。
- 高校生に対して、教育改革の内容についてどのように感じているかを尋ねた。
 - なお【高校の教育】に関しては高校生全員、【入学者選抜】【大学の教育】に関しては専門職大学・短大を含む大学・短大進学希望者に尋ねた。
 - ▶ 「期待・計」= 期待できる + 不安はあるが期待が大きい
 - ▶ 「不安・計」= 不安である + 期待はあるが不安が大きい
- 【高校の教育】については、すべての項目で「期待・計」のスコアが55%を超える。とりわけ「ICT技術を活用し、一人ひとりが最適な学習内容と進度で学べるようになる」(67.6%)は、合計で3人中2人程度が期待できると評価。
- 【入学者選抜】について大学・短大進学希望者に対して尋ねたところ、「大学が入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)などを策定・公表し、それに基づいた入学者選抜が実施される」(59.8%)「総合型選抜(AO入試)、学校推薦型選抜(推薦入試)でも、学力評価が必須となる」(56.7%)、「調査書が変わり、『学力の3要素』すべての評価が記載される」(55.9%)などが50%を超えている。
- それ以外の項目では、「期待・計」が45~50%弱、「不安・計」が40%前後と割合が拮抗しており、期待を感じている層と不安を感じている層に二分されている。
- また、【大学の教育】に関しては期待度が非常に高く、「期待できる」とする割合が50%を超える。「不安はあるが期待が大きい」まで含めると、大学・短大進学希望者の78.7%が「大学や専門学校における入学後の学びが、社会や企業との連携を深めていく」、77.1%が「高校と大学、専門学校が連携を深め、生徒の学びがよりつながっていく」ことに期待できると回答しており、高校から大学、さらには社会・企業との連携が深まることに対する期待が大きい。

▼アンケート内では、下記を提示のうえ尋ねた
 予測困難なこれからの時代の中を生きていくのに必要な力を身に付けるために、現在、「高校教育」、「大学教育」、その間をつなぐ「入学者選抜」を一体的に変える教育改革が進められています。
 これからの教育は、以下の3点で構成される新しい「学力の3要素」を育成し、それを「入学者選抜」ではかり、進学した先でさらにそれを伸ばすことが重視されるようになります。
新しい「学力の3要素」→ ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体性・多様性・協働性

【高校生】 教育改革の内容への期待と不安 (【高校の教育】全体、【入学者選抜】【大学の教育】大学・短大進学希望者/各単一回答)

(96)

	期待・計		不安・計		わからない	無回答	期待・計	不安・計	期待・計-不安・計の差	
	期待できる	不安はあるが期待が大きい	期待はあるが不安が大きい	不安である						
●凡例										
高校の教育	ICT技術を活用し、一人ひとりが最適な学習内容と進度で学べるようになる	38.0		29.5	15.3	5.7	11.5	67.6	21.0	46.6
	生徒が自らテーマを設定し、調べたり解決に向けて取り組む探究学習が重視される	33.8		26.4	17.5	10.0	12.4	60.2	27.5	32.7
	先生が知識を教える授業から、生徒が主体的に考え、学び合う授業に変わる	28.9		28.3	21.2	7.8	13.8	57.2	29.0	28.2
	学んだことや経験したことを振り返り、次の目標を立てる「ポートフォリオ」が導入される	31.4		25.3	13.1	8.3	21.8	56.7	21.5	35.2
入学者選抜	大学が、入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)などを策定・公表し、それに基づいた入学者選抜が実施される	34.7		25.2	13.8	7.1	19.3	59.8	20.9	38.9
	総合型選抜(AO入試)、学校推薦型選抜(推薦入試)でも、学力評価が必須となる	31.6		25.1	16.2	14.1	13.0	56.7	30.3	26.4
	調査書が変わり、『学力の3要素』すべての評価が記載される	32.5		23.4	15.9	13.1	15.2	55.9	28.9	27.0
	英語はリーディング(100点)とリスニング(100点)の出題となり、これまでより「聞く」技能が重視される	27.7		21.1	18.0	23.8	9.4	48.8	41.8	7.0
	「大学入試センター試験」が「大学入学共通テスト」に変わり、より「思考力・判断力」が必要なテストになる	26.5		21.4	22.9	16.5	12.7	47.9	39.4	8.5
大学の教育	各大学の個別入試では、筆記試験に加えて小論文や面接、ポートフォリオなどで主体性が評価される	24.2		20.5	20.5	21.2	13.7	44.7	41.6	3.1
	大学や専門学校における入学後の学びが、社会や企業との連携を深めていく	55.0		23.8	7.0	2.9	11.4	78.7	9.8	68.9
	高校と大学、専門学校が連携を深め、生徒の学びがよりつながっていく	50.9		26.2	7.2	3.3	12.4	77.1	10.5	66.6

※カテゴリごと「期待・計」降順ソート

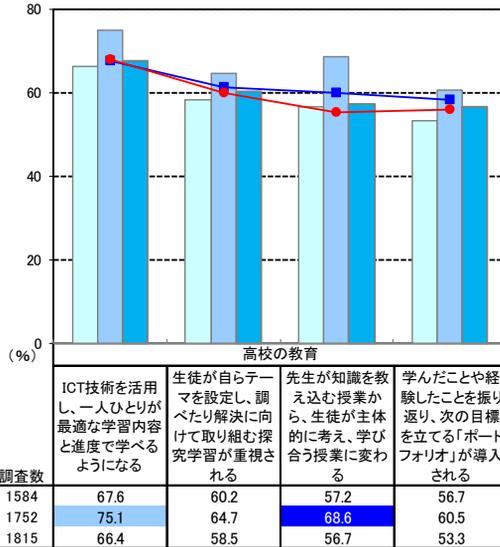
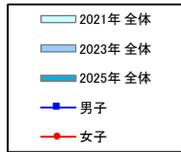
K_Q26マトリクス

VI. 教育改革の評価と高校での対応状況

- 高校生: Q26 現在進められている教育改革のそれぞれの内容について、自分のお気持ちにもっとも近いものをひとつお選びください。
- 【高校の教育】について
- 【入学者選抜】について
- 【大学の教育】について

【高校生】 教育改革の内容への期待と不安【高校の教育】(全体/各単一回答) (%)

※「期待・計」の割合

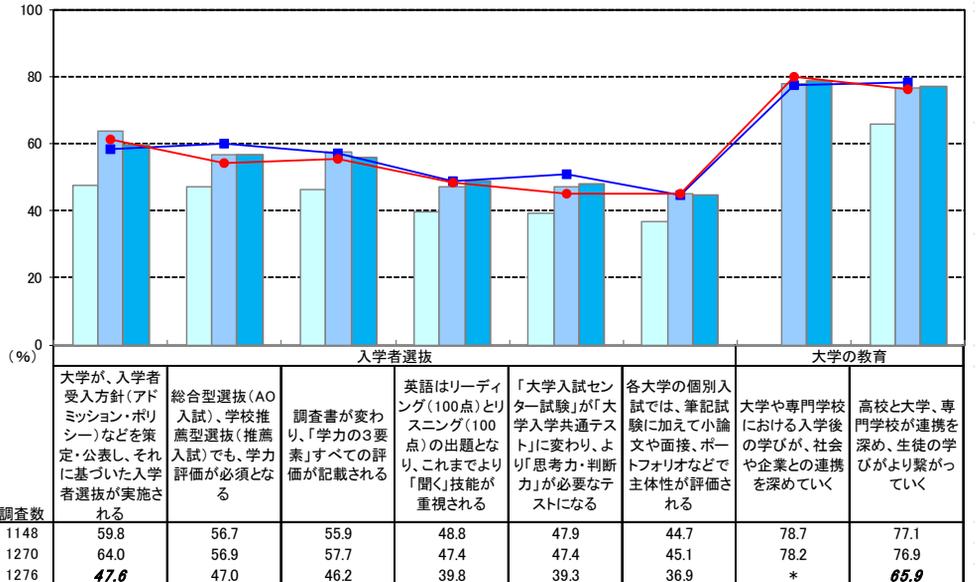


【2025年属性別】						
性別	男子	735	67.6	61.2	59.9	58.2
	女子	817	67.9	59.9	55.2	56.1
希望進路別	進学希望者全体	1348	68.0	60.3	57.6	57.3
	大学	1115	68.2	60.8	58.4	57.8
	短大	33	54.5	54.5	48.5	48.5
	専門学校	200	69.5	58.5	55.0	56.0
	就職	221	65.6	59.7	54.3	53.8

※今回調査の「全体」の降順ソート
 ※今回調査の「全体」と比較して ■ 10pt以上高い ■ 5pt以上高い 10pt以上低い K.Q26.1

【高校生】 教育改革の内容への期待と不安【入学者選抜】【大学の教育】(大学・短大進学希望者/各単一回答) (%)

※「期待・計」の割合



【2025年属性別】										
性別	男子	531	58.6	60.3	57.3	49.0	50.8	44.6	77.6	78.3
	女子	592	61.5	54.2	55.6	48.5	45.1	45.1	80.2	76.5
希望進路別	大学・短大進学希望者	1148	59.8	56.7	55.9	48.8	47.9	44.7	78.7	77.1
	大学	1115	60.3	57.0	56.4	49.1	48.3	44.8	79.0	77.3
	短大	33	45.5	45.5	39.4	36.4	33.3	39.4	69.7	69.7

※カテゴリーごとに今回調査の「全体」の降順ソート
 ※今回調査の「全体」と比較して ■ 10pt以上高い ■ 5pt以上高い 10pt以上低い K.Q26.2

VI. 教育改革の評価と高校での対応状況

＜フリーコメント：高校生＞教育改革への期待と不安

▶期待すること

- 学びの幅が広がる
 - ・ 高校時点で自分の興味のあることについて知るきっかけがある[長崎/男/大学]
- 主体的な学びが重視される
 - ・ 高校でも大学と同じように自らが疑問に思ったことを探究していく活動の時間をもっと増やすこと[北海道/男/大学]
 - ・ 暗記中心の機械的な学習ではなく、自ら理解して答えを導く力が重視される教育になってほしい[滋賀/女/大学]
- 学力の向上
 - ・ より効率的に学びを深める[岩手/男/大学]
 - ・ 全体の人間力の向上や、大学での学習の質の向上[滋賀/女/大学]
 - ・ 学習能力の向上、学習意欲の向上[長崎/女/大学]
- 社会で役立つ力が身につく
 - ・ 高校生の時分から社会における知識の活用方法や社会とのつながり方を学べるようにすること[富山/男/大学]
- 専門的な知識が身につく
 - ・ より専門的で高度な学びが得られるといい。大学進学に活きるようなことを高校生のうちに沢山知っておきたい[岩手/女/大学]
 - ・ 専門的な部分、具体的には就職に有利になったり将来の視野が広がる経験[神奈川/男/大学]
 - ・ 教授の講義により更なるレベルの高い教育を高校生のうちから受けられる[長崎/男/大学]
- 進路選択がしやすくなる・ミスマッチが起こりにくくなる
 - ・ より高度な学びに触れ、興味を持つことができたり、思ったのと違うことや逆にこっちの分野の方が自分の進路実現に有用かもしれないということがわかること[岩手/男/大学]
 - ・ 大学で学べること、本人が学びたいことの明確化、それによる大学入学後の「こんなつもりではなかった」といった状況に陥る人の減少[東京/男/大学]
- 教育の質の向上
 - ・ 授業の内容が良くなること[東京/女/大学]
 - ・ 一人ひとりの教育の質が上がる[静岡/男/専門学校]
 - ・ 実現したらより良い学習ができる[滋賀/女/専門学校]
 - ・ 時代に合った教育へと進化すること[長崎/男/大学]
- 大学について知る機会が増える
 - ・ 大学が身近になると計画や見通し、興味を持つ機会が増える[香川/女/大学]
 - ・ 高校の時点で大学について詳しく知れたり、実際に体験したりできるのはとても期待[香川/男/大学]
- 個人に合った学習ができる
 - ・ 個人個人で学びたいことを学べる点。自分に合った勉強法で進められる[神奈川/女/専門学校]
 - ・ 多様性の時代で生徒一人一人に合わせた教育が行われること[静岡/男/専門職大学]
- 高大連携への期待
 - ・ 高校からの大学進学は多くの人が選ぶ進路であるから、高等学校と大学の連携に関する事柄はほぼすべて望ましいことである[富山/男/大学]
- AI・IT技術の活用が進む
 - ・ もっとAIの活用できる力を教えて欲しい[岩手/男/大学]
 - ・ ITをもっと使用し、全てのワーク・教科書をデジタルにする[富山/男/大学]

▶不安に思うこと

- 制度や社会の変化についていけるか
 - ・ 制度が変わった時に自分達がついていけるのかということ[岩手/女/大学]
 - ・ 社会の進歩に自分が追いつけなくなる[岩手/女/専門学校]
 - ・ 自分にどんな力が求められるのか分かりにくくて少し不安[滋賀/女/就職]
 - ・ 急に変わるからついていけるか[滋賀/男/就職]
 - ・ 意識しないといけないのが大変[長崎/女/大学]
 - ・ うまく対応できずおいてかれてしまうこと[静岡/女/大学]
- 授業のやり方がかわることが負担になりそう
 - ・ 今よりも学ぶことのなかで非効率なことが増えたりしないか[岩手/男/大学]
 - ・ 共通テストでの情報や探究活動など、以前よりやらなければいけないことが増えた[岩手/女/大学]
 - ・ 高大接続の改革によって、本来高校で学ぶべきことに時間が割けなくなる[富山/女/大学]
 - ・ 教育の仕方を変えることはかなり大きなことだから生徒に馴染めるかなど不安[長崎/男/就職]
- 授業や入試の難易度の上昇
 - ・ 発展的なことが多くなり、理解をするのが難しくなっていくこと[北海道/女/大学]
 - ・ 授業のレベルについていけるか不安[岩手/女/大学]
 - ・ 学力の面でさらにボーダーが高くなる[静岡/男/大学]
 - ・ 筆記試験に求められる応用力が高まり難化すること[滋賀/男/大学]
 - ・ 試験の内容が難しくなる[静岡/男/大学]
 - ・ これ以上入試の難易度を上げないでほしい[長崎/男/大学]
- 教育水準の格差が拡大する
 - ・ 大学を見据えたカリキュラムによって、高校間で学力格差が増大すること[東京/男/大学]
 - ・ 主体性だけを大事にしてしまうと人によってかなり差が開いてしまうのではないか[静岡/女/専門学校]
 - ・ 個人個人で学ぶことで、学習状況に個人差が出てしまう[神奈川/女/専門学校]
 - ・ 家庭の経済状況や門地によって教育の格差が拡大すること[富山/男/大学]
- 近隣の大学がないなど、工大連携が難しいための格差
 - ・ 近くに大学がある高校とそうでない高校、大学進学を目指す高校とそうでない高校で格差が生まれてしまうのではないか[北海道/男/大学]
 - ・ 人によって接続が悪くなったりと差が生まれまいかな[岩手/女/大学]
- 経済的・時間的な負担
 - ・ 高校、大学によっては、距離があり、時間、費用がかかる。設備の取り扱いなど、トラブルが起きたときの責任問題[長崎/女/大学]
 - ・ AOなどの評定調査はその学校のレベルによって評定の価値が違うから不公平になりやすいのではないかと思う。今までの活動で評価してくれるのはいいが、活動機会や活動するための資金など間接的に家庭の経済力でのハンデが生まれてしまうのではないかと思った[岩手/女/大学]
- AI利用による能力の低下
 - ・ 知識だけで終わったり、AIに頼りすぎる[静岡/男/就職]
 - ・ AI重視でいじめの体質が悪化したり、思考学習をしなくなる人も出るAIばかりに頼って頭を使わなくなってしまうこと[岩手/女/専門学校]
- 入試制度や評価方法の変化への不安
 - ・ 大学入試の精神的、肉体的負担が大きい[北海道/女/大学]
 - ・ 大学受験の時間がとられる[富山/男/大学]
 - ・ 新しい入試制度や評価方法が始まる時、学校や先生によって対応の差が出たり、生徒がどのように準備すればよいか分からなくなったりするかもしれないことです[静岡/女/就職]
 - ・ 改革をする初めの年の人達は不利だったり急に変わってしまうことで今までの入試の傾向などを参考にできないこと[岩手/女/大学]

VI. 教育改革の評価と高校での対応状況

2) 保護者の期待と不安

▶ 保護者からみて期待度が高い“教育改革”内容は、【高校の教育】や【大学の教育】に関するもの。一方で【入学者選抜】の不安度が高い。

※ 保護者：Q23 現在進められている教育改革の内容への「期待と不安」について、自分のお気持ちにもっとも近いものをひとつお選びください。

- 保護者に対しても、教育改革の内容についてどのように感じているかを尋ねた。
 - ・なお【高校の教育】に関しては保護者全員、【入学者選抜】【大学の教育】に関しては、子どもの大学・短大への進学を希望する者（専門職大学・短大を含む）に尋ねた。
 - 「期待・計」= 期待できる + 不安はあるが期待が大きい
 - 「不安・計」= 不安である + 期待はあるが不安が大きい
- 【高校の教育】については、「生徒が自らテーマを設定し、調べたり解決に向けて取り組む探究学習が重視される」(62.0%)、「学んだことや経験したことを振り返り、次の目標を立てる『ポートフォリオ』が導入される」(59.7%)などが60%前後で高い。
- 【入学者選抜】については、「総合型選抜(AO入試)、学校推薦型選抜(推薦入試)でも、学力評価が必須となる」(54.6%)への期待度が50%を超える。一方で、「各大学の個別入試では、筆記試験に加えて小論文や面接、ポートフォリオなどで主体性が評価される」(41.3%)、「『大学入試センター試験』が『大学入学共通テスト』に変わり、より『思考力・判断力』が必要なテストになる」(40.7%)では、期待・計より不安・計の割合が高い。
- 【大学の教育】に関しては高校生と同様に期待度が高く、「期待できる」とする割合が4割前後を占める。「不安はあるが期待が大きい」まで含めると、大学・短大進学希望者の75.9%が「大学や専門学校における入学後の学びが、社会や企業との連携を深めていく」、71.2%が「高校と大学、専門学校が連携を深め、生徒の学びがより繋がっていく」ことに期待すると回答した。

▼ アンケート内では、下記を提示のうえ尋ねた

予測困難なこれからの時代の中を生きていくのに必要な力を身に付けるために、現在、「高校教育」、「大学教育」、その間をつなぐ「入学者選抜」を一体的に変える教育改革が進められています。

これからの教育は、以下の3点で構成される新しい「学力の3要素」を育成し、それを「入学者選抜」ではかり、進学した先でさらにそれを伸ばすことが重視されるようになります。

新しい「学力の3要素」→ ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体性・多様性・協働性

【保護者】 教育改革の内容への期待と不安 (【高校の教育】全体、【入学者選抜】【大学の教育】大学・短大進学希望者/各単一回答)

(%)

	期待・計		不安・計		わからない	無回答	期待・計	不安・計	期待・計-不安・計の差		
	期待できる	不安はあるが期待が大きい	期待はあるが不安が大きい	不安である							
● 凡例											
高校の教育											
生徒が自らテーマを設定し、調べたり解決に向けて取り組む探究学習が重視される	28.8		33.2		20.7	4.9	12.5	62.0	25.6	36.4	
学んだことや経験したことを振り返り、次の目標を立てる「ポートフォリオ」が導入される	29.4		30.4		16.3	4.0	20.1	59.7	20.2	39.5	
ICT技術を活用し、一人ひとりが最適な学習内容と進度で学べるようになる	20.9		36.1		23.5	4.9	14.6	57.0	28.4	28.6	
先生が知識を教え込む授業から、生徒が主体的に考え、学び合う授業に変わる	17.7		35.8		28.5	5.7	12.3	53.5	34.2	19.3	
大学の教育											
総合型選抜(AO入試)、学校推薦型選抜(推薦入試)でも、学力評価が必須となる	22.6		31.9		18.8	10.7	16.0	54.6	29.5	25.1	
大学が、入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)などを策定・公表し、それに基づいた入学者選抜が実施される	20.1		29.8		19.1	8.7	22.4	49.9	27.8	22.1	
英語はリーディング(100点)とリスニング(100点)の出題となり、これまでより「聞く」技能が重視される	20.5		27.4		20.7		19.2	47.9	39.9	8.0	
調査書が変わり、「学力の3要素」すべての評価が記載される	17.7		28.6		22.2	12.5	18.9	46.3	34.8	11.5	
各大学の個別入試では、筆記試験に加えて小論文や面接、ポートフォリオなどで主体性が評価される	14.1		27.2		25.6		18.7	41.3	44.3	- 3.0	
「大学入試センター試験」が「大学入学共通テスト」に変わり、より「思考力・判断力」が必要なテストになる	14.1		26.6		28.5		14.8	40.7	43.3	- 2.6	
大学の教育											
大学や専門学校における入学後の学びが、社会や企業との連携を深めていく		44.4		31.5		10.0	3.3	10.8	75.9	13.2	62.7
高校と大学、専門学校が連携を深め、生徒の学びがより繋がっていく		38.5		32.8		12.0	4.3	12.5	71.2	16.2	55.0

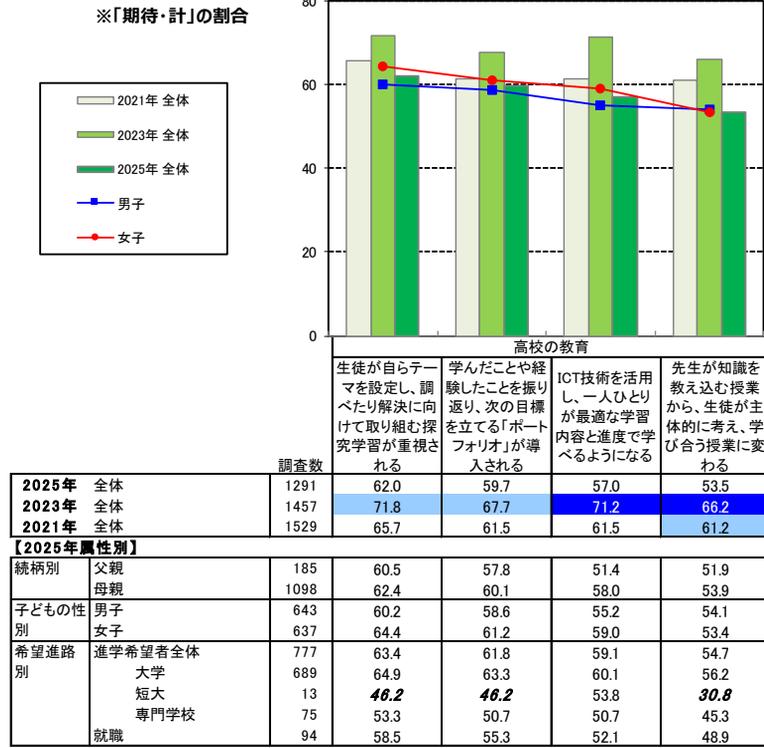
※カテゴリーごと「期待・計」降順ソート

H_Q23マトリクス

VI. 教育改革の評価と高校での対応状況

- ▶ 保護者：Q23① 現在進められている教育改革のそれぞれの内容について、自分のお気持ちにもっとも近いものをひとつお選びください。
- ▶ 【高校の教育】について
- ▶ 【入学者選抜】について
- ▶ 【大学の教育】について

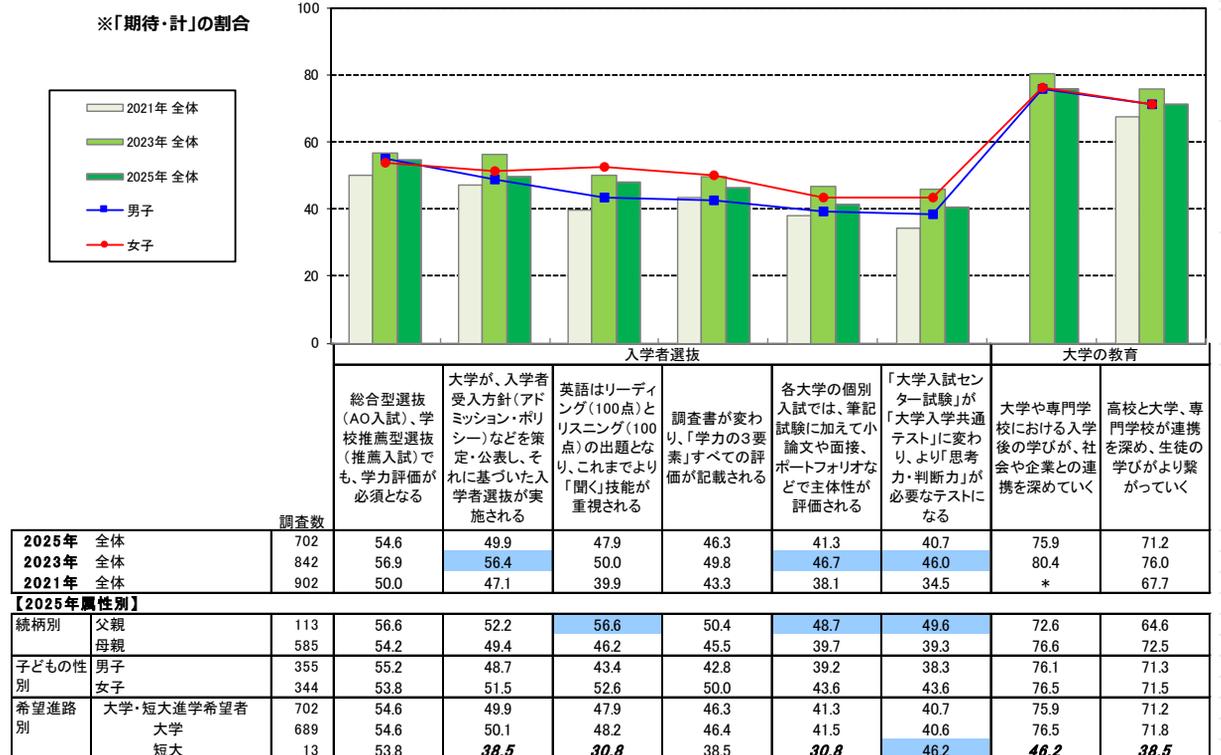
【保護者】教育改革の内容への期待と不安【高校の教育】（全体／各単一回答） (%)



※今回調査の「全体」の降順ソート
 ※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

H.Q23.1

【保護者】教育改革の内容への期待と不安【入学者選抜】【大学の教育】（大学・短期大学進学希望者／各単一回答） (%)



※カテゴリーごとに今回調査の「全体」の降順ソート
 ※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

H.Q23.2

VI. 教育改革の評価と高校での対応状況

＜フリーコメント：保護者＞教育改革への期待と不安

▶期待すること

●社会で役に立つ能力の養成

- ・不確実性の高い社会で課題解決能力が育まれる[北海道/母親/男/子の希望なら何でも]
- ・これからの社会で生きていく力を身につけてほしい[岩手/母親/男/大学]
- ・自分で考えて問題設定、解決を図り、AI社会で自分を活かせる様になって欲しい[東京/母親/男/子の希望なら何でも]
- ・課題発見力で様々な事に興味を持ち楽しく生活してもらえそう[東京/母親/男/子の希望なら何でも]
- ・高校生のうちに社会で活用できるような資格を多く取らせて欲しい[静岡/母親/女/子の希望なら何でも]
- ・スキルがあがる[静岡/母親/男/子の希望なら何でも]
- ・目標、志しを持って大学進学し、しっかり学べる環境を作ること。社会に必要なスキルを身につけて卒業すること[富山/父親/女/大学]
- ・子供の課題解決能力や発想力を伸ばすこと[富山/母親/男/大学]
- ・新しい時代にあう人材づくりという趣旨は理解できる[富山/母親/女/大学]
- ・社会に出て必要な能力が養われる[富山/母親/女/大学]
- ・より社会に貢献できる人材育成に期待できる[富山/母親/女/大学]
- ・人の前でわかりやすくプレゼンする能力[滋賀/母親/男/子の希望なら何でも]
- ・社会性を身につける[香川/母親/男/子の希望なら何でも]
- ・社会で生きていける人間教育を進めてほしい[長崎/母親/男/大学]

●継続的な主体的な学びの姿勢につながる

- ・一回の試験で結果が決まるよりは日頃の学習への意欲や取り組みがより反映されるのは当然だと思う[東京/母親/女/子の希望なら何でも]
- ・より主体性を持てるような教育制度になって貰える事を期待しています[静岡/母親/男/専門職大学]
- ・大学での勉強の備えとして、準備できる期間が増えることで学生の大学進学の自覚がでてくる[東京/母親/男/子の希望なら何でも]
- ・子供が目指す将来への、適切な環境における継続的な支援が受けられること[滋賀/母親/男/大学]
- ・社会においても、一生かけて積極的に自ら学習することが当然求められている。高校時からそのような教育が受けれるのは素晴らしいと思います[長崎/父親/女/大学]

●専門的な知識が身につく

- ・専門性をどんどん学んで欲しい。大学は遊びに行くところではなく勉強、研究をしに行くところだということを明確化して欲しい[神奈川/母親/男/大学]
- ・教科書で学んだことが、どのように研究などに繋がっているのかがわかると、高校での勉強にもより興味が湧くのではないかと思う[富山/母親/女/大学]

●学習意欲・モチベーションの向上

- ・モチベーションの向上[北海道/母親/男/大学]
- ・自発的な学習意欲の向上[静岡/母親/男/大学]
- ・専門的なことに触れることで、興味や関心が高まること[長崎/母親/男/大学]

●高大連携による効果

- ・相手方となる大学(または学部)に偏りがないようにご配慮頂きたい[岩手/母親/女/大学]
- ・教育機関の繋がりが、教育の質を上げることになれば良いと思う[神奈川/母親/女/大学]
- ・本当に連携できるのであれば、切れ目のない教育は期待できる[静岡/父親/女/大学]

▶不安に思うこと

●情報不足、前例がなく理解できない

- ・わからなさすぎて不安[北海道/母親/女/子の希望なら何でも]
- ・この事について情報が少ないのかよく理解できない[岩手/母親/女/子の希望なら何でも]
- ・どのように情報の取得と周りとのコミュニケーションを取ることができるか[神奈川/父親/男/大学]
- ・未知なことである為[静岡/母親/女/就職]
- ・子ども自身がそれを理解できているか？[滋賀/父親/男/就職]
- ・入試方法など情報をすべて理解できるか心配である[香川/母親/女/大学]
- ・何をどうすれば良いのか分からなく前に進むことができるかどうか[長崎/母親/女/子の希望なら何でも]

●準備不足による適応の遅れ

- ・今までより環境に適応できない生徒が増えるのではないかと[神奈川/父親/男/専門学校]
- ・今よりも複雑なシステムになり、保護者がついていけない[富山/母親/女/大学]
- ・初めて聞いた「高大接続の改革」という言葉。入試方法の変更では、終わらせてほしくない[香川/その他/女/大学]
- ・受験方法が多岐に渡りすぎて、親も子どもその波に乗れずに自分の望む方向にいけるか不安[香川/母親/男/大学]
- ・改革の移行期の負担がかかる生徒が存在すると思われるので、不利益を被るのはかわいそうに思う。当事者の生徒の意見を聞いてあげてほしい[香川/母親/男/大学]
- ・子どもがその変化にうまく対応できるか不安に感じることがある[長崎/母親/男/就職]

●探究学習などに対する教育現場の対応の遅れ

- ・働き方改革と合わせて教える側がどれほど対応準備が可能なのか？高校からではなく、もっと初等から取り組まねば基本的な考え方や行動が追いつかない[岩手/父親/女/就職]
- ・教員の成り手が減っている中で、十分に質の高い教育がいじできるかという点[岩手/父親/男/大学]
- ・探究学習や自由進度学習は必要ですが、なりより教員がその技術を取得しなければなりません。テーマの設定もSDGsに関連させるだけでなく、生徒自身に決めさせる問いって誘導したりしては結局意味がないと思います。生徒を信じて任せることをしてほしいし、先進的な授業をしている学校に研修に行ってほしい[滋賀/母親/男/子の希望なら何でも]
- ・現在行なっている探究活動には不満や不安があり、うまく活用できていないと感じる。関わる先生の指導などにも、かなりの工夫が必要だと思う[香川/母親/女/子の希望なら何でも]

●情報格差・学力格差の拡大

- ・高校と繋がるのは、高校からレベルが高くないと大学も難しかったりするの？小中から大学を目指して行動しなければいけないの？格差が広がるのかと少し不安になります[神奈川/母親/男/大学]
- ・能力の高い子しか適応しないのでは？[静岡/母親/男/子の希望なら何でも]
- ・指導者による格差[滋賀/母親/女/子の希望なら何でも]
- ・個人個人の格差がますます広がりそう[滋賀/母親/女/子の希望なら何でも]

●「自主性・主体性重視」への対応の難しさ

- ・主体性というが逆に意見が言えない性格の場合辛いと思う[東京/母親/女/子の希望なら何でも]
- ・受け入れる大学の負担が大きくなる。形骸化する。子どもの主体性を重視するという形を取ることで、放任になり、中身の薄いプログラムになることが考えられる[滋賀/母親/男/大学]
- ・一生懸命勉強する性格だが、控えめな性格で自分の意見を言うのが苦手な性格だと、成績だけを求められていない時代で大変だから[滋賀/母親/女/子の希望なら何でも]
- ・自主性のない生徒が置き去りにならないか心配です[長崎/母親/男/就職]

VI. 教育改革の評価と高校での対応状況

高校での教育改革への対応状況

1) 高校での教育改革への対応

▶ 高校生の26.1%、保護者の22.4%が、高校で教育改革への対応を行っていると感じている。

▶ コロナ禍を経た2023年調査では、2021年と比較して「感じている」が大幅に増加したが、今回は高校生、保護者共に2021年当時の水準以上に戻った。

- 高校生: Q27 あなたが通う高校では、教育改革の流れを受けて対応を行っていると感じますか。ひとつだけお選びください。
- 保護者: Q24 お子さんが通う高校では、教育改革の流れを受けて対応を行っていると感じますか。ひとつだけお選びください。

- 通っている高校が教育改革への対応を行っていると感じるかどうかと尋ねたところ、高校生の26.1%が「感じている」と回答した。
- 時系列で見ると、コロナ禍を経た2023年と比較して「感じている」が12.8ポイント減少し、2021年(24.6%)と同程度となった。
- 希望進路別にみると、進学希望者全体は就職希望者に比べて「感じている」が高い。
- 同様に保護者にも、子どもが通っている高校が教育改革への対応を行っていると感じるかどうかと尋ねたところ、22.4%が「感じている」と回答。
- 時系列で見ると、高校生と同様、2023年より6.4ポイント減少した。
- 希望進路別にみると、進学希望者全体は就職希望者に比べて「感じている」が高い。

【高校生】 通っている高校は教育改革への対応を行っていると感じているか (全体/単一回答)

(%)

		感じている	まだ感じていない	わからない	無回答
● 凡例					
2025年	全体 (n= 1584)	26.1	43.1	30.8	
2023年	全体 (n= 1752)	38.9	27.4	30.9	2.9
2021年	全体 (n= 1815)	24.6	41.5	33.3	0.6
【2025年属性別】					
性別	男子 (n= 735)	29.0	43.0	28.0	
	女子 (n= 817)	23.6	43.6	32.8	
希望進路別	進学希望者全体 (n= 1348)	27.3	43.5	29.2	
	大学 (n= 1115)	29.1	44.9	26.0	
	短大 (n= 33)	18.2	33.3	48.5	
	専門学校 (n= 200)	19.0	37.5	43.5	
	就職 (n= 221)	19.9	39.4	40.7	

K.Q27

【保護者】 子どもが通っている高校は教育改革への対応を行っていると感じているか (全体/単一回答)

(%)

		感じている	まだ感じていない	わからない	無回答
● 凡例					
2025年	全体 (n= 1291)	22.4	37.0	40.6	
2023年	全体 (n= 1457)	28.8	30.9	36.9	3.4
2021年	全体 (n= 1529)	17.5	43.0	38.1	1.4
【2025年属性別】					
続柄別	父親 (n= 185)	26.5	39.5	34.1	
	母親 (n= 1098)	21.8	36.9	41.3	
子どもの性別	男子 (n= 643)	22.1	35.5	42.5	
	女子 (n= 637)	22.9	38.9	38.1	
希望進路別	進学希望者全体 (n= 777)	26.4	37.3	36.3	
	大学 (n= 689)	28.6	36.0	35.4	
	短大 (n= 13)	23.1	46.2	30.8	
	専門学校 (n= 75)	6.7	48.0	45.3	
	就職 (n= 94)	10.6	39.4	50.0	

H.Q24

VI. 教育改革の評価と高校での対応状況

▶ 2)通っている高校での教育改革への取り組み内容

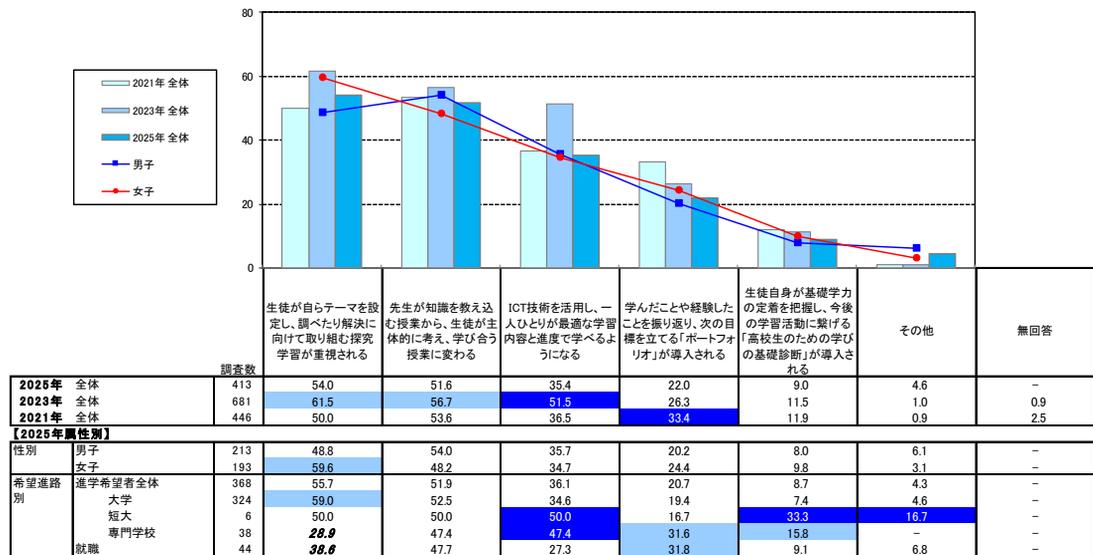
▶ 高校生・保護者共に、通っている高校での教育改革の取り組み内容の上位は、「探究学習」や「生徒が主体的に考え学び合う授業」への転換。

- ▶ 高校生: Q27s1 <前の質問で「1.感じている」とお答えの方へ> あなたの高校で「取り組んでいる」と感じるものをすべてお選びください。
- ▶ 保護者: Q24s1 <前の設問で「1.感じている」とお答えの方へ> お子さんが通う高校で「取り組んでいる」と感じるものをすべてお選びください。

- 通っている高校が教育改革への対応を行っていると感じている高校生に、その取り組み内容を尋ねたところ、「生徒が自らテーマを設定し、調べたり解決に向けて取り組む探究学習が重視される」(54.0%)、「先生が知識を教え込む授業から、生徒が主体的に考え、学び合う授業に変わる」(51.6%)が50%以上。
- 同様に、子どもが通っている高校が教育改革への対応を行っていると感じている保護者に、その取り組み内容を尋ねたところ、「生徒が自らテーマを設定し、調べたり解決に向けて取り組む探究学習が重視される」(58.5%)「先生が知識を教え込む授業から、生徒が主体的に考え、学び合う授業に変わる」(52.6%)が50%を超えた。

【高校生】通っている高校での教育改革への取り組み内容（対応を行っていると感じている）／複数回答

(%)

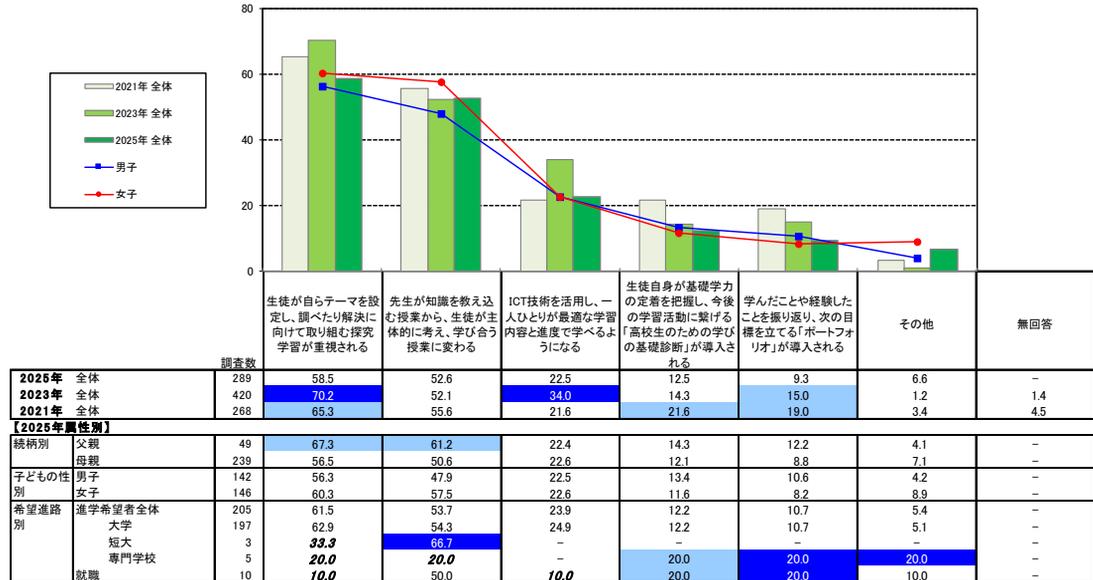


※今回調査の「全体」の降順ソート
※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

K.Q27-1

【保護者】子どもが通っている高校での教育改革への取り組み内容（対応を行っていると感じている）／複数回答

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート
※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

H.Q24.1

VI. 教育改革の評価と高校での対応状況

「探究学習」への取り組み状況

1) 保護者からみた高校における「探究学習」への取り組みと期待

▶ 保護者の33.4%が、子どもの通う学校で探究学習に取り組んでいると「感じている」。

▶ 保護者：Q25「総合的な探究の時間(探究学習)」とは、特定の教科の枠にとらわれず、生徒たち自身が主体的に課題を設定し、成果や研究結果を発表することを狙いとした、教科や科目の枠を越えた横断的・総合的な学びの時間を指します。お子さんが通う高校は、探究学習に取り組んでいると感じますか。ひとつだけお選びください。

- 保護者に対して、子どもの通う高校が「探究学習」に取り組んでいると感じているかを尋ねたところ、「感じている」が33.4%を占めた。
- 時系列で見ると、わずかながら「感じている」割合が増加したが、依然として「わからない」が最も多くを占めている。

【保護者】 子どもが通う高校は、「探究学習」に取り組んでいると感じるか（全体／単一回答）

			（％）			
			感じている	まだ感じていない	わからない	無回答
●凡例						
2025年	全体	(n= 1291)	33.4	28.1		38.5
2023年	全体	(n= 1457)	31.2	29.4		36.0
【2025年属性別】						
続柄別	父親	(n= 185)	33.5	35.7		30.8
	母親	(n= 1098)	33.4	27.0		39.5
子どもの性別	男子	(n= 643)	30.9	27.7		41.4
	女子	(n= 637)	35.8	29.0		35.2
希望進路別	進学希望者全体	(n= 777)	38.7	26.6		34.6
	大学	(n= 689)	41.5	26.1		32.4
	短大	(n= 13)	30.8	30.8		38.5
	専門学校	(n= 75)	14.7	30.7		54.7
	就職	(n= 94)	22.3	33.0		44.7

H.Q25

<フリーコメント:保護者>子どもが取り組んでいる探究学習の具体的な内容

●地域の活性化

- ・大学の設置がその自治体の若者の人口増減にどう影響しているかについて探究活動を行っている[東京/母親/男/大学]
- ・シャッター街となっている地元商店街のにぎわい創出について[富山/母親/女/大学]
- ・市内の観光名所の公園の活用[富山/母親/女/大学]
- ・地域振興、産業の経験をする機会がある。保護者、地域の方へプレゼンする機会がある。文化祭など[長崎/母親/男/子の希望なら何でも]
- ・子供達で考えた行事で地域の人達と触れ合っていた[長崎/母親/男/大学]

●健康・医療分野へ取り組み

- ・成長期における体のメンテナンスなどを学んでいるらしいです[北海道/母親/女/大学]
- ・災害時の食事(宗教の壁を超えて世界の人が食べられる)[神奈川/母親/女/大学]
- ・病気の歴史と文化の変遷…だったと思います二つの相互関係について探求[東京/母親/男/大学]
- ・アレルギーと共食の効果について[東京/母親/女/子の希望なら何でも]
- ・納豆菌に関すること[富山/父親/女/大学]

●環境問題への取り組み

- ・紛争と環境との関連について[岩手/父親/男/大学]
- ・海のゴミをリサイクル！[香川/母親/女/子の希望なら何でも]
- ・野菜栽培に適した土壌改良について[長崎/母親/女/大学]
- ・地元の池に生息している藻の駆除目的の活用方法[長崎/母親/女/大学]

●顧客行動の分析や投資などの経済活動の研究

- ・ネットショッピングで顧客の行動分析を元に買い物の際、自らの合理的考え方について探究[東京/父親/男/大学]
- ・地域での購買活動[滋賀/母親/男/子の希望なら何でも]
- ・経済の仕組みについて、探究学習で学んでいるようだ[香川/母親/男/専門学校]
- ・投資について[長崎/母親/男/大学]

●ボランティア活動・地域交流

- ・子供食堂について。なにかそこで起きている問題があるかインタビューしたもよう[岩手/母親/女/子の希望なら何でも]
- ・地域の活動に参加すること。お祭りのお手伝いや、清掃に参加したと聞いた[東京/母親/男/大学]
- ・福祉に関することや社会に関わること[長崎/父親/女/大学]

VI. 教育改革の評価と高校での対応状況

2)「探究学習」による変化・効果についての期待と実際

▶ 探究学習による自己理解の深まりに対して、保護者の75.2%が深めてほしいと「思う」と回答。

▶ 現状では、探究によって自己のあり方や興味関心への理解が深まったと感じている高校生は24.4%

▶ 保護者：Q25s2 お子さんに探究学習を通じて、自己のあり方や生き方、興味関心への理解を深めてほしいと思いませんか。ひとつだけお選びください。

▶ 高校生：Q28.「総合的な探究の時間」を通じて自分のあり方や生き方・興味関心への理解が深まったと感じますか。ひとつだけお選びください。

- 「探究学習」を通じて、自己のあり方や生き方、興味関心への理解を深めてほしいと思うかを、保護者に対して尋ねたところ、75.2%が「思う」と回答。「探究学習」への期待が高いことがわかる。
- 希望進路別にみると、専門学校進学希望者で「思う」割合が82.7%と顕著に高い。
- また、高校生に対して、実際に自己のあり方や興味関心への理解が深まったかを尋ねたところ、深まったと「感じている」は24.4%で、「まだ感じていない」(43.6%)、「わからない」(32.0%)よりも少ない。

【保護者】「探究学習」を通じて、自己のあり方や生き方、興味関心への理解を深めてほしいと思うか（全体／単一回答）

			思う	思わない	わからない	無回答
●凡例						
2025年	全体	(n= 1291)	75.2	2.6	22.2	
2023年	全体	(n= 1457)	69.6	3.0	21.8	5.7
【2025年属性別】						
続柄別	父親	(n= 185)	75.1	5.4	19.5	
	母親	(n= 1098)	75.3	2.2	22.5	
子どもの性別	男子	(n= 643)	75.4	2.2	22.4	
	女子	(n= 637)	75.5	3.1	21.4	
希望進路別	進学希望者全体	(n= 777)	77.5	2.7	19.8	
	大学	(n= 689)	77.1	2.9	20.0	
	短大	(n= 13)	69.2		30.8	
	専門学校	(n= 75)	82.7	1.3	16.0	
	就職	(n= 94)	60.6	4.3	35.1	

H.Q25-2

【高校生】「総合的な探究の時間」を通じて自分のあり方や生き方・興味関心への理解が深まったか（全体／単一回答）

			感じている	まだ感じていない	わからない	無回答
●凡例						
2025年	全体	(n= 1584)	24.4	43.6	32.0	
2023年	全体	(n= 1752)	25.9	35.8	34.0	4.4
【2025年属性別】						
性別	男子	(n= 735)	22.6	45.2	32.2	
	女子	(n= 817)	26.2	42.6	31.2	
希望進路別	進学希望者全体	(n= 1348)	26.5	45.3	28.3	
	大学	(n= 1115)	28.4	47.0	24.6	
	短大	(n= 33)	9.1	54.5	36.4	
	専門学校	(n= 200)	18.5	34.0	47.5	
	就職	(n= 221)	13.6	32.6	53.8	

K.Q28

VI. 教育改革の評価と高校での対応状況

＜フリーコメント:保護者＞探究学習を通じた子どもの成長に関する期待の理由

▶「探究」によって自身への興味関心や理解を深めてほしいと「思う」理由

- 取り組みによって、自己理解を深めてほしいから
 - ・自由度が高く、能力や個性の発見に気づける[岩手/母親/女/子の希望なら何でも]
 - ・生きる意味を見いだしてほしいので[東京/母親/男/大学]
 - ・学習を通じて、自分自身について考えるきっかけになることはとても良いことだと思うため[東京/母親/男/大学]
 - ・社会と自分、周囲の人と自分との関わりについて考えを深めているのが見てて感じられる[滋賀/父親/女/子の希望なら何でも]
 - ・自分自身を客観視し、自分の適正を知る力が育ってないので、自覚して欲しい[滋賀/母親/男/その他]
 - ・現状がそう感じないので、理解を深めてもらいたいと思うから[香川/母親/男/大学]
 - ・自分の在り方について考えるのも大切[長崎/父親/男/就職]
- これからの社会で役立つ力が養われると思うから
 - ・社会では知識だけでは生きていけないので、この主旨通り自分のプラスにして欲しい[神奈川/母親/男/大学]
 - ・興味を持ったことに対してどうアプローチして探究を進めるか、また自分の探究成果をどうやったら人々に伝えることができるかを学ぶことは、この後の人生に役立つと思うから[東京/母親/男/大学]
 - ・これから社会に出たり関わったりするとき、何かの助けになればいいかな。と思うから[静岡/母親/男/大学]
 - ・自分自身を持って、かつ柔軟性をもってしっかりと歩める人になってほしいから[滋賀/父親/男/就職]
 - ・社会に出る前に必要な経験だと思う[長崎/母親/男/就職]
- ものごとを追求する力を養ってほしいから
 - ・探究心の向上と、具体的方法論の習得[神奈川/父親/男/大学]
 - ・大人になって考えが偏ってしまう前に、柔軟な頭でたくさん色々な事を考えて欲しい[神奈川/母親/男/大学]
 - ・受け身ではなく、自主的に物事を考えて欲しいから[神奈川/母親/女/大学]
 - ・じっくり考える時間をもてると思うから[神奈川/母親/男/子の希望なら何でも]
 - ・物事を深く考える時間を持って欲しい[東京/母親/女/大学]
 - ・与えられたものでなく、自己で探る力は大切だと思うから[富山/母親/女/大学]
 - ・自主性、想像力につながると思うから[富山/母親/男/大学]
 - ・何ごとにも知りたいたいと感じて、追求することは大事だと思うから[長崎/母親/男/子の希望なら何でも]
- 視野を広く持ってほしいから
 - ・教科の座学とは違った学びにより、違った視点を得られると期待するから[北海道/母親/男/大学]
 - ・広い視野をもってほしい。たくさん可能性があることに気づいてほしい[岩手/母親/女/大学]
 - ・自分も世の中を作っている人間の大事な1人、その場で自分も役に立って自分の価値や評価を肌で感じれば、新たな考えが増えるなどプラスに転じると思うから[東京/母親/男/大学]
 - ・興味の幅を広げてほしい[東京/母親/男/大学]
 - ・さまざまな考えや生き方がある事を知ってほしいからです[東京/母親/女/大学]
 - ・今まで知らなかった事、関わってこなかった事などに興味を持てるかもしれない[静岡/母親/男/就職]
 - ・探究活動によって、様々な視点を持つことができると思うから[富山/母親/女/大学]
 - ・何にでも興味を持ちスキルを広げてほしい[滋賀/父親/男/大学]
 - ・自分の知らない色々な世界がある事を知ってほしい[香川/母親/女/子の希望なら何でも]
 - ・学校の勉強以外に世間に触れる事は大切[長崎/母親/女/大学]
- 将来について考える機会を持ってほしいから
 - ・探究学習に限らず、学校での学びは自己のあり方や生き方について考えるものであるべきだから[岩手/父親/女/大学]
 - ・将来の自身の生き方の選択の仕方にもよい影響が出てくると思うため[岩手/母親/女/子の希望なら何でも]
 - ・将来の自分のイメージを持つために必要だと思うので[東京/母親/男/大学]
 - ・興味のあることを理解してそれを仕事へとつなげてほしい[静岡/母親/男/専門学校]
 - ・将来についてしっかりと目標を持って欲しいから[富山/父親/男/大学]
 - ・何も将来のことを考えず過ごしていると感じるから[富山/母親/男/大学]
 - ・学科では出来ない学びがあり将来にも繋がるから[長崎/母親/男/子の希望なら何でも]

▶「思わない」理由

- ・探求学習でなくても知識を深めることはできる[岩手/母親/女/大学]
- ・就職して給与をもらうためには探求だけでは足りない。成果も求められるため[岩手/父親/男/子の希望なら何でも]
- ・探究学習にそこまで期待はしていないから[神奈川/母親/女/子の希望なら何でも]
- ・本人が家で探究学習の話しをしない[東京/母親/女/大学]
- ・大学に進学してからで十分です[静岡/母親/男/大学]
- ・高校生に必要とされる学力や思考力を、基礎を高める中で身につけて欲しい。探求型に時間を割く余裕があるとは到底思えない[静岡/母親/男/大学]
- ・自己のあり方と先のテーマは無関係であり、高校の探究学習はあくまで押し付けられたものと思っているから[富山/母親/女/大学]
- ・学校以外で身に付けそうな感じがします[長崎/母親/女/大学]

VI. 教育改革の評価と高校での対応状況

高校における個別最適な学び・個性や特性を尊重した学びの機会の有無

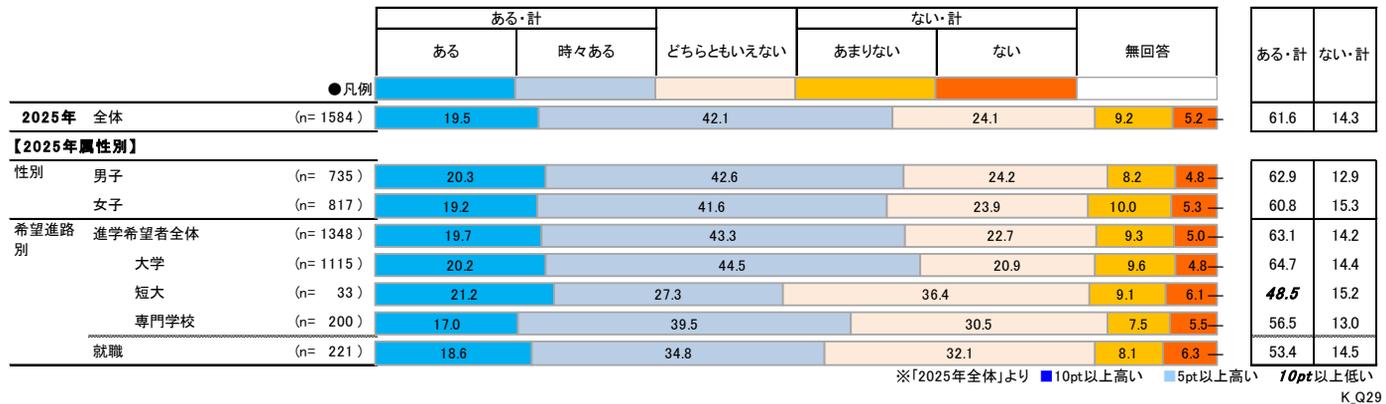
▶自分の興味・関心や得意なことに合わせて、学習内容や方法がある程度自分で選択できる機会が「ある」「時々ある」と感じている高校生が合計で61.6%。

- ▶高校生：Q29.あなたの学校では、自分の興味・関心や得意なことに合わせて、学習内容や方法がある程度自分で選択できる機会がありますか。
- ▶高校生：Q30.あなたの学校では、あなたの個性や特性(例:特定の才能、学習スタイル)が尊重され、伸ばせるような学びが提供されていると感じますか。

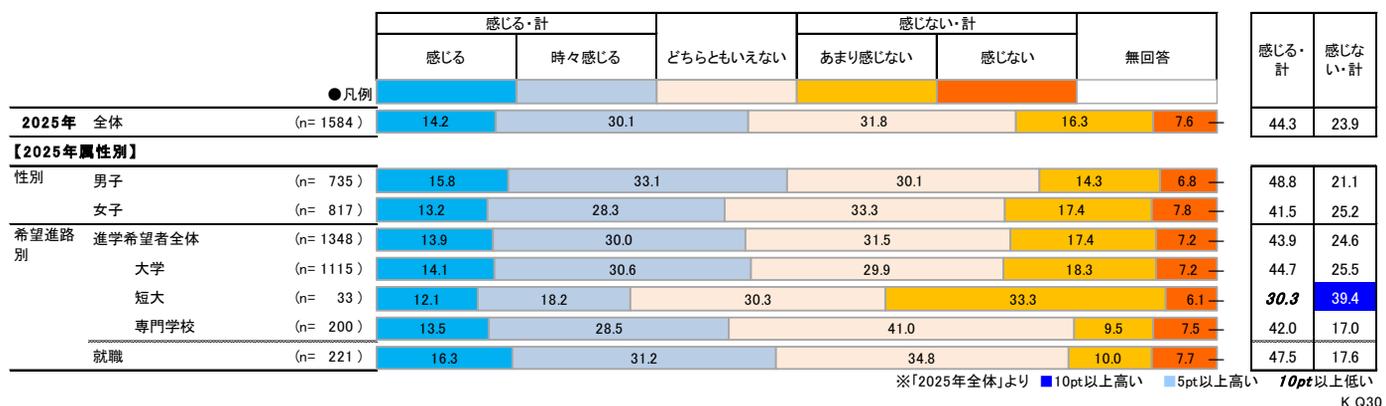
●高校生に、自分が通っている高校で、自身の興味・関心や得意なことに合わせて、学習内容や方法がある程度自分で選択できる機会があるかどうかを尋ねたところ、「ある」が19.5%を占め、「時々ある」まで含めると合計で61.6%が機会があると回答した。

●また同様に高校生に対し、自身の通う高校で、個性や特性が尊重され、伸ばせるような学びが提供されていると感じるかどうかを尋ねたところ、「感じる」が14.2%を占め、「時々感じる」まで含めると、44.3%が提供されていると感じると回答した。

【高校生】高校における「個別最適な学び」の機会の有無（全体／単一回答）



【高校生】高校における自身の個性や特性を尊重した学びの提供状況（全体／単一回答）



VI. 教育改革の評価と高校での対応状況

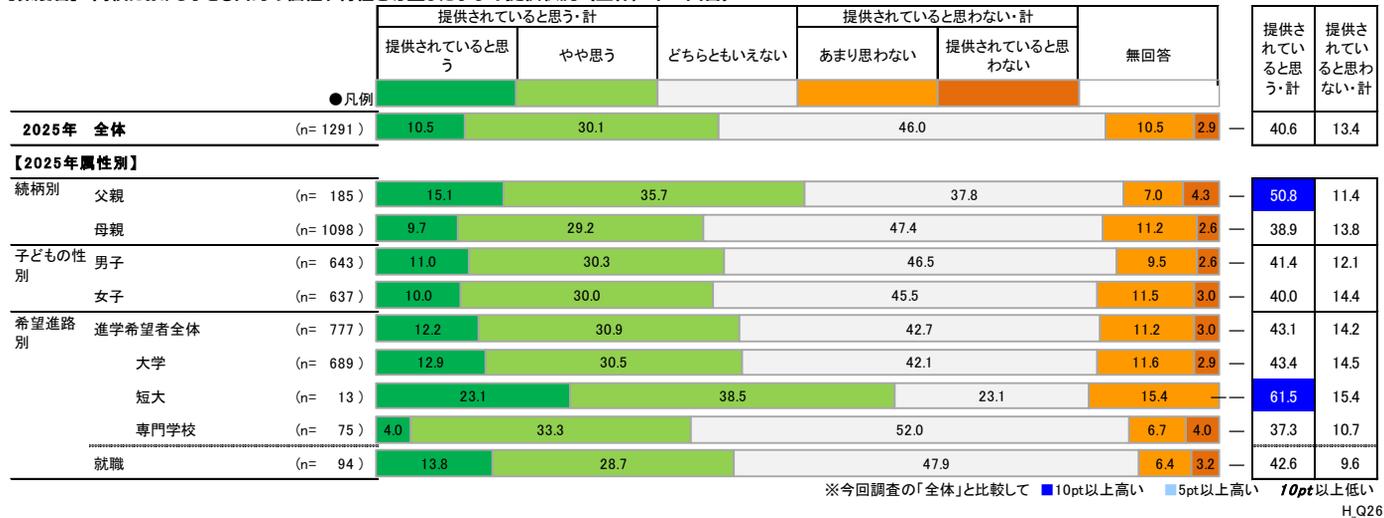
高校における個別最適化された教育の提供に対する評価

▶ 子ども自身の個性や特性を尊重した学びが提供されていると思う保護者が合計で40.6%。

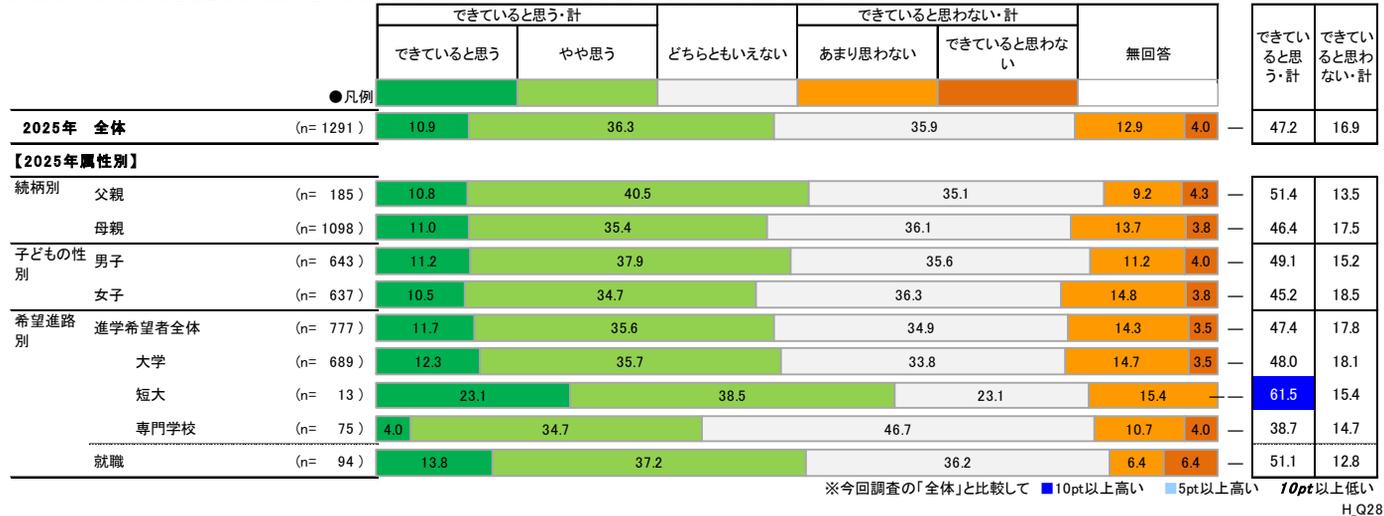
- ・Q26 お子さんの学校では、個性や特性に応じた学びの機会が十分に提供されていると思いますか。ひとつだけお選びください。
- ・Q28 お子さんは、学校で自分の「強み」を伸ばし、多様な興味・関心を追求できていると思いますか。ひとつだけお選びください。

- 保護者に対して、個性や特性に応じた学びの機会が十分に提供されていると思うかどうかを尋ねたところ、「提供されていると思う」が10.5%を占め、「やや思う」を含めると合計で40.6%が提供されていると思うと回答した。
- また同様に、保護者に対して、子どもが学校で自分の「強み」を伸ばし、多様な興味・関心を追求できていると思うかどうかを尋ねたところ、「できていると思う」が10.9%を占め、「やや思う」まで含めると合計で47.2%ができていると思うと回答した。

【保護者】 高校における子ども自身の個性や特性を尊重した学びの提供状況（全体／単一回答）



【保護者】 学校で、子ども自身の「強み」を伸ばし、多様な興味・関心を追求できていると思うか（全体／単一回答）



VI. 教育改革の評価と高校での対応状況

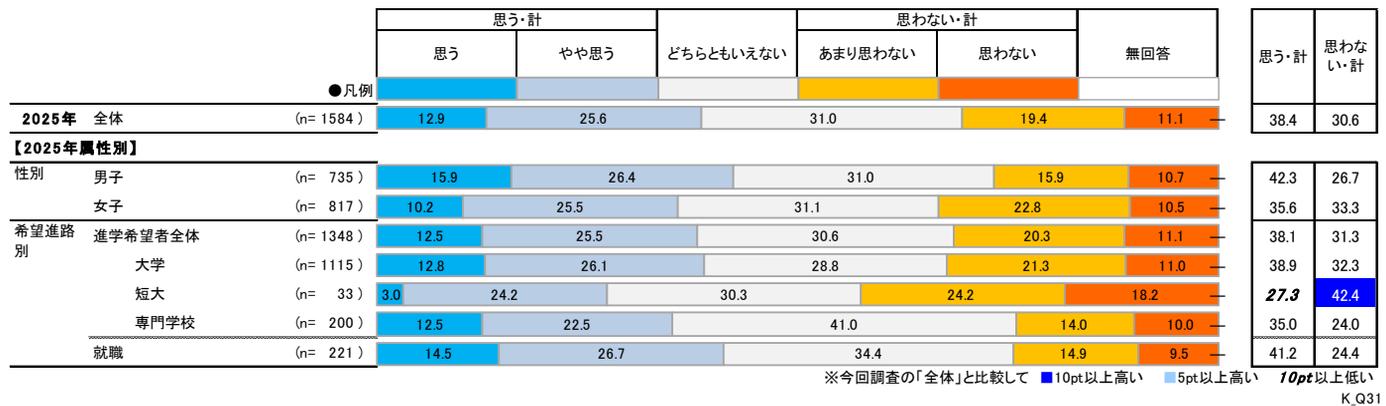
不登校など要配慮事項に対する高校からのサポート体制

- ▶ 不登校などへの配慮・サポートが提供されていると思う高校生が合計38.4%。
- ▶ 保護者では「どちらともいえない」が70.9%を占め、実態としては明確に把握していない様子がみとれる。

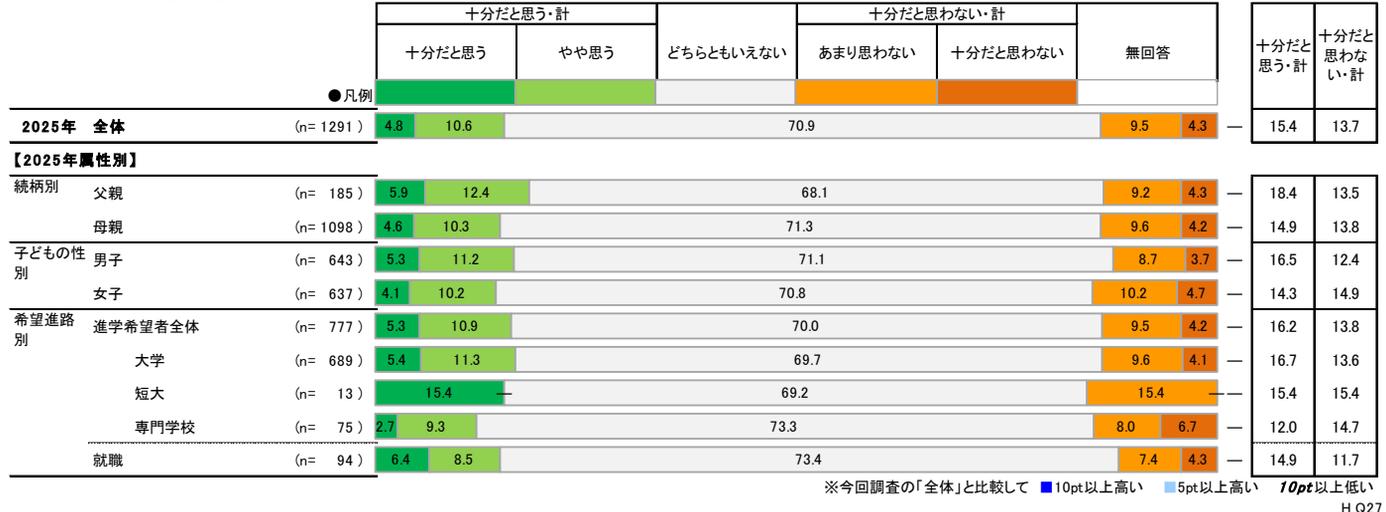
- ▶ 高校生：Q31.もしあなたが不登校になったり、特別な配慮が必要になったりした場合、学校から十分なサポートを受けられると思いますか。
- ▶ 保護者：Q27_お子さんの学校では、不登校の子どもや特別な教育的支援を必要とする子どもたちへの対応は十分だと思いますか。

- 高校生に対して、不登校になったり特別な配慮が必要になったりした場合に、自身の通う学校から十分なサポートを受けられると思うかを尋ねたところ、「思う」が12.9%を占め、「やや思う」まで含めると合計38.4%を受けられると思うと回答した。一方、「どちらともいえない」「思わない・計」もそれぞれ30%程度を占めており、高校によって対応がまちまちであることが示唆されている。
- 同様に保護者にも、不登校の子どもや特別な教育的支援を必要とする子どもたちへの対応が十分かどうかを尋ねたところ、「思う」が4.8%、「やや思う」まで含めると15.4%を占めた。保護者については「どちらともいえない」が70.9%を占めており、高校での実態について明確には把握していない様子がわかる。

【高校生】 不登校など要配慮事項に対する高校からのサポート提供状況（全体／単一回答）



【保護者】 不登校など要配慮事項に対する高校からのサポート提供状況（全体／単一回答）



VI. 教育改革の評価と高校での対応状況

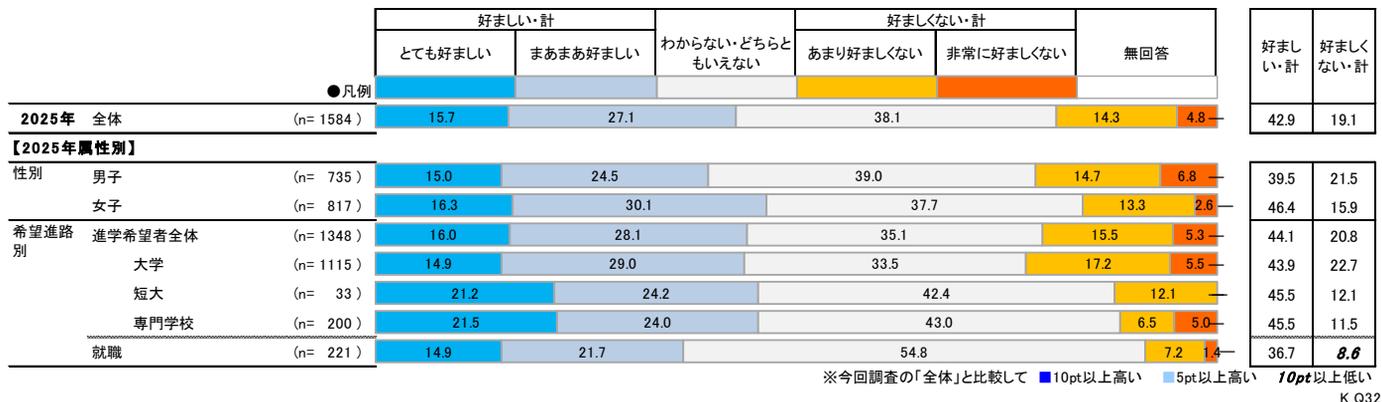
入試早期化の好ましさ

▶入試の早期化については、合計で高校生の42.9%、保護者の38.8%が「好ましい」と回答。

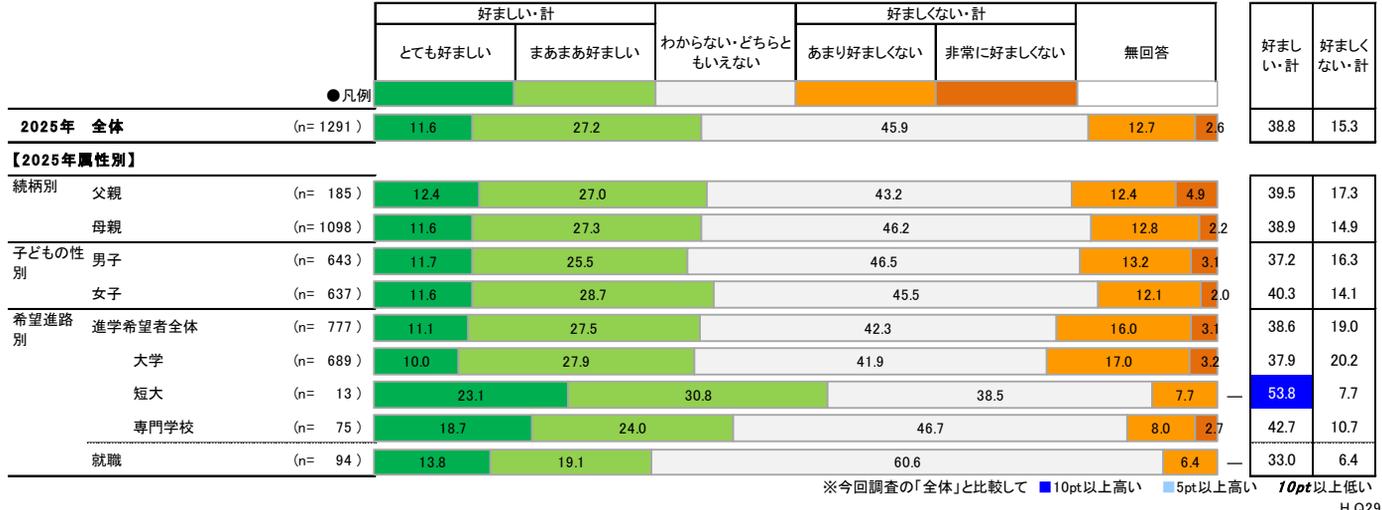
- 高校生に対して、入試の早期化についてどのように感じるかを尋ねたところ、「とても好ましい」が15.7%を占め、「まあまあ好ましい」まで含めると合計42.9%が好ましいと回答した。
- 性別にみると、男子より女子で好ましいと感じる割合が高く、合計では46.4%と半数近くを占めた。
- 保護者は、「とても好ましい」が11.6%を占め、合計では38.8%が好ましいと回答した。
 - ▶高校生：Q32.総合型選抜や推薦入試を利用して高3の12月までに進学先を決定する生徒が増えるなど、入試が早期化していると言われていて。この入試の早期化について、どのように感じていますか。
 - ▶保護者：Q29.総合型選抜や推薦入試を利用して高3の12月までに進学先を決定する生徒が増えるなど、入試が早期化していると言われていて。この入試の早期化について、どのように感じていますか。

- 好ましさの理由についてフリーコメントで尋ねたところ、「とても好ましい」「まあまあ好ましい」と回答した層では、高校生・保護者共に、早期に進学先が決まることで「安心できる・ストレスが軽減される」とする意見が多く見られた。保護者では、入試において「学力」以外の側面で評価されることに対する期待感があるようだ。
- 一方で、「あまり好ましくない」「非常に好ましくない」と回答した層では、進路決定後の勉強がおろそかになり学力が低下することや、進路決定までの時間が短いためじっくり考えることができないことなどが理由としてあがっている。また、特に高校生では、「年内入試(推薦や総合型選抜など)で早期に進学先が決まった人と、年明け入試(一般入試や共通テスト利用入試など)組の温度差が生まれて人間関係がぎくしゃくする」という意見が多く見られる。

【高校生】入試の早期化の好ましさ(全体/単一回答)



【保護者】入試の早期化の好ましさ(全体/単一回答)



VI. 教育改革の評価と高校での対応状況

<フリーコメント:高校生>入試早期化について

▶「とても好ましい」「まあまあ好ましい」理由

- ストレス・プレッシャーが軽減される
 - 早くに受験が終わるから[北海道/女/専門学校]
 - 早く進路が決まっている方が残りの学校生活焦らずに楽しく過ごすことができるから[神奈川/女/専門学校]
 - その分はやく入試ができ、合否発表も早くなるためいいと思う[長崎/男/就職]
- 目標が明確になる
 - 早期に決定しておくことにより目標が早いうちに明確になるため、とても良いことだと感じた[北海道/女/大学]
 - 早期に決定することで自分の目指す目標が明確になり、良いと思う[富山/女/大学]
 - 目標がはっきりした方が勉強頑張れると思うから[香川/女/大学]
- 目標の明確化・目標に向けてのアクションが早くなる
 - 早くから目標を決定し、向かうことができるから[富山/女/大学]
 - 早く進路先が決まることで、進学した後の勉強などを早くからできるから[滋賀/男/大学]
 - 学習に専念できる時間が増えるから[長崎/男/大学]
- 得意な入試方法を選択できるから
 - 私もこの選抜方法で決めたいから[岩手/女/大学]
 - 面接が得意な人も多いと思うから[東京/女/大学]
 - もし落ちてしまってもまだ受けれるから[香川/女/大学]
- ▶ 「わからない・どちらともいえない」
 - 早すぎても自分の状態を客観的に見れないかもしれないし、でも、早く決めて目標を定めて、推薦や総合型選抜など、新しい入試の形に触れていくという点では早くてもいいと思うから[岩手/女/大学]
 - あまり進路について人のことも知らないし、推薦などもあまり考えていないから[滋賀/男/大学]
- ▶ 「あまり好ましくない」「非常に好ましくない」
 - 考える時間・猶予がない、焦る
 - 自身の将来について、決定づけることを早期化させしまうと、考える時間が少なくなり、本当に自分のやりたい事がよく分らないまま次のステップへ行く人が増えてしまう可能性があるから[岩手/男/大学]
 - 文理選択が早かったのですが、後で後悔したことです。もう少し知識を入れてから完璧な決定をしたい[滋賀/他/大学]
 - 学習時間・準備が不足する
 - 入試日程が早くなると勉強できる期間が短くなるから[富山/女/大学]
 - 早く終わって嬉しいけど勉強の時間が少ない[富山/女/大学]
 - 生徒の精神の安定につながるが学習を十分にやる機会がなくなるかもしれない[長崎/女/就職]
 - 年内入試・年明け入試組間の温度差が生じる
 - 学校により成績の取りやすさが違うので、内申点を重視する推薦入試は不公平。推薦入試のせいで一般入試の枠が減るのはよくないと思うから[東京/男/大学]
 - 人によって受験のタイミングが異なってくるといざこざが起こるから[富山/男/大学]
 - 学力の低下を招く
 - ないと感じるから[静岡/男/大学]
 - 一般的な学習内容が身につかない可能性がありそうだから[長崎/男/大学]
 - モチベーションの低下を招く
 - 推薦で大学に行くことが決まってしまうと、それ以降の勉強に熱が入らないと思うから[香川/女/大学]

<フリーコメント:保護者>入試早期化について

▶「とても好ましい」「まあまあ好ましい」理由

- 安心できる、プレッシャーが軽減される
 - 早く決まることによってストレスも軽減される[神奈川/母親/女/子の希望なら何でも]
 - 受験のプレッシャーから早く解放されるし、無駄にエネルギーも時間も消費しなくていいから[東京/母親/男/子の希望なら何でも]
 - 進路が早く決まると安心なのと、目標が定まり、努力できるから[滋賀/母親/女/大学]
 - 早く進路が決まることで安心して高校生活の後半を過ごせるという良い面があると思います[長崎/母親/男/就職]
- 入学までの準備期間が十分とれる
 - 卒業まで時間の余裕が持てる[岩手/父親/男/子の希望なら何でも]
 - 3年生3学期をのびのびと楽しめるし大学の準備に余裕ができるから[富山/母親/男/大学]
 - 第一希望が早めに通れば、その分大学進学に向けての準備も早期に取り掛かれる[滋賀/母親/女/子の希望なら何でも]
 - 精神的にも安定し、また引越しの準備など大学の準備が早くからできる[香川/母親/女/大学]
- 学力以外で評価され、機会が広がる
 - 勉強以外の観点からも見もらえる[北海道/母親/女/大学]
 - 入学試験だけでなく、高校在学時の努力が反映されるのは、とても良いと思います。当日の体調不良などで、実力が発揮出来ないこともあると思うからです[神奈川/父親/女/子の希望なら何でも]
 - 高校のなかで評価をあげるのとはなかなかむずかしいが、自分のやりたいことが決まっている子は早くにチャレンジして高校意外の学びを深めることもよいと思う[滋賀/母親/女/大学]
 - 我が子が受験勉強が不得意なので、学力以外の部分を評価する推薦入試や総合型選抜は受け入れやすい[香川/母親/男/大学]
- ▶ 「わからない・どちらともいえない」
 - 指定校枠の推薦を受けるには、第1希望の試験をあきらめなくては、いけない[北海道/父親/男/子の希望なら何でも]
 - 周りの子が、早く進学先を決めているから自分も早く進学先を決めてしまいたいと思って、安易に進学先を選んでしまうから[滋賀/母親/女/大学]
- ▶ 「あまり好ましくない」「非常に好ましくない」
 - 学力の低下を招く
 - 入試が早期化することで、高校で学ぶ期間が短くなるから。また、「対策や体験を買う」風潮も見られることから、経済格差がより広がりがかねないから[岩手/父親/男/大学]
 - 高校生の中に学ばなければならない常識を持っていない新入社員を多く見てきたから[東京/父親/女/大学]
 - 学力低下は否めない[東京/母親/女/大学]
 - 早期化ありきの勉強では、学力が身につかないのではないかと[静岡/母親/女/大学]
 - 勉強しなくなる[富山/母親/女/大学]
 - 在学中の学習意欲が低下するのでは[富山/母親/女/大学]
 - 高校生活や体験の希薄化
 - 受験は辛いものだけれど、しっかりと勉強に向き合う、嫌なことであっても、限られた時間はそこに向き合うという機会が減っていると感じるため[神奈川/母親/女/子の希望なら何でも]
 - 受験するために、勉強してるみたい。将来を考える時間が少ない[静岡/母親/女/子の希望なら何でも]
 - 高校に通学する意義を見出せなくなる子が多くなるのではないかと[富山/母親/男/子の希望なら何でも]

Ⅶ. 家庭と高校の役割

日頃のコミュニケーションや行動

▶ 高校生、保護者それぞれに、日常のコミュニケーション・行動について14項目を提示し、それぞれの実施状況を尋ねた。上位の顔ぶれは高校生、保護者で共通している。

- ▶ 高校生：Q33 保護者の方との日常のコミュニケーションや行動についてお聞きします。普段下記の事柄についてどの程度保護者と会話をしたり行動したりしますか。それぞれあてはまるものひとつだけお選びください。
- ▶ 保護者：Q30TOP2 お子さんとの日常のコミュニケーションや行動についてお聞きします。普段下記の事柄についてどの程度お子さんと会話をしたり行動したりしますか。それぞれあてはまるものをひとつだけお選びください。

● 高校生が感じている、保護者との日常のコミュニケーションや行動で「あてはまる・計」割合が高い項目の上位は下記のとおり。

- ・1位：「あなたはどうしたい」「あなたはどう思う」とあなたの意見が尊重されている (76.1%)
- ・2位：「自分で選択し、それに責任をもつ」ことが大切だと言われている (69.3%)
- ・3位：あなたが悩んでいた、うまくいっていないときに励ましてくれる (65.5%)
- ・同：高校で何を学んでいるのかなど、高校での生活に関して会話している (65.5%)

● 保護者が実施している、子どもとの日常のコミュニケーションや行動の上位は下記のとおり。

- ・1位：「あなたはどうしたい」「あなたはどう思う」とお子さんの意見を尊重している (83.3%)
- ・2位：「自分で選択し、それに責任をもつ」ことが大切だと言っている (75.5%)
- ・3位：お子さんが悩んでいた、うまくいっていないときに励ます (75.4%)

【高校生】 保護者との日常のコミュニケーションや行動 (全体/各単一回答)

2025年 (n=1584)	あてはまる・計		どちらとも いえない	あてはまらない・計		無回答	あては まる・計	あては まらない 計
	とても あてはまる	あてはまる		あてはまらない	まったくあては まらない			
●凡例								
D 「あなたはどうしたい」「あなたはどう思う」とあなたの意見が尊重されている	32.2		43.9		19.1	2.7	76.1	4.8
C 「自分で選択し、それに責任をもつことが大切だ」と言われている	27.3		41.9		21.1	6.9	69.3	9.7
E あなたが悩んでいた、うまくいっていないときに励ましてくれる	27.6		37.9		24.2	6.9	65.5	10.3
L 高校で何を学んでいるのかなど、高校での生活に関して会話している	23.9		41.5		21.0	9.0	65.5	13.5
A 保護者に褒められている	20.3		44.1		24.6	8.0	64.4	11.0
F あなたと意見が異なるとき、頭ごなしに否定しない	22.5		35.8		29.2	8.5	58.3	12.4
B 保護者に「夢や目標を大切にしろ」と言われている	21.3		36.5		27.6	10.4	57.8	14.6
H あなたがすることを保護者が決めたり手伝ったりする	16.9		38.7		27.5	12.1	55.6	16.9
M チャレンジできる機会を創ったり、増やすようにしてくれる	17.2		33.8		35.1	9.7	51.0	13.9
J ニュースや社会の動きなどについて一緒に考えたり話したりしている	16.8		34.0		25.5	15.2	50.8	23.7
G あなたが失敗をしないように、保護者ができることを先回りして考えてくれる	16.0		31.6		36.5	11.7	47.5	16.0
N 保護者がチャレンジしている姿を見る	13.6		29.1		33.9	15.5	42.7	23.4
I あなたの行動に口出しや干渉をしない	14.0		28.5		35.7	17.6	42.5	21.8
K 地域とのかかわりについて会話したり、行事に参加したりしている	11.3	23.7	26.4		23.5	15.0	35.0	38.6

※「あてはまる・計」降順ソート

H_Q30マトリクス

【保護者】 子どもとの日常のコミュニケーションや行動 (全体/各単一回答)

2025年 (n=1291)	あてはまる・計		どちらとも いえない	あてはまらない・計		無回答	あては まる・計	あては まらない 計
	とても あてはまる	あてはまる		あてはまらない	まったくあては まらない			
●凡例								
D 「あなたはどうしたい」「あなたはどう思う」とお子さんの意見を尊重している	24.8		58.6		15.3	1.1	83.3	1.4
C 「自分で選択し、それに責任をもつ」ことが大切だと言っている	24.7		50.8		20.1	3.6	75.5	4.4
E お子さんが悩んでいた、うまくいっていないときに励ます	19.3		56.2		21.8	1.8	75.4	2.7
L 高校で何を学んでいるのかなど、高校での生活に関して会話している	12.4		53.6		24.2	8.1	66.0	9.8
A お子さんを褒めている	13.2		51.6		29.9	4.7	64.8	5.3
F お子さんとの意見が異なるとき、頭ごなしに否定しない	14.3		45.9		34.7	4.3	60.2	5.1
B お子さんに「夢や目標を大切にしろ」と言っている	11.9		44.2		32.0	9.1	56.0	12.0
J ニュースや社会の動きなどについて一緒に考えたり話している	8.3		45.2		29.6	13.6	53.5	16.9
M お子さんがチャレンジできる機会を創ったり、増やしたりしている	7.4		38.2		42.2	10.7	45.6	12.2
N 保護者もチャレンジしている姿を見せる	8.1		33.0		39.4	15.3	41.1	19.5
K 地域とのかかわりについて会話したり、行事に参加したりしている	4.4	27.0	34.4		26.8	7.4	31.4	34.2
H お子さんがすることを保護者が決めたり手伝ったりする	2.2	26.6	41.6		23.6	6.0	28.8	29.6
G お子さんが失敗をしないように、保護者ができることを先回りして考える	3.5	25.1	45.2		21.5	4.7	28.6	26.2
I お子さんの行動に口出しや干渉をしない	4.4	22.2	55.0			16.8	26.6	18.4

※「あてはまる・計」降順ソート

H_Q30マトリクス

Ⅶ. 家庭と高校の役割

教育改革を踏まえて特に心がけたいこと

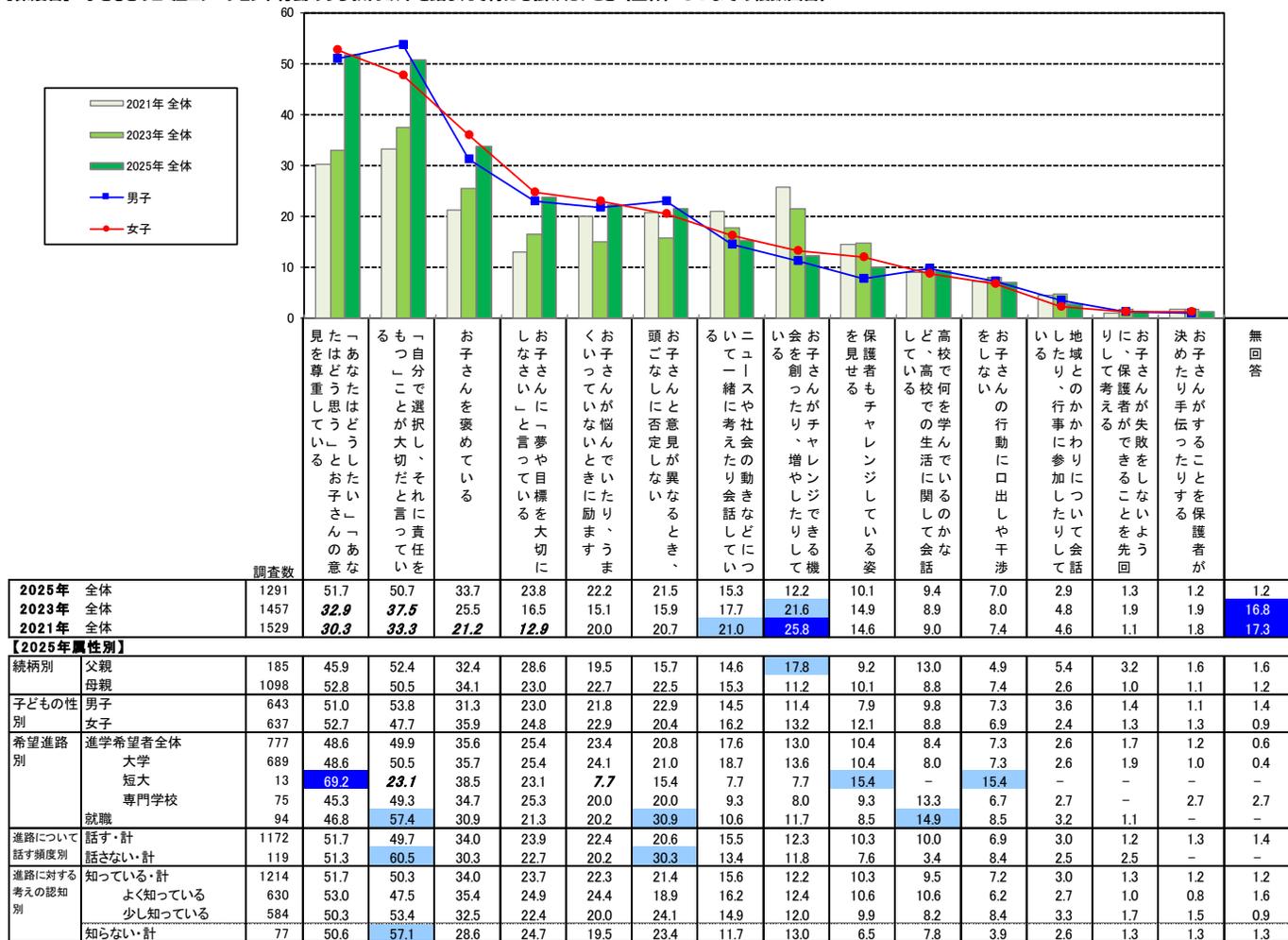
▶保護者が、教育改革を踏まえて特に心がけたいと考えていることは、『あなたはどうしたい』『あなたは どう思う』とお子さんの意見を尊重」すること。

※保護者：Q30s1 教育改革を踏まえ「特に今後心掛けたい」と思うものがあれば3つまでお選びください。

- 子どもとの日頃のコミュニケーションや行動として、教育改革を踏まえて特に心がけたいことを保護者に尋ねた。
- トップは『あなたはどうしたい』『あなたは どう思う』とお子さんの意見を尊重している(51.7%)、『自分で 選択し、それに責任をもつ』ことが大切だと言っている(50.7%)が僅差で並ぶ。
- 子どもの性別にみると、男子では『自分で選択し、それに責任を持つ』ことが大切だと言っている、女子では『あなたは どうしたい』『あなたは どう思う』とお子さんの意見を尊重しているがそれぞれ最も高い。

【保護者】 子どもとのコミュニケーションや行動のうち教育改革を踏まえて特に心掛けたいこと (全体/3つまでの複数回答)

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート

※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い ■10pt以上低い

H.Q30.1

Ⅶ. 家庭と高校の役割

家庭と高校の役割に関する認識

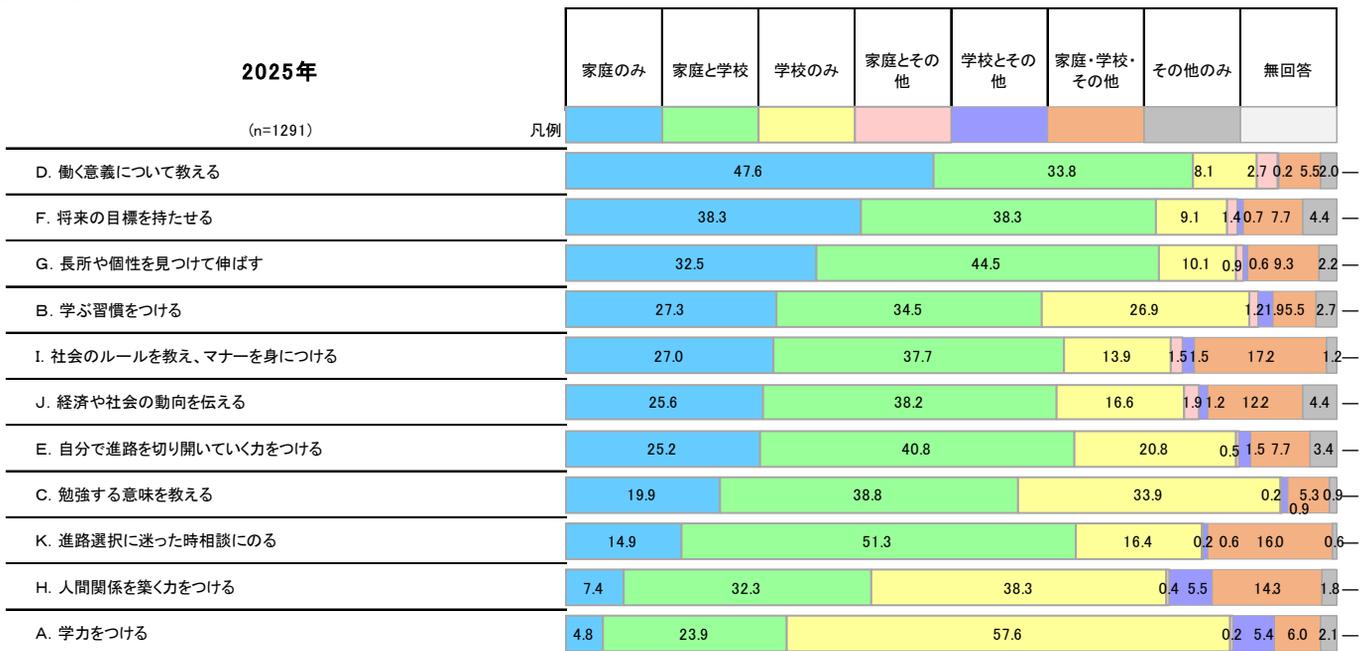
▶保護者は、「働く意義について教える」「将来の目標を持たせる」のは家庭、「学力をつける」「人間関係を築く力をつける」のは学校の役割と認識。

▶保護者：Q32 高校生に対して次のことをするのは、誰の役割だと思いますか。A~Kそれぞれについて、あてはまるものをすべてお選びください。

- 高校生の教育に関する11項目を提示し、それぞれ「家庭」「学校」「その他」のうち誰の役割だと思うかを項目ごとに選んでもらい、回答状況を分類した。
- 「家庭のみ」の役割としてスコアが高いものは以下のとおりで、将来の社会生活に向けて働く意義を教えたり目標をもたせる役割があると考えている保護者が多い。
 - ・1位:働く意義について教える (47.6%)
 - ・2位:将来の目標を持たせる (38.3%)
 - ・3位:長所や個性を見つけて伸ばす (32.5%)
- 「家庭と学校」の両方が担うのは以下のとおり。多くの項目で、「家庭と学校」の割合が最も多くを占めており、高校生の教育に関しては家庭と学校で協働する必要があると考えている保護者が多いことがわかる。
 - ・1位:進路選択に迷ったとき相談にのる (51.3%)
 - ・2位:長所や個性を見つけて伸ばす (44.5%)
 - ・3位:自分で進路を切り開いていく力をつける (40.8%)
- 「学校のみ」の役割は以下のとおりで、学習に関する項目でスコアが高いものの、人間関係構築についての指導も期待されている。
 - ・1位:学力をつける (57.6%)
 - ・2位:人間関係を築く力をつける (38.3%)
 - ・3位:勉強する意味を教える (33.9%)

【保護者】高校生に対する役割（全体／「家庭の役割」「学校の役割」「その他の役割」回答組み合わせ 各単一回答）

(%)



※「家庭のみ」のスコアで降順ソート

H_Q32

VIII. 学校に対する要望

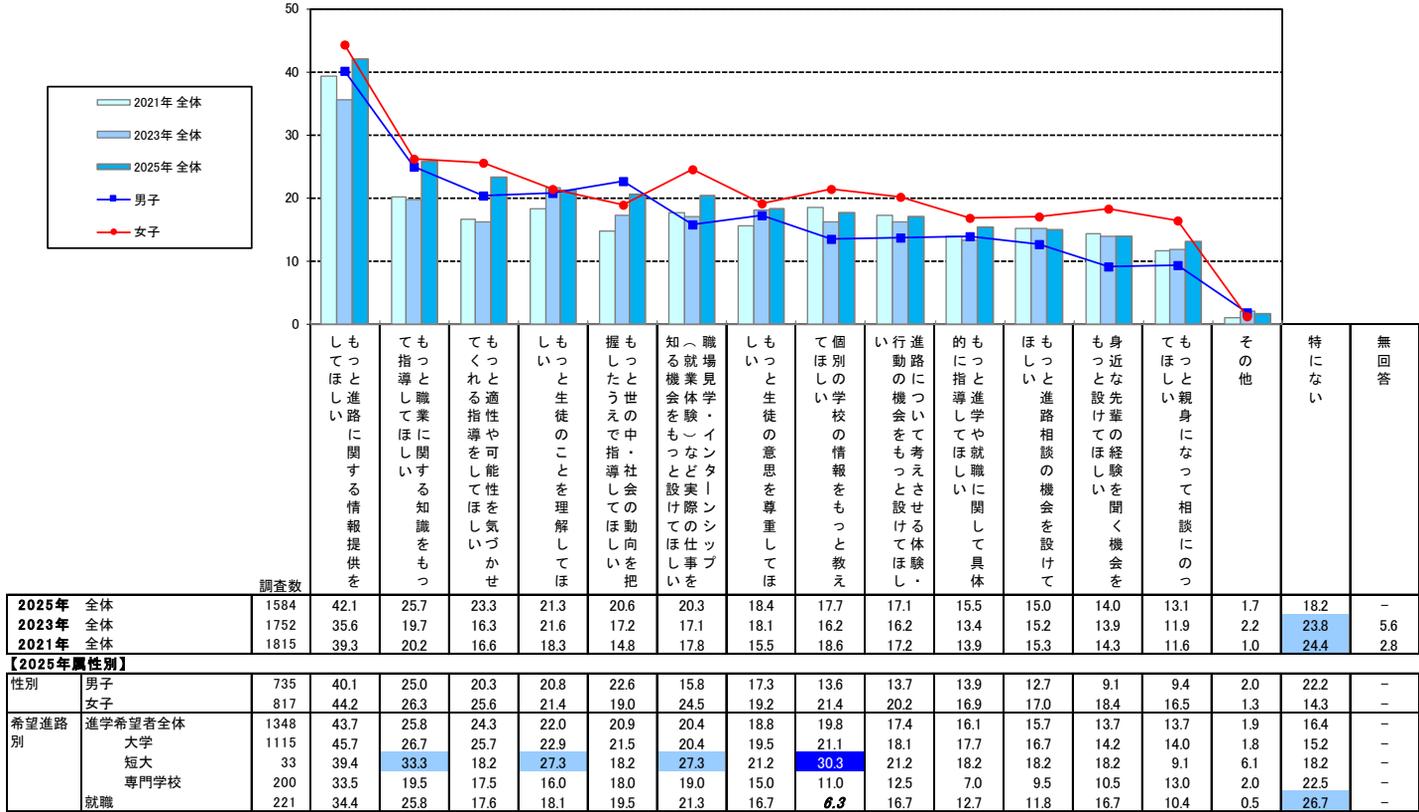
進路指導への要望

- ▶ 高校の進路指導に対する高校生の要望は、「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」が突出。
- ▶ 保護者でもトップは「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」。次いで「進路について考えさせる体験・行動の機会をもっと設けてほしい」。
 - 高校生: Q35_高校の進路指導について要望することはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。
 - 保護者: Q33_高校の進路指導について要望することはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。
- 高校生に対して、高校の進路指導について要望することを尋ねたところ、「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」(42.1%)が最も高く、以下「もっと職業に関する知識をもって指導してほしい」(25.7%)、「もっと適性や可能性を気づかせてくれる指導をしてほしい」(23.3%)などが20%前後で続く。
- 性別にみると、男子より女子で総じてスコアが高い傾向がみられる。
- 保護者に対して、子どもの通う高校の進路指導について要望することを尋ねたところ、「もっと進路に関する情報提供をしてほしい」(47.0%)が最も高く、高校生と共通している。
- 以下、「進路について考えさせる体験・行動の機会をもっと設けてほしい」(37.6%)で続く。

Ⅷ. 学校に対する要望

【高校生】 高校の進路指導について要望すること（全体／複数回答）

(%)

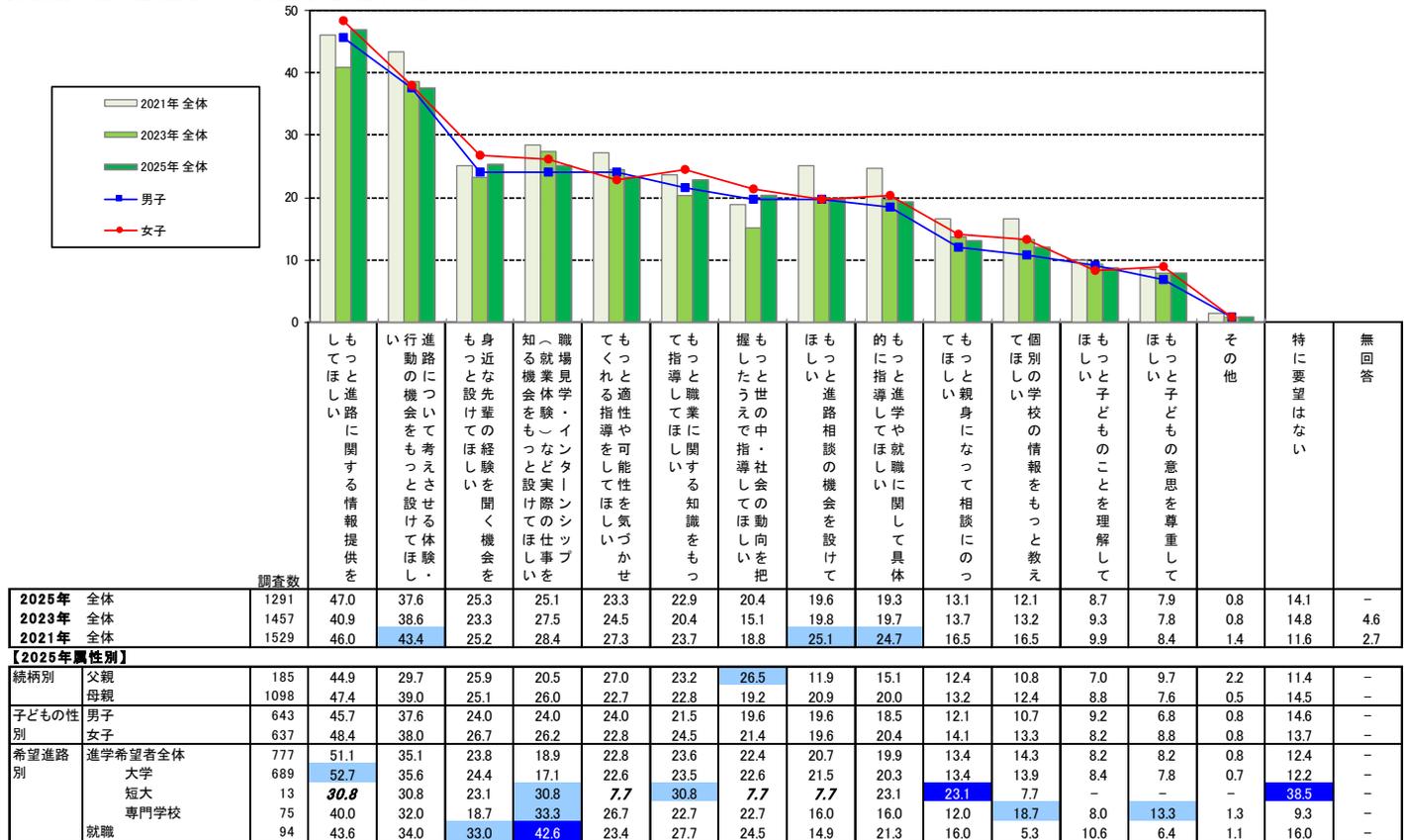


※今回調査の「全体」の降順ソート
 ※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い 10pt以上低い

K.Q35

【保護者】 高校の進路指導について要望すること（全体／複数回答）

(%)



※今回調査の「全体」の降順ソート
 ※今回調査の「全体」と比較して ■10pt以上高い ■5pt以上高い 10pt以上低い

H.Q33

VIII. 学校に対する要望

大学・短大・専門学校に対する期待

▶保護者からの進学先への要望では、「教育・学びの質」に関する意見が多いが、その方向性は「基礎研究を大事に」「高い専門性」「社会で役に立つ」などさまざま。

▶また、学費や奨学金制度など、「学費負担の軽減」に関する意見も多く見られた。

▶保護者：Q34.大学・短大・専門学校に対して、期待すること、気になることがあれば自由にお書きください。

<フリーコメント:保護者>大学・短大・専門学校に対して期待すること、気になること

- 学費負担の軽減・奨学金などの経済的支援
 - ・給付型の奨学金の創設[静岡/父親/女/大学]
 - ・もし、遠くの入りたい大学に行く場合、安価な寮生活が送れよう充実させてほしいものです。近県の大学通学費の補助があれば助かります。[富山/父親/男/大学]
 - ・大学の費用が安くなる、もしくは支援が増える事を願う。就職氷河期の親世代、共働きしても家のローンや親、兄弟の生活費に加えて、大学費用特に私立大学の場合は経済的負担が大きい。[香川/母親/男/大学]
 - ・地方なので選択枠が限られてくる遠方に行くか否か、本人が求める学科研究か否か。在校生の生活勉強方法等、卒業後の進路が明るい、進学費用・奨学金等も不安である[長崎/母親/男/子の希望なら何でも]
- 大学からの情報提供
 - ・オープンキャンパスで模擬授業を受けられなくてもその学校のことがわかるような詳しい説明をしてほしい[東京/母親/女/子の希望なら何でも]
 - ・年一回のオープンキャンパス以外にも大学に行く機会があると良い[神奈川/母親/男/大学]
 - ・色々な入試情報を知りたい。学校に大学の資料が少ない[静岡/母親/男/大学]
- 教育の質や内容の維持・向上
 - ・国の施策も、より費用対効果を求めるようになってきているが、あまりにその方向に向くことにより、高等教育が萎縮していくことを懸念している。[岩手/父親/男/大学]
 - ・大学には基礎研究に早い段階から触れられるような仕組みがあるとよい。研究室の充実。研究費の拡充を期待します。[東京/母親/男/子の希望なら何でも]
 - ・経済団体の思惑や、子どもの人口減少に戸惑う教育関連企業の焦りに巻き込まれないように、基礎研究や学際的な学問を学生たちができる環境整備に今まで同様に努めてほしい[滋賀/父親/女/子の希望なら何でも]
 - ・指導者、教育者が現場をわかっていること、頭ごなしに説教をしないことに期待する[長崎/母親/女/大学]
- 子どもの興味を喚起するような学びの提供
 - ・大学は学びにいくところだと考えているので、人生が豊かになる経験をさせて欲しいです[神奈川/母親/男/大学]
 - ・学ぶことが楽しいと思える体験をさせて欲しい[神奈川/母親/男/大学]
 - ・興味を刺激する機会が多い方が良い。[滋賀/父親/女/大学]
 - ・我が子の探求心に応えてくれるものであって欲しい[香川/母親/男/大学]
- 専門性の高い学びの提供
 - ・大学全入時代となって久しいが、専門性の高い授業やフィールドワークを行ってほしい[東京/母親/女/大学]
 - ・専門知識の学習[富山/父親/男/大学]
 - ・専門性ある学びにしてほしい[香川/母親/男/海外の大学など]
- 人間性や社会性の育成
 - ・専門知識の習得だけでなく、社会性や協調性を身につけて欲しい[岩手/母親/女/子の希望なら何でも]
 - ・学力や専門的知識はもちろんのこと、社会に出た時に誰も必ず壁にぶつかる時があるだろうが、その壁を乗り越えられるくらい人間力が身に付けばいいと思う。[岩手/母親/女/大学]
 - ・社会に出る前の最後の時間。学習はもちろんだが社会や人間関係、人生の経験などを一つでも多く積み重ねて欲しい[神奈川/母親/男/大学]
 - ・学生確保を優先して、人間教育を疎かにしないでいただきたい[富山/父親/男/大学]
 - ・未来へ進む力を育めるように[香川/母親/女/子の希望なら何でも]
- 社会で役に立つスキルの養成
 - ・実践に役立つ事を教えてほしい[北海道/母親/女/子の希望なら何でも]
 - ・社会人になる際、必要なスキル、マナーを学ぶことができることを期待し、人脈を広げること[東京/父親/男/大学]
 - ・政治や社会の仕組みを理解する学びや教育をもっとやるべき[静岡/父親/女/専門学校]
 - ・学んだことが社会に出たときにどのように関わっているのか伝授してほしい[富山/母親/女/子の希望なら何でも]
 - ・文系学部は学識なども大切だが、実社会に役立つ実践的な勉強(公務員試験、資格試験)対策により力を入れてほしい[香川/父親/男/大学]
- 就職支援
 - ・安定した企業への就職率[北海道/母親/女/大学]
 - ・学科、コース、教授によって就職に対する対応に差があるのではないだろうか[富山/母親/男/大学]
 - ・いい会社に就職できる様をお願いします。[富山/父親/女/大学]
 - ・就職につながるように、指導して頂きたい。[香川/母親/男/子の希望なら何でも]